

# 令和5年度 宮城地方労働審議会家内労働部会 会議資料

- 1 地方労働審議会と家内労働関係部会
- 2 宮城地方労働審議会家内労働部会委員名簿
- 3 (1) 宮城地方労働審議会運営規程  
(2) 宮城地方労働審議会家内労働部会運営規程(案)
- 4 宮城県における家内労働の概要(令和4年度)
- 5 宮城県の最低賃金の推移一覧表
- 6 宮城県の最低工賃の改定状況
  - (1) 宮城県男子服・婦人服製造業最低工賃の工程別引上率
  - (2) 宮城県電気機械器具製造業最低工賃の推移
  - (3) 宮城県男子服・婦人服製造業最低工賃リーフレット(平成29年改正)
  - (4) 宮城県電気機械器具製造業最低工賃リーフレット(令和3年改正)
- 7 最低工賃新設・改正計画に対する実施状況
  - (1) これまでの最低工賃新設・改正計画に対する実施状況
  - (2) 第14次最低工賃新設・改正計画に対する実施状況
- 8 (1) 男子服・婦人服製造業最低工賃の改正諮問について(案)  
(2) 男子服・婦人服製造業最低工賃家内労働実態調査結果表
- 9 第14次最低工賃新設・改正計画について
- 10 家内労働のしおり(令和5年度版・厚生労働省)

## 【参 考】

- リーフレット「確認しよう、最低賃金！」(令和5年改正版)
- リーフレット「宮城県の最低賃金」(令和5年改正版)
- みやぎ経済月報(2023年12月)
- 第7回労働政策審議会雇用環境・均等分科会家内労働部会  
議事録(2023年3月10日開催)
- 都道府県最低工賃一覧表(令和5年11月現在)
- リーフレット「家内労働者に発注する委託者の皆様へ」

## 地方労働審議会と家内労働関係部会

### 宮城地方労働審議会

公益代表委員・労働者代表員・使用者代表員 各 6 名構成

- ・厚生労働省組織令（平成 12.6.7 政令第 252 号）
- ・地方労働審議会令（平成 13.9.27 政令第 320 号）
- ・宮城地方労働審議会運営規程
- ・宮城地方労働審議会運営規程

### 家内労働部会

公益・家内労働者・委託者各 3 名構成

- ・家内労働法（昭 45.5.16 法律第 60 号）
- ・地方労働審議会令第 6 条第 1 項
- ・宮城地方労働審議会運営規程第 9 条
- ・宮城地方労働審議会家内労働部会運営規程

### 最低工賃専門部会

公益・家内労働者・委託者各 3 名構成

- ・家内労働法（昭 45.5.16 法律第 60 号）
- ・地方労働審議会令第 7 条第 1 項
- ・宮城地方労働審議会最低工賃専門部会運営規程

< 審議事項 >

最低工賃の決定・改正に関すること以外の事項

- \* 最低工賃新設・改正計画（3ヶ年計画）
- \* 家内労働概要
- \* 最低工賃改正状況

< 審議事項 >

最低工賃の決定・改正に関する事項  
（宮城は 2 業種）

- \* 平成 28 年度改定  
男子服・婦人服製造業最低工賃  
（29 年 5 月 4 日発効）  
60 工程 69 種の工賃金額
- \* 令和 3 年度  
電気機械器具製造業最低工賃  
（4 年 4 月 15 日発効）  
3 工程 4 種の工賃金額

## 宮城地方労働審議会家内労働部会委員名簿

令和 6 年 1 月 10 日任命

定 数 9 名	公益を代表する委員 家内労働者を代表する委員 委託者を代表する委員	3 名 3 名 3 名	任 期	専門部会を廃止 するまでの間
委 員	: 部会長 : 部会長代理			
	氏 名		職 名	等
	《公益を代表する委員》			
	くま がい まさ ひろ 熊 谷 真 宏		公認会計士	
	くわ はら ま ゆみ 桑 原 真 弓		東北福祉大学教授	
	ひと こと りょう すけ 一 言 亮 輔		N H K 仙台放送局副局長	
	《家内労働者を代表する委員》			
	あ べ しょう た 阿 部 祥 大		連合宮城副事務局長	
	あ べ とおる 阿 部 徹		電機連合宮城地方協議会事務局長	
	にい せき なお と 新 関 直 人		U A ゼンセン宮城県支部次長	
	《委託者を代表する委員》			
	いい づか まさ ゆき 飯 塚 正 行		宮城県中小企業団体中央会事務局長	
	ささ ざき なお や 笹 崎 直 也		(一社)宮城県経営者協会事務局長	
	みつ づか あ き お 三 塚 亜 紀 男		岩ヶ崎電器工業(株)代表取締役社長	

注．委員の配列は五十音順による。

## 宮城地方労働審議会運営規程

- 第 1 条 宮城地方労働審議会の議事運営は、厚生労働省組織令（平成 12 年政令第 252 号）第 156 条の 2 及び地方労働審議会令（平成 13 年政令第 320 号）に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。
- 第 2 条 審議会の会議（以下「会議」という。）は、労働局長の請求があったとき、会長が必要があると認めるとき又は委員の 3 分の 1 以上から請求があったときに会長が招集する。
- 2 審議会は、前項の規定にかかわらず、その議事が諮問のみの場合にあっては、労働局長から会長あて諮問文を発出することをもって、会議の招集に代えることができる。
  - 3 労働局長又は委員は、会長に会議の招集を請求するときは、付議事項及び日時を明らかにしなければならない。
  - 4 会長は、会議を招集しようとするときは、緊急やむを得ない場合のほか、少なくとも 7 日前までに付議事項、日時及び場所を委員及び労働局長に通知しなければならない。
- 第 3 条 委員は、会長が必要があると認めるときは、テレビ会議システム（映像と音声の送受信により相手の状態を相互に認識しながら通話をすることができるシステムをいう。次項において同じ。）を利用する方法によって会議に出席することができる。
- 2 テレビ会議システムを利用する方法による会議への出席は、審議会令第 8 条第 1 項及び第 2 項（同条第 3 項において準用する場合を含む。）に規定する会議への出席に含めるものとする。
  - 3 委員は、病気その他の理由により会議に出席することができないときは、その旨を会長に通知しなければならない。
- 第 4 条 会長は、会議の議長となり、議事を整理する。
- 2 委員は、会議において発言しようとするときは、会長の許可を受けるものとする。
  - 3 審議会は、会長が必要があると認めるときは、委員でない者の説明又は意見を聴くことができる。
- 第 5 条 会議は、原則として公開する。ただし、公開することにより、個人情報の保護に支障を及ぼすおそれがある場合、個人若しくは団体の権利利益が不当に侵害されるおそれがある場合又は率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがある場合には、会長は、会議を非公開とすることができる。
- 第 6 条 審議会の議事については、議事録を作成する。

2 議事録及び会議の資料は、原則として公開する。ただし、公開することにより、個人情報の保護に支障を及ぼすおそれがある場合、個人若しくは団体の権利利益が不当に侵害されるおそれがある場合又は率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがある場合には、会長は、議事録及び会議の資料の全部又は一部を非公開とすることができる。

3 議事録を非公開とする場合には、議事要旨を作成し公開するものとする。

第7条 第2条から第6条までの規定は、地方労働審議会令第6条に規定する部会（以下「部会」という。）及び同令第7条に規定する最低工賃専門部会（以下「最低工賃専門部会」という。）について準用する。この場合において、「会長」とあるのは「部会長」、また「委員」とあるのは「委員及び臨時委員」と読み替えるものとする。

第8条 会長は、審議会が議決を行ったときは、当該議決に係る答申書、建議書又は議決書をその都度労働局長に送付しなければならない。

2 審議会は、厚生労働省組織令第156条の2第2項第2号の規定により関係行政機関に建議したときは、その写しを労働局長に送付しなければならない。

第9条 審議会は、その定めるところにより、次の部会を置くこととする。

一 家内労働部会

第10条 部会長が委員である部会又は最低工賃専門部会が、その所掌事務について議決をしたときは、当該議決をもって審議会の議決とする。ただし、審議会が、あらかじめ当該議決に係る事項に関して、審議会の議決を特に必要とすることを定めていたときは、この限りではない。

2 審議会は、部会長が臨時委員である部会又は最低工賃専門部会の議決に関し、会長を除いた審議会の委員及び臨時委員が当該議決の取り扱いを会長に一任した場合、会長の決するところをもって審議会の議決とすることができる。

第11条 臨時委員及び専門委員は、審議会令第4条第4項及び第5項に規定する場合のほか、会長の任期が終了したときに解任されるものとする。ただし、再任を妨げない。

第12条 部会に属すべき委員及び臨時委員のうち、労働者を代表するもの及び使用者を代表するものは、各同数とする。この場合において、部会に属すべき委員のうち、労働者を代表するもの及び使用者を代表するものは、異なる数とすることができる。

第13条 この規程に定めるもののほか、部会及び最低工賃専門部会の議事運営に関し必要な事項は、部会長が当該部会及び最低工賃専門部会に諮って定める。

第14条 この規程の改廃は、審議会の議決に基づいて行う。

附則

この規程は、平成13年11月5日から施行する。

この規程は、平成17年11月14日から施行する

この規程は、令和3年11月26日から施行する。

## 宮城地方労働審議会家内労働部会運営規程(案)

(規約の目的)

第 1 条 宮城地方労働審議会家内労働部会(以下「部会」という。)の議事運営は、家内労働法、厚生労働省組織令(平成12年政令第252号)第156条の2、労働基準監督機関令、地方労働審議会令(平成13年政令第320号)及び宮城地方労働審議会運営規程に定めるものの他、この規程の定めるところによる。

(委員)

第 2 条 部会に属すべき委員及び臨時委員のうち、家内労働者を代表するもの、委託者を代表するもの及び公益を代表するものは、各3人とする。

(会議の召集)

第 3 条 審議会の会議(以下「会議」という。)は、労働局長の請求があったとき、部会長が必要があると認めるとき又は委員及び臨時委員の3分の1以上から請求があったときに部会長が招集する。

2 審議会は、前項の規定にかかわらず、その議事が諮問のみの場合にあっては、労働局長から部会長あて諮問文を発出することをもって、会議の招集に代えることができる。

3 労働局長又は委員及び臨時委員は、部会長に会議の招集を請求するときは、付議事項及び日時を明らかにしなければならない。

4 部会長は、会議を招集しようとするときは、緊急やむを得ない場合のほか、少なくとも7日前までに付議事項、日時及び場所を委員、臨時委員及び労働局長に通知しなければならない。

(委員の欠席)

第 4 条 委員及び臨時委員は、部会長が必要があると認めるときは、テレビ会議システム(映像と音声の送受信により相手の状態を相互に認識しながら通話をすることができるシステムをいう。次項において同じ。)を利用する方法によって会議に出席することができる。

2 テレビ会議システムを利用する方法による会議への出席は、審議会令第8条第1項及び第2項(同条第3項において準用する場合を含む。)に規定する会議への出席に含めるものとする。

3 委員及び臨時委員は、病気その他の理由により会議に出席することができないときは、その旨を部会長に通知しなければならない。

(会議における発言)

第 5 条 部会長は、会議の議長となり、議事を整理する。

- 2 委員及び臨時委員は、会議において発言しようとするときは、部会長の許可を受け  
るものとする。
- 3 審議会は、部会長が必要があると認めるときは、委員及び臨時委員でない者の説  
明又は意見を聴くことができる。

(会議の公開)

第 6 条 会議は、原則として公開する。ただし、公開することにより、個人情報  
の保護に支障を及ぼすおそれがある場合、個人若しくは団体の権利利益が不当に侵害されるお  
それがある場合又は率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれ  
るおそれがある場合には、部会長は、会議を非公開とすることができる。

(議事録及び議事要旨)

第 7 条 審議会の議事については、議事録を作成する。

- 2 議事録及び会議の資料は、原則として公開する。ただし、公開することにより、個人  
情報の保護に支障を及ぼすおそれがある場合、個人若しくは団体の権利利益が不  
当に侵害されるおそれがある場合又は率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性  
が不当に損なわれるおそれがある場合には、部会長は、議事録及び会議の資料の  
全部又は一部を非公開とすることができる。
- 3 議事録を非公開とする場合には、議事要旨を作成し公開するものとする。

(議決の報告)

第 8 条 部会長は、部会において家内労働法及び労働基準監督機関令に基づいて議決を  
行ったときは、当該議決をその都度、地方労働審議会長に報告しなければならない。

(規程の改廃)

第 9 条 この規程の改廃は、家内労働部会の議決に基づいて行う。

附則

この規程は、平成14年8月7日から施行する。

この規程は、令和4年2月10日から施行する。



# 宮城県における家内労働の概要

令和 5 年度

宮城労働局労働基準部賃金室

# 目 次

## 家内労働の概要

1	家内労働従事者（家内労働者及び補助者）	1
	（１）総 数	1
	（２）男女別	1
	第 1 表 委託者数、家内労働者従事者数（家内労働者数及び補助者数） の推移	2
	（３）類型別	3
	（４）業種別	3
2	委託者	3
	第 2 表 監督署別・業種別、委託者数・代理人数・家内労働者数及び 補助者数	4
	第 3 表 業種別・監督署別、委託者数・家内労働者数・補助者数	5
3	代理人	6
4	監督署別・業種別委託者数及び家内労働者数	6
5	危険有害業務従事家内労働者数	7

## 家内労働に関する行政内容

1	家内労働法の周知徹底	8
2	家内労働に係る個別指導等の実施状況	8
3	最低工賃決定状況	8

## 最低工賃

1	宮城県電気機械器具製造業最低工賃	9
2	宮城県男子服・婦人服製造業最低工賃	11

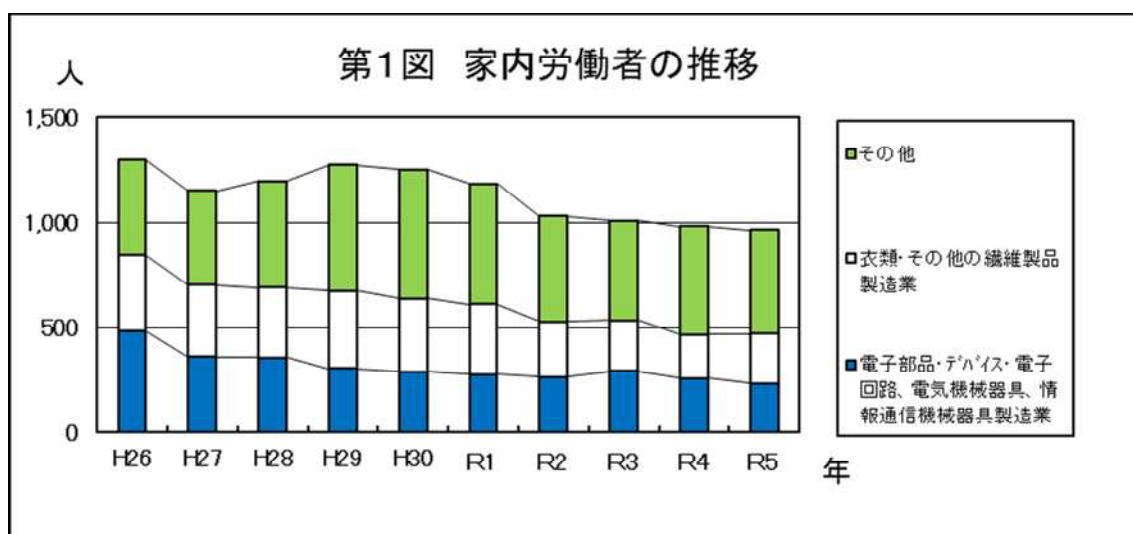
## 家内労働の概要

### 1 家内労働従事者（家内労働者及び補助者）

#### （1）総数

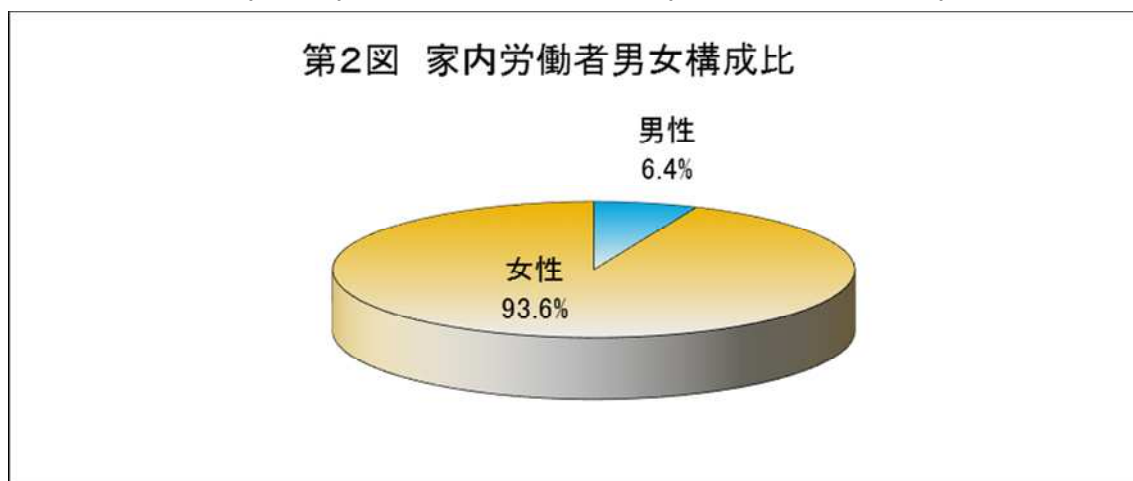
県内における家内労働に従事する者の総数は、970人となっている。その内訳は、製造業者や販売業者から委託を受けて、繊維製品や電気機械器具部品及び精密機械器具等の製造加工等に従事している家内労働者が964人であり、その他は家内労働者の同居の親族等が補助的に従事している補助者が6人である。

また、家内労働者数は、2ページの第1表のとおり長期的に減少傾向にあり、主な業種別の推移は、第1図のとおり業務に関係なく減少している



#### （2）男女別

家内労働者を男女別にみると、令和5年には男性が62人（6.4%）であるのに対し、女性は902人（93.6%）と大多数を占めている。（第1表、第2図参照）



第1表 委託者数、家内労働従事者数(家内労働者数及び補助者数)の推移

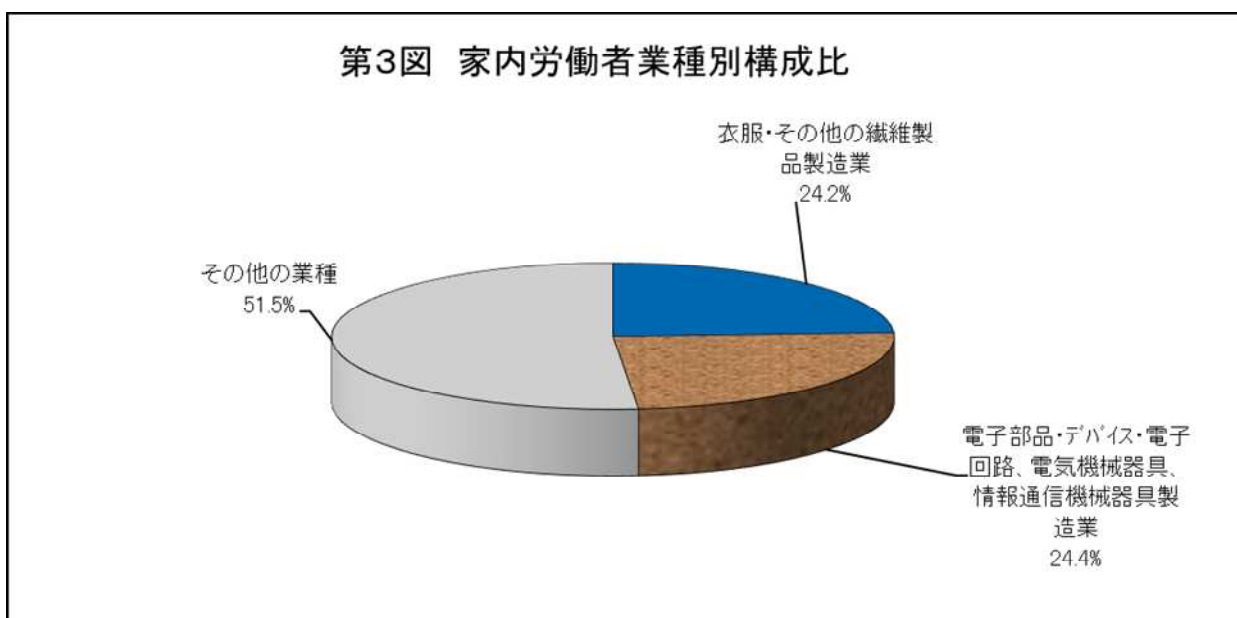
区分	年									
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
委託者数	93	97	99	106	106	101	97	101	105	102
家内労働従事者数	1,315	1,162	1,202	1,286	1,266	1,193	1,039	1,019	989	970
家内労働者数	1,300	1,153	1,199	1,276	1,253	1,187	1,032	1,009	981	964
性別	男性	69	57	67	109	69	61	76	71	62
	女性	1,231	1,096	1,132	1,167	1,184	971	933	910	902
類型別	専業	2	1	3	15	8	14	15	0	12
	内職	1,283	1,149	1,160	1,181	1,224	1,004	978	972	942
	副業	15	3	36	80	21	14	16	9	10
補助者数	15	9	3	10	13	6	7	10	8	6

### (3) 類型別

就業形態別にみると、世帯主が本業として従事する「専門的・家庭的労働者」が12人(1.24%)、農業等の従事者が本業の合間に従事する「副業的・家庭的労働者」は10人(1.04%)と少ないのに対し、家庭の主婦などが従事する「内職的・家庭的労働者」が942人(97.7%)と大部分を占めている。(第1表、第2表参照)

### (4) 業種別

業種別にみると、衣服の縫製などの「繊維工業」が233人(24.2%)、電気機器、ラジオ、テレビ音響機器部品のコイル巻き、組立、選別などの「電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業」が235人(24.4%)であり、この2業種で全体の48.5%を占めている。(第2表、第3表、第3図参照)



## 2 委託者

家内労働者に仕事を委託している委託者は、第1表(2ページ)のとおり102委託者となっている。

これを業種別にみると、第2表(4ページ)のとおり「繊維工業」が31委託者(30.1%)、「電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業」が28委託者(27.5%)となっている。

なお、1委託者当たりの平均家内労働者数は6.3人であり、これを業種別にみると、「繊維工業」が7.5人、「電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業」が8.4人となっている。(第2表、第3表参照)



第3表 業種別・署別、委託者・家内労働者・補助者数

令和5年10月1日現在

業種別	区分			委託者					家内労働者					補助者					
	仙台	石巻	古川	古川	大河原	瀬峰	計	仙台	石巻	古川	大河原	瀬峰	計	仙台	石巻	古川	大河原	瀬峰	計
食料品製造業	2	1					3	4	3				7						
繊維工業	9	11	3	5	3		31	58	100	18	28	29	233						
家具・装備品製造業		1	1				2		92	8			100			1			1
パルプ・紙・紙加工品製造業	4			1			5	39			17		56	3					3
印刷・関連業		1					1		25				25						
プラスチック製品製造業			5	1	2		8			36	2	8	46			2			2
ゴム製品製造業	1				1		2	14				25	39						
非鉄金属製造業					1		1					1	1						
金属製品製造業					2		2				6		6						
業務用機械器具製造業	1				1		2	18				3	21						
電子部品・デバイス・電子回路製造業		2	2	3	6		13		29	1	16	44	90						
電気機械器具製造業	4	1	1	2	5		13	55	27	1	4	43	130						
情報通信機械器具製造業				2			2				15		15						
輸送用機械器具製造業	1		2	4	2		9			12	23	30	65						
その他の製造業	4		1	2	1		8	98		7	5	20	130						
合計	26	17	15	22	22	22	102	286	276	83	116	203	964	3		3			6
割合(%)	25.5	16.7	14.7	21.6	21.6	21.6	100.0	29.7	28.6	8.6	12.0	21.1	100.0						

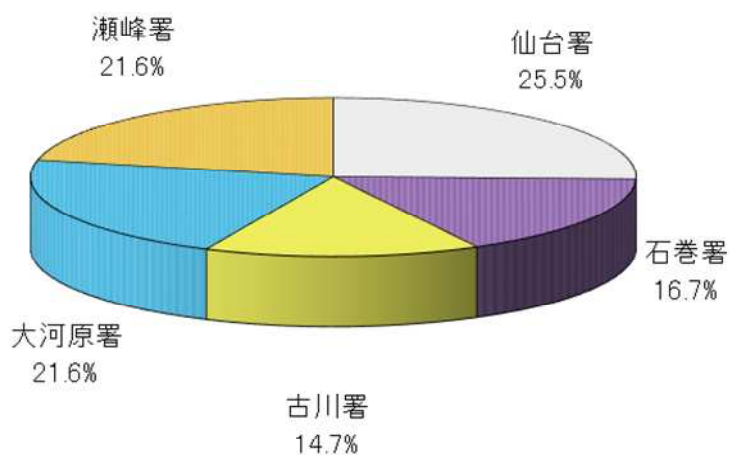
### 3 代理人

委託者は、家内労働者に原材料や製品の運搬、工賃の支払いを直接行うことが距離的・時間的に難しい場合に、代理人を選任してこれらの運搬業務等を行わせているところ、県内に代理人はいない。(第2表参照)

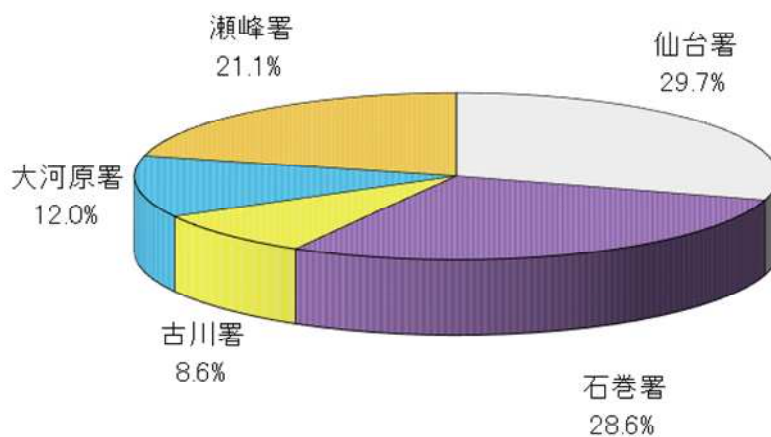
### 4 監督署別、業種別の委託者数及び家内労働者数

委託者及び家内労働者を業種別と監督署別に分けると、第3表のとおり「繊維工業」と「電気機械器具製造業」の2業種が全署にわたり存在している。また、署別の委託者数及び家内労働者数の構成比は、第4図(1)及び(2)のとおりである。

第4図(1) 監督署別委託者数構成比



第4図(2) 監督署別家内労働者数構成比





5 危険有害業務従事家内労働者数

災害発生のおそれがある作業又は衛生上有害な作業を含む家内労働としては、第4表のとおりである。

危険有害な業務としては、第4表のとおりプレス作業や有機溶剤等の業務に99人の家内労働者が従事しているものの、最近10年間において負傷や中毒の事例は発生していない。

第4表 危険有害業務従事家内労働者数

種類・機器の名称	委託者数	家内労働者数
プレス機械、型付け機、旋盤などを使用する作業	0(0)	0(0)
有機溶剤含有物または有機溶剤含有物を使用する作業	1(3)	3(19)
動力により駆動される機械を使用する作業(動力ミシン、レース編み機等)	18(23)	95(93)
合 計	19(26)	98(112)

( )内は前年度

## 家内労働に関する行政取組

### 1 家内労働法の周知徹底

最低工賃については周知用資料を作成して委託者等に送付した他、宮城労働局ホームページに掲載している。

### 2 家内労働に係る個別指導等の状況

監督署を窓口として労働基準監督官が家内労働者からの相談、委託者に対する指導等に対応している。

### 3 最低工賃決定状況

現在、宮城県で決定されている最低工賃は、「電気機械器具製造業」、「男子服・婦人服製造業」の2業種である。

最低工賃は、「電気機械器具製造業」は令和4年4月15日に、また「男子服・婦人服製造業」は平成29年5月4日にそれぞれ改正・発効している。

なお、「横編ニット製造業」は、平成19年3月31日をもって廃止している。

# 最低工賃

## 1 宮城県電気機械器具製造業最低工賃

諮問年月日 令和3年12月 1日

答申年月日 令和4年 2月 9日

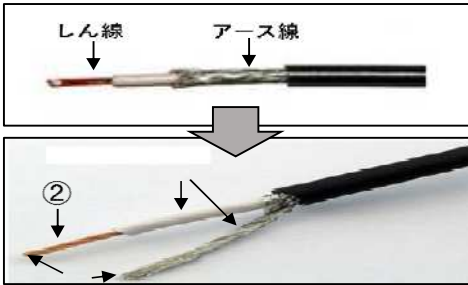
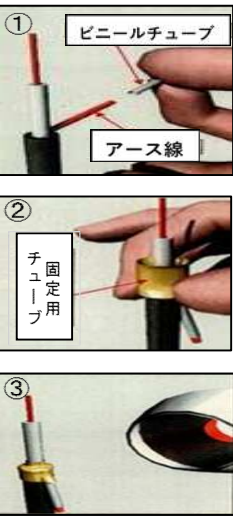
公示年月日 令和4年 3月16日

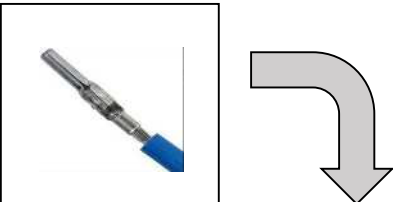

発効年月日 令和4年 4月15日

(1) 適用する家内労働者.....宮城県の区域内で、電気機械器具製造業に係る業務に従事する  
家内労働者

(2) 適用する委託者.....前号の家内労働者に前号の業務を委託する委託者

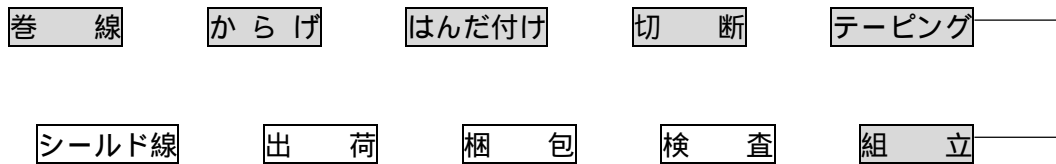
(3) 家内労働者に係る最低工賃額は次のとおり

品目	工程	作業の形態説明	規格	金額
シールド線	<b>端末加工</b> (表面の絶縁被覆部分がはぎ取り済みとなっているシールド線の一端について、アース線をより分けよじり、しん線の絶縁被覆をはぎ取った後、当該アース線及びしん線の末端をはんだ付けすることをいう。)	<b>【シールド線】</b> 絶縁線の外側に細かい鉄線を編んだ外皮をほどこした電線で時期に対しシールド作用(しゃへい作用)を持っている  <b>【端末加工工程】</b>   アース線としん線を分け、アース線をよって束にする。 しん線の絶縁被覆をはぎ取る。 アース線としん線をはんだ付けする。	1しんのものについて行うもの	1ヶ所につき 1円78銭
	<b>チューブ挿入</b> (端末加工の途中又は終了したシールド線の一端について、よじり済みのアース線にビニールチューブを通した後、固定用チューブを通し、加熱させて密着させることをいう。)	 ① ビニールチューブ アース線 よじったアース線にチューブを挿入  ② 固定用チューブを挿入  ③ ドライヤー等で加熱固定		

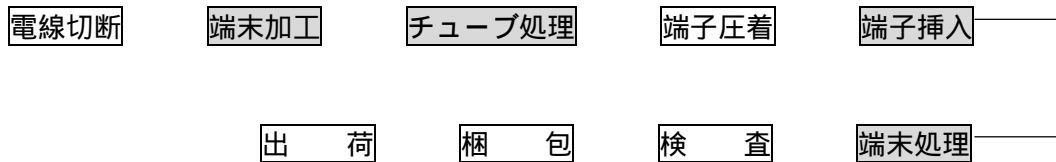
コネクタ	差し (コネクタの指定の位置に、シールド線又はリード線の端末に取り付けられた端子を差し込むことをいう。)	端子をコネクタの指定の位置に差し込む 	シールド線について行うもの	1ピンにつき 53銭
			リード線について行うもの	1ピンにつき 41銭

電気機械器具製造業の生産工程

a トランス



b シールド線



.....家内労働に出す工程

2 宮城県男子服・婦人服製造業最低工賃

諮問年月日 平成28年12月 1日

答申年月日 平成29年 2月27日

公示年月日 平成29年 4月 4日

発効年月日 平成29年 5月 4日

(1) 適用する家内労働者.....宮城県の区域内で、男子服製造業に係る背広上衣若しくはズボンのまとめの業務又は婦人服製造業に係るワンピース、ブレザー、コート、スカート若しくはスラックスのまとめの業務に従事する家内労働者

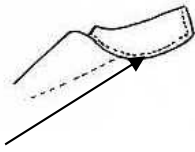
(2) 適用する委託者.....前号の家内労働者に前号の業務を委託する委託者

(3) 家内労働者に係る最低工賃額は次のとおり

イ 男子服製造業 背広上衣

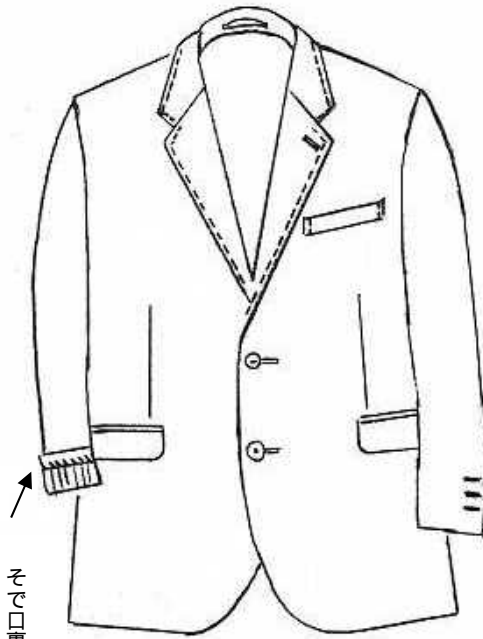
品目	工程	規格	金額
背広上衣	下襟からげまつり (すみまつり)	針目が3センチメートル間隔 に6針以上	1枚(10センチメートル) につき 30円
	肩裏まつり	針目が3センチメートル間隔 に9針以上	1枚(17センチメートル× 2)につき 37円
	そで付け裏まつり		1枚(60センチメートル× 2)につき 126円
	前裏すそまつり	針目が3センチメートル間隔 に5針以上	1枚(30センチメートル× 2)につき 42円
	見返し奥星入れ	針目が3センチメートル間隔 に4針以上	1枚(70センチメートル× 2)につき 85円
	見返し7ミリメー トル星入れ		1枚(45センチメートル× 2)につき 58円
	そで口裏まつり	針目が3センチメートル間隔 に9針以上	1枚(32センチメートル× 2)につき 66円
	背裏鎖止め (鎖止め)	鎖糸ループ長さ1センチメー トル	1枚につき 15円
	ベントまつり	針目が3センチメートル間隔 に6針以上	1枚(10センチメートル) につき 16円
	背すそまつり		1枚(20センチメートル× 2)につき 53円
	糸くず取り		1枚につき 36円

襟 裏



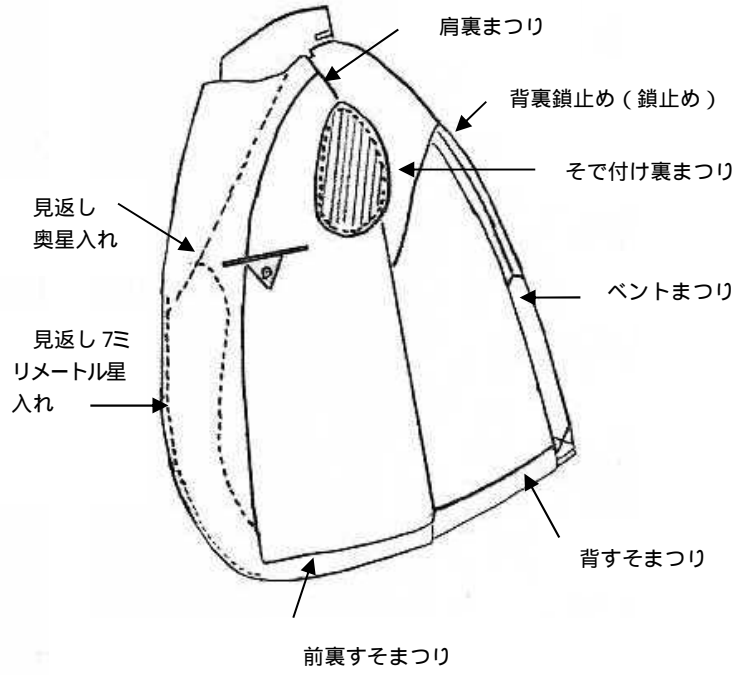
下襟からげまつり(すみまつり)

表 面



そで口裏まつり

裏 面



肩裏まつり

背裏鎖止め(鎖止め)

そで付け裏まつり

ベントまつり

背すそまつり

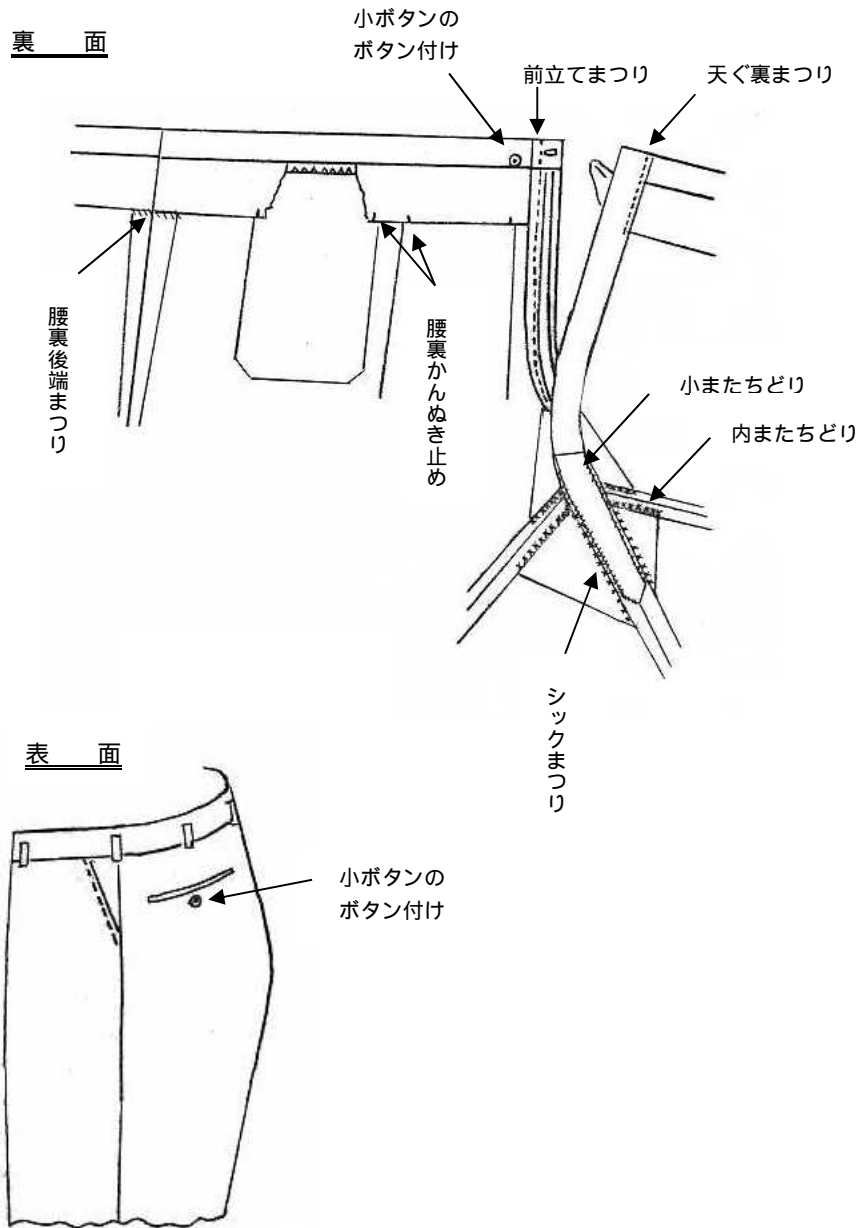
見返し  
奥星入れ

見返し  
ミ  
リメートル星  
入れ

前裏すそまつり

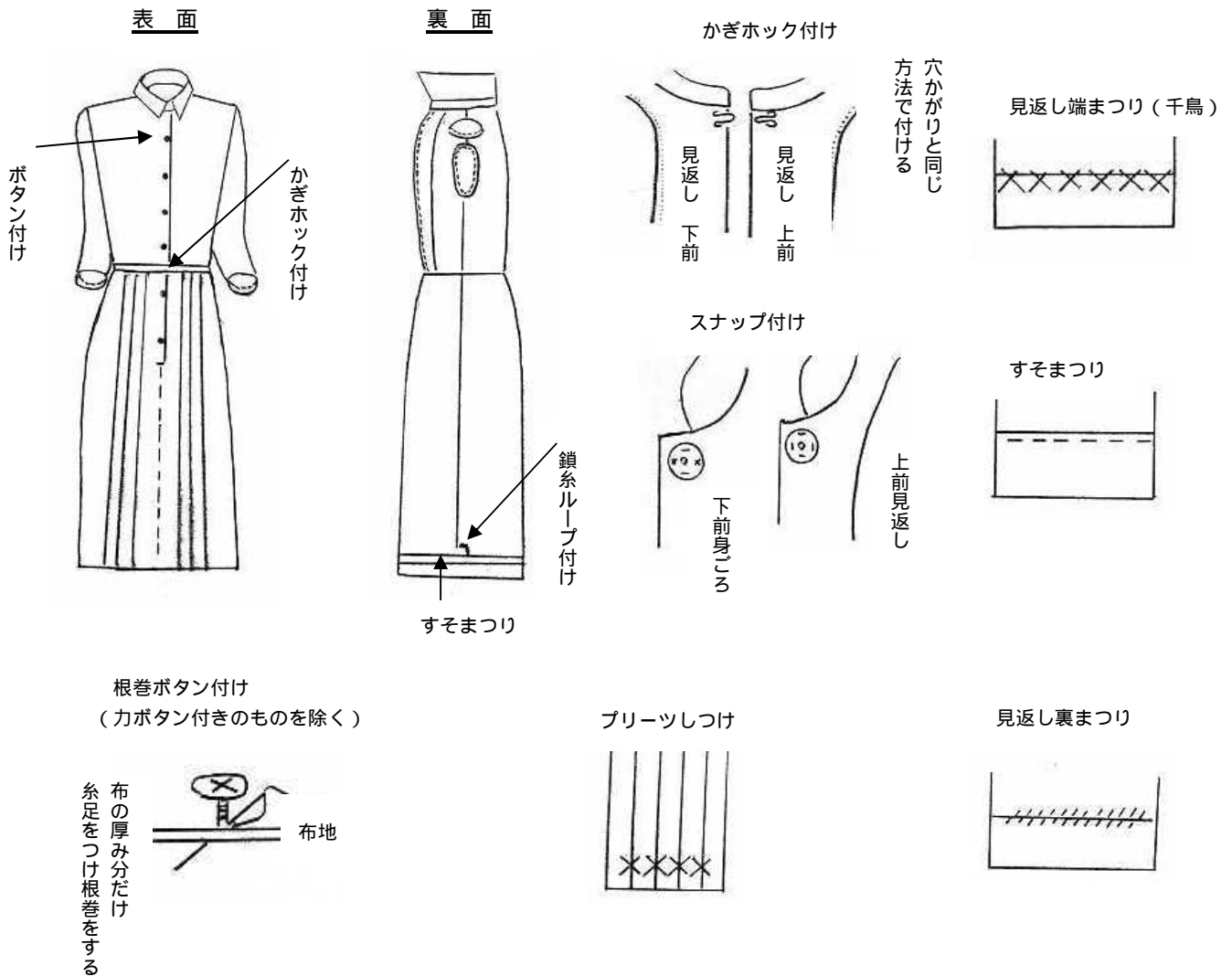
ロ 男子服製造業 ズボン

品目	工程	規格	金額	
ズボン	裏かんぬき止め	8か所	1本につき 46円	
	腰裏後端まつり	針目が3センチメートル間隔に10針以上	1本につき 11円	
	前立てまつり	針目が3センチメートル間隔に6針以上	1本につき 11円	
	天ぐ裏まつり		1本につき 11円	
	シックまつり		1本につき 32円	
	小またちどり		1本につき 18円	
	内またちどり		1本につき 25円	
	ボタン付け		小ボタン、糸足つき根巻4回以上	1個につき 12円
	糸くず取り			1本につき 29円



八 婦人服製造業 ワンピース

品目	工程	規格	金額
ワンピース	見返し端まつり (千鳥)	針目が3センチメートル間隔 に5針以上	1か所につき 13円
	すそまつり	針目が3センチメートル間隔 に4針以上	10センチメートルにつき 12円
	スナップ付け	1センチメートル以上型	1組につき 16円
		1センチメートル未満型	1組につき 17円
	かぎホック付け	ウエスト用以外、小、2つ穴	1組につき 22円
	ボタン付け	18ミリメートル以下、2つ 穴、糸足つき根巻4回以上	1個につき 10円
	鎖系ループ付け		1か所につき 14円
	プリーツしつけ	×印しつけ止め	1か所につき 9円
	見返し裏まつり	針目が3センチメートル間隔 に4針以上	10センチメートルにつき 29円
	肩パット付け		1組につき 36円
糸くず取り		1枚につき 30円	





二 婦人服製造業 プレザー

品目	工程	規格	金額
プレザー	見返し端まつり (千鳥)	針目が3センチメートル間隔に 5針以上	1か所につき 16円
	見返し星入れ	針目が3センチメートル間隔に 3針以上	10センチメートルにつき 34円
	ボタン付け	18ミリメートル以下、2つ穴、 糸足つき根巻4回以上	1個につき 11円
		20ミリメートル以上、4つ穴、 糸足つき根巻4回以上	1個につき 13円
	カボタン付きボタ ン付け	18ミリメートル以下、2つ穴、 糸足つき根巻4回以上	1個につき 13円
		20ミリメートル以上、4つ穴、 糸足つき根巻4回以上	1個につき 15円
	ベント止め	×印しつけ止め	1か所につき 10円
	肩パット付け		1組につき 35円
糸くず取り		1枚につき 27円	

表面

裏面



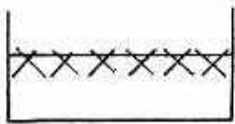
見返し端まつり(千鳥)

見返し星入れ

見返し端まつり(千鳥)

根巻ボタン付け  
(カボタン付きのものを除く)

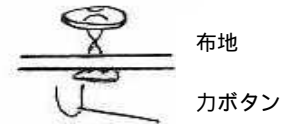
カボタン付きボタン付け



布の厚み分だけ  
糸足をつけ根巻する



布地

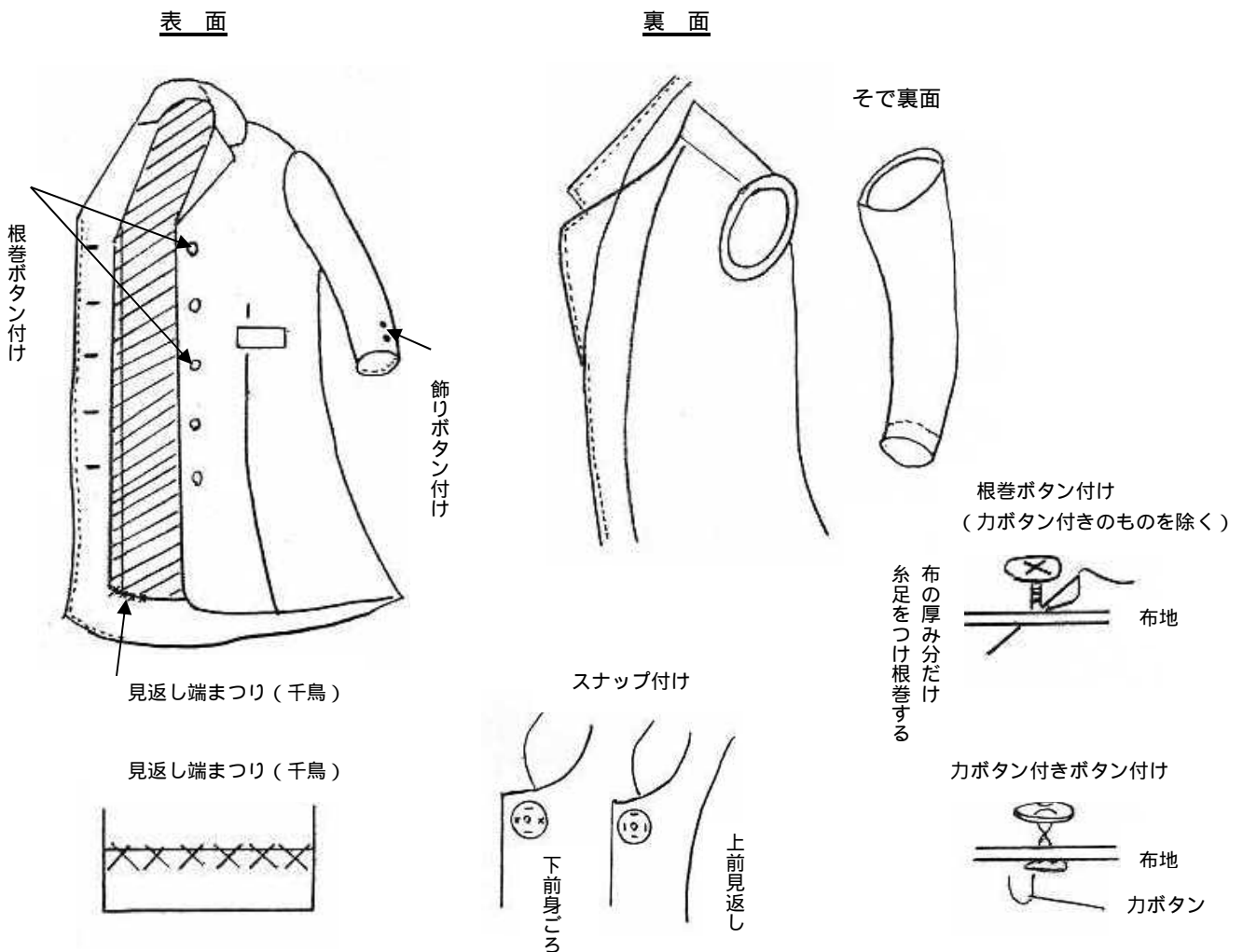


布地

カボタン

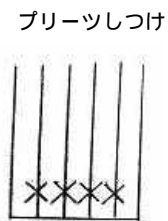
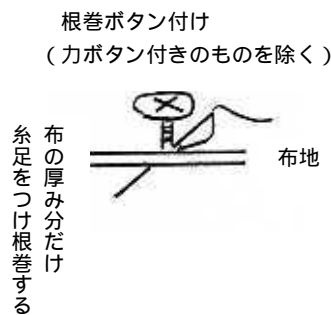
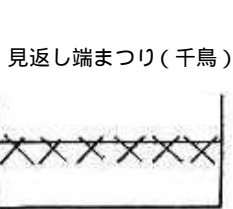
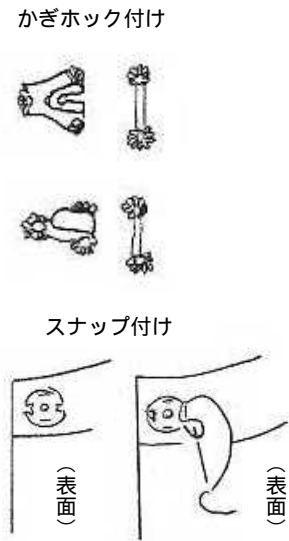
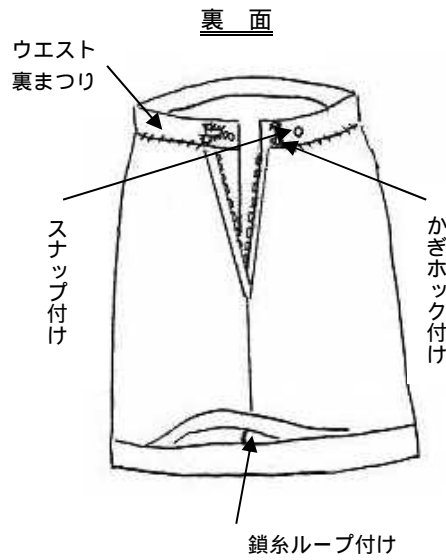
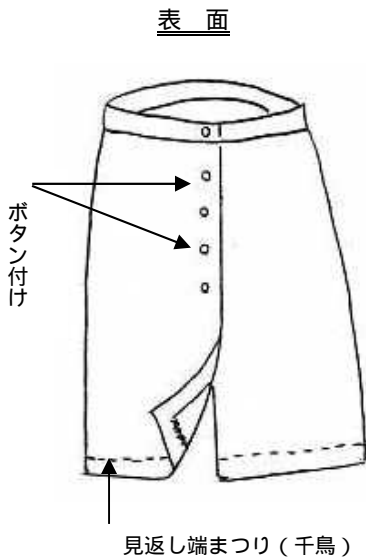
ホ 婦人服製造業 コート

品目	工程	規格	金額	
コート	見返し端まつり (千鳥)	針目が3センチメートル間隔に 5針以上	1か所につき	13円
	スナップ付け	1センチメートル型	1組につき	16円
	ボタン付け	18ミリメートル以下、2つ穴、 糸足つき根巻4回以上	1個につき	11円
		20ミリメートル以上、4つ穴、 糸足つき根巻4回以上	1個につき	12円
	カボタン付きボタ ン付け	18ミリメートル以下、2つ穴、 糸足つき根巻4回以上	1個につき	14円
		20ミリメートル以上、4つ穴、 糸足つき根巻4回以上	1個につき	15円
	ベント止め	×印しつけ止め	1か所につき	9円
	プリーツしつけ		1か所につき	9円
	肩パット付け		1組につき	33円
	糸くず取り		1枚につき	26円



婦人服製造業 スカート

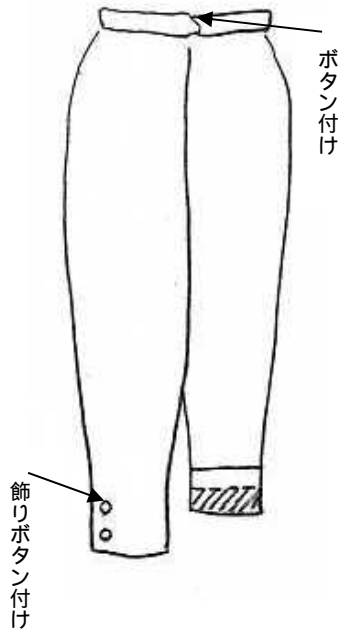
品目	工程	規格	金額
スカート	見返し端まつり (千鳥)	針目が3センチメートル間隔に5針以上	1か所につき 11円
	スナップ付け	1センチメートル以上型	1組につき 16円
		1センチメートル未満型	1組につき 17円
	かぎホック付け	ウエスト用、前かん	1組につき 22円
	ボタン付け	18ミリメートル以下、2つ穴、糸足つき根巻4回以上	1個につき 10円
		20ミリメートル以上、4つ穴、糸足つき根巻4回以上	1個につき 11円
	鎖系ループ付け		1か所につき 14円
	ベント止め	×印しつけ止め	1か所につき 9円
	プリーツしつけ		1か所につき 8円
	ウエスト裏まつり	針目が3センチメートル間隔に7針以上	20センチメートルにつき 32円
糸くず取り		1枚につき 22円	
3段前かん		1組につき 22円	



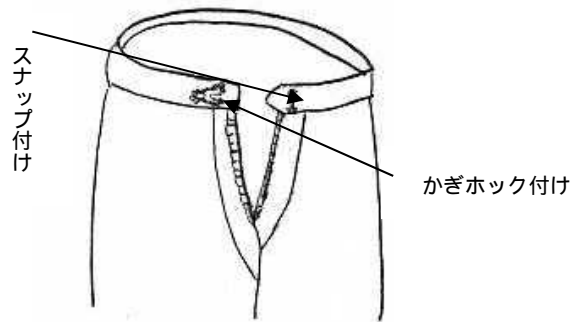
婦人服製造業 スラックス

品目	工程	規格	金額	
スラックス	スナップ付け	1センチメートル以上型	1組につき	16円
		1センチメートル未満型	1組につき	18円
	かぎホック付け	ウエスト用、前かん	1組につき	22円
	ボタン付け	18ミリメートル以下、2つ穴、糸足つき根巻4回以上	1個につき	11円
		20ミリメートル以上、4つ穴、糸足つき根巻4回以上	1個につき	13円
	糸くず取り		1枚につき	22円
	3段前かん		1組につき	20円

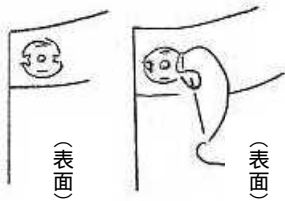
表面



裏面



スナップ付け



根巻ボタン付け  
(カボタン付きのものを除く)



# 宮城県の最低賃金の推移一覧表

資料5

(宮城県最低賃金及び宮城県特定最低賃金改定状況)

年度	地域別最低賃金		特定最低賃金					
	宮城県		鉄鋼業		電子部品等製造業		自動車小売業	
	時間額	引上額(円)	時間額	引上額(円)	時間額	引上額(円)	時間額	引上額(円)
	発効年月日	引上率(%)	発効年月日	引上率(%)	発効年月日	引上率(%)	発効年月日	引上率(%)
H23	675円	1	781円	1	744円	1	747円	1
	H23.10.29	0.15	H23.12.15	0.13	H23.12.15	0.13	H23.12.15	0.13
H24	685円	10	788円	7	749円	5	754円	7
	H24.10.19	1.48	H24.12.15	0.90	H24.12.15	0.67	H24.12.15	0.94
H25	696円	11	798円	10	757円	8	763円	9
	H25.10.31	1.61	H25.12.15	1.27	H25.12.19	1.07	H25.12.15	1.19
H26	710円	14	811円	13	769円	12	778円	15
	H26.10.16	2.01	H26.12.15	1.63	H26.12.19	1.59	H26.12.15	1.97
H27	726円	16	827円	16	783円	14	795円	17
	H27.10.3	2.25	H27.12.13	1.97	H27.12.18	1.82	H27.12.25	2.19
H28	748円	22	847円	20	798円	15	815円	20
	H28.10.5	3.03	H28.12.15	2.42	H28.12.15	1.92	H28.12.15	2.52
H29	772円	24	872円	25	819円	21	840円	25
	H29.10.1	3.21	H29.12.15	2.95	H29.12.15	2.63	H29.12.15	3.07
H30	798円	26	898円	26	841円	22	865円	25
	H30.10.1	3.37	H30.12.20	2.98	H30.12.20	2.69	H30.12.20	2.98
R1	824円	26	923円	25	862円	21	890円	25
	R1.10.1	3.26	R1.12.15	2.78	R1.12.15	2.50	R1.12.15	2.89
R2	825円	1	925円	2	864円	2	891円	1
	R2.10.1	0.12	R2.12.15	0.22	R2.12.20	0.23	R2.12.24	0.11
R3	853円	28	953円	28	890円	26	918円	27
	R3.10.1	3.39	R3.12.15	3.03	R3.12.15	3.01	R3.12.15	3.03
R4	883円	30	983円	30	919円	29	946円	28
	R4.10.1	3.52	R4.12.15	3.15	R4.12.15	3.26	R4.12.15	3.05
R5	923円	40	1,003円	20	959円	40	986円	40
	R5.10.1	4.53	R5.12.15	2.03	R5.12.15	4.35	R5.12.15	4.23

宮城県男子服・婦人服製造業最低工賃の工程別引上率（平成8年から平成28年まで）

資料6-(1)

最低賃金引上率	H8～9年	3.87%	H10～11年	2.71%	H12～13年	1.65%	H14～15年	0%	H16～17年	0.97%	H18～19年	2.57%	H20～21年	3.60%	H22～25年	5.13%	H26～28年	7.47%	H29～R4年	14.4%
---------	-------	-------	---------	-------	---------	-------	---------	----	---------	-------	---------	-------	---------	-------	---------	-------	---------	-------	---------	-------

工賃平均引上率	H10.5.7	3.1%	H12.5.7	2.2%	H14.5.15	1.4%	H16.5.8	0%	H18.5.8	0.96%	H20.5.4	1.8%	H22.5.9	2.1%	H26.5.14	5.1%	H29.5.4	7.9%	R5.	.	%
---------	---------	------	---------	------	----------	------	---------	----	---------	-------	---------	------	---------	------	----------	------	---------	------	-----	---	---

品目	工程	H10.5.7		H12.5.7		H14.5.15		H16.5.8		H18.5.6		H20.5.4		H.22.5.9		H.26.5.14		H.29.5.4		現行最低工賃× 最低賃金引上率 (7.47%)		
		金額	引上率	金額	引上率	金額	引上率	金額	引上率	金額	引上率	金額	引上率	金額	引上率	金額	引上率	金額	引上率			
男子服 背広上衣	下襟からげまつり(千鳥)	25円	4.2%	25円	0.0%	25円	0.0%	25円	0.0%	26円	4.0%	26円	0.0%	26円	0.0%	26円	0.0%	28円	7.7%	30円	7.1%	2.24円
	肩裏まつり	32	0.0	33	3.1	33	0.0	33	0.0	33	0.0	34	3.0	34	0.0	34	0.0	35	2.9	37	5.7	2.76円
	そで付け裏まつり	103	3.0	106	2.9	106	0.0	106	0.0	107	0.9	108	0.9	109	0.9	109	0.9	118	8.3	126	6.8	9.41円
	前裏すそまつり	31	3.3	31	0.0	31	0.0	31	0.0	31	0.0	32	3.2	32	0.0	32	0.0	39	21.9	42	7.7	3.14円
	見返し奥星入れ	74	5.7	76	2.7	77	1.3	77	0.0	77	0.0	77	0.0	78	1.3	78	1.3	79	1.3	85	7.6	6.35円
	見返し7mm星入れ	48	4.3	50	4.2	51	2.0	51	0.0	51	0.0	51	0.0	52	2.0	52	0.0	53	1.9	58	9.4	4.33円
	そで口裏まつり	57	3.6	58	1.8	59	1.7	59	0.0	59	0.0	59	0.0	60	1.7	60	0.0	62	3.3	66	6.5	4.93円
	背裏鎖止め(鎖止め)	12	0.0	12	0.0	13	8.3	13	0.0	13	0.0	13	0.0	14	7.7	14	0.0	14	0.0	15	7.1	1.12円
	ベントまつり	13	8.3	13	0.0	13	0.0	13	0.0	13	0.0	14	7.7	14	0.0	15	7.1	15	0.0	16	6.7	1.20円
	背すそまつり	48	4.3	48	0.0	48	0.0	48	0.0	48	0.0	49	2.1	49	0.0	50	2.0	50	0.0	53	6.0	3.96円
	糸くず取り	30	3.4	30	0.0	31	3.3	31	0.0	31	0.0	31	0.0	32	3.2	32	0.0	34	6.3	36	5.9	2.69円
	男子服 ズボン	腰裏かんぬき止め	38	0.0	39	2.6	40	2.6	40	0.0	40	0.0	41	2.5	41	0.0	41	0.0	43	4.9	46	7.0
腰裏後端まつり		8	14.3	8	0.0	8	0.0	8	0.0	8	0.0	8	0.0	9	12.5	9	12.5	10	11.1	11	10.0	0.82円
前立てまつり		8	14.3	8	0.0	8	0.0	8	0.0	9	12.5	9	0.0	9	0.0	9	0.0	10	11.1	11	10.0	0.82円
天ぐ裏まつり		7	0.0	7	0.0	7	0.0	7	0.0	7	0.0	8	14.3	8	0.0	8	0.0	9	12.5	11	22.2	0.82円
シックまつり		27	0.0	28	3.7	29	3.6	29	0.0	29	0.0	29	0.0	29	0.0	30	3.4	30	0.0	32	6.7	2.39円
小またちどり		12	0.0	13	8.3	13	0.0	13	0.0	13	0.0	13	0.0	14	7.7	14	0.0	16	14.3	18	12.5	1.34円
内またちどり		20	5.3	21	5.0	22	4.8	22	0.0	22	0.0	22	0.0	22	0.0	23	4.5	23	0.0	25	8.7	1.87円
ボタン付け		10	0.0	10	0.0	10	0.0	10	0.0	10	0.0	10	0.0	10	0.0	10	0.0	11	10.0	12	9.1	0.90円
糸くず取り	25	0.0	25	0.0	24	-4.0	24	0.0	25	4.2	25	0.0	25	0.0	26	4.0	27	3.8	29	7.4	2.17円	

男子服計	金額	引上額	引上率	金額	引上額	引上率	金額	引上額	引上率	金額	引上額	引上率	金額	引上額	引上率	金額	引上額	引上率	金額	引上額	引上率	金額	引上額	引上率			
		628円	20円	3.3%	641円	13円	2.1%	648円	7円	1.1%	648円	0円	0.0%	654円	6円	0.9%	664円	10円	1.5%	672円	8円	1.2%	706円	34円	5.1%	759円	53円

H2～H7年までは省略

品目	工程	H 8 . 5 . 2 4		H 1 0 . 5 . 7		H 1 2 . 5 . 7		H 1 4 . 5 . 1 5		H 1 6 . 5 . 8		H 1 8 . 5 . 6		H 2 0 . 5 . 4		H 2 2 . 5 . 9		H 2 6 . 5 . 1 4		H 2 9 . 5 . 4		現行最低工費× 最低賃金引上率 (7.47%)		
		金額	引上率	金額	引上率	金額	引上率	金額	引上率	金額	引上率	金額	引上率	金額	引上率	金額	引上率	金額	引上率	金額	引上率			
婦人服	見返し端まつり(千鳥)	10 円	11.1 %	11 円	10.0 %	11 円	0.0 %	11 円	0.0 %	11 円	0.0 %	11 円	0.0 %	12 円	9.1 %	12 円	0.0 %	12 円	0.0 %	13 円	8.3 %	0.97 円		
	すそまつり	10	11.1	11	10.0	11	0.0	11	0.0	11	0.0	11	0.0	11	0.0	11	0.0	11	0.0	12	9.1	0.90		
	スナップ付け	1 cm以上型	10	11.1	11	10.0	11	0.0	12	9.1	12	0.0	12	0.0	12	0.0	13	8.3	15	15.4	16	6.7	1.20	
		1 cm未満型	13	44.4	14	7.7	14	0.0	15	7.1	15	0.0	15	0.0	15	0.0	16	6.7	16	0.0	17	6.3	1.27	
	かぎホック付け	12	9.1	13	8.3	14	7.7	15	7.1	15	0.0	15	0.0	16	6.7	17	6.3	20	17.6	22	10.0	1.64		
	ボタン付け	8	0.0	8	0.0	8	0.0	8	0.0	8	0.0	9	12.5	9	0.0	9	0.0	9	0.0	10	11.1	7.8 %	0.75	
	鎖系ループ付け	12	9.1	12	0.0	12	0.0	12	0.0	12	0.0	12	0.0	13	8.3	13	0.0	13	0.0	14	7.7	1.05		
	ブリーツしつけ	6	0.0	6	0.0	7	16.7	7	0.0	7	0.0	7	0.0	7	0.0	8	14.3	8	0.0	9	12.5	0.67		
	見返し裏まつり	26	8.3	26	0.0	27	3.8	27	0.0	27	0.0	27	0.0	27	0.0	27	0.0	27	0.0	29	7.4	2.17		
	肩パット付け	29	7.4	30	3.4	31	3.3	31	0.0	31	0.0	32	3.2	32	0.0	32	0.0	34	6.3	36	5.9	2.69		
糸くず取り	27	8.0	27	0.0	27	0.0	27	0.0	27	0.0	27	0.0	27	0.0	28	3.7	28	0.0	30	7.1	2.24			
ブレザー	見返し端まつり(千鳥)	13	8.3	13	0.0	13	0.0	13	0.0	13	0.0	14	7.7	14	0.0	15	7.1	15	0.0	16	6.7	1.20		
	見返し星入れ	29	7.4	30	3.4	31	3.3	31	0.0	31	0.0	31	0.0	32	3.2	32	0.0	32	0.0	34	6.3	2.54		
	ボタン付け	18mm以下・ 2つ穴	8	0.0	8	0.0	8	0.0	8	0.0	8	0.0	8	0.0	9	12.5	9	0.0	10	11.1	11	10.0	0.82	
		20mm以上・ 4つ穴	9	0.0	9	0.0	10	11.1	10	0.0	10	0.0	10	0.0	11	10.0	11	0.0	12	9.1	13	8.3	0.97	
	カボタン付き ボタン付け	18mm以下・ 2つ穴	11	0.0	12	9.1	12	0.0	12	0.0	12	0.0	12	0.0	12	0.0	12	0.0	12	0.0	13	8.3	7.4 %	0.97
		20mm以上・ 4つ穴	13	8.3	14	7.7	14	0.0	14	0.0	14	0.0	14	0.0	14	0.0	14	0.0	14	0.0	15	7.1	1.12	
	ベント止め	7	40.0	7	0.0	7	0.0	8	14.3	8	0.0	8	0.0	8	0.0	9	12.5	9	0.0	10	11.1	0.75		
	肩パット付け	29	7.4	30	3.4	31	3.3	32	3.2	32	0.0	32	0.0	32	0.0	33	3.1	33	0.0	35	6.1	2.61		
	糸くず取り	24	9.1	24	0.0	24	0.0	24	0.0	24	0.0	24	0.0	24	0.0	25	4.2	25	0.0	27	8.0	2.02		
	コート	見返し端まつり(千鳥)	11	10.0	11	0.0	11	0.0	11	0.0	11	0.0	11	0.0	12	9.1	12	0.0	12	0.0	13	8.3	0.97	
スナップ付け		10	11.1	11	10.0	11	0.0	12	9.1	12	0.0	12	0.0	12	0.0	13	8.3	15	15.4	16	6.7	1.20		
ボタン付け		18mm以下・ 2つ穴	8	0.0	8	0.0	8	0.0	8	0.0	9	12.5	9	0.0	9	0.0	10	11.1	10	0.0	11	10.0	0.82	
		20mm以上・ 4つ穴	9	0.0	9	0.0	10	11.1	10	0.0	10	0.0	10	0.0	11	10.0	11	0.0	11	0.0	12	9.1	0.90	
カボタン付き ボタン付け		18mm以下・ 2つ穴	11	0.0	12	9.1	12	0.0	12	0.0	13	8.3	13	0.0	13	0.0	13	0.0	13	0.0	14	7.7	8.2 %	1.05
		20mm以上・ 4つ穴	13	8.3	14	7.7	14	0.0	14	0.0	14	0.0	14	0.0	14	0.0	14	0.0	14	0.0	15	7.1	1.12	
ベント止め		7	40.0	7	0.0	7	0.0	8	14.3	8	0.0	8	0.0	8	0.0	8	0.0	8	0.0	9	12.5	0.67		
ブリーツしつけ		6	0.0	6	0.0	7	16.7	7	0.0	7	0.0	7	0.0	7	0.0	7	0.0	8	14.3	9	12.5	0.67		
肩パット付け		29	7.4	30	3.4	31	3.3	31	0.0	30	-3.2	30	0.0	30	0.0	31	3.3	31	0.0	33	6.5	2.47		
糸くず取り		24	9.1	24	0.0	24	0.0	24	0.0	23	-4.2	23	0.0	24	4.3	24	0.0	24	0.0	26	8.3	1.94		
スカート	見返し端まつり(千鳥)	10	66.7	7	-30.0	7	0.0	7	0.0	7	0.0	7	0.0	7	0.0	8	14.3	10	25.0	11	10.0	0.82		
	スナップ付け	1 cm以上型	10	11.1	11	10.0	11	0.0	12	9.1	12	0.0	12	0.0	12	0.0	13	8.3	15	15.4	16	6.7	1.20	
		1 cm未満型	13	44.4	14	7.7	14	0.0	15	7.1	15	0.0	15	0.0	15	0.0	16	6.7	16	0.0	17	6.3	1.27	
	かぎホック付け	12	9.1	13	8.3	14	7.7	15	7.1	15	0.0	15	0.0	16	6.7	17	6.3	20	17.6	22	10.0	1.64		
	ボタン付け	18mm以下・ 2つ穴	8	0.0	8	0.0	8	0.0	8	0.0	8	0.0	9	12.5	9	0.0	9	0.0	9	0.0	10	11.1	0.75	
		20mm以上・ 4つ穴	9	0.0	9	0.0	10	11.1	10	0.0	10	0.0	10	0.0	10	0.0	10	0.0	10	0.0	11	10.0	9.0 %	0.82
	鎖系ループ付け	12	9.1	12	0.0	12	0.0	12	0.0	12	0.0	12	0.0	12	0.0	13	8.3	13	0.0	14	7.7	1.05		
	ベント止め	7	40.0	7	0.0	7	0.0	7	0.0	7	0.0	7	0.0	8	14.3	8	0.0	8	0.0	9	12.5	0.67		
	ブリーツしつけ	6	0.0	6	0.0	7	16.7	7	0.0	7	0.0	7	0.0	7	0.0	7	0.0	7	0.0	8	14.3	0.60		
	ウエスト裏まつり	28	3.7	28	0.0	29	3.6	29	0.0	29	0.0	29	0.0	29	0.0	30	3.4	30	0.0	30	0.0	32	6.7	2.39
糸くず取り	17	6.3	17	0.0	17	0.0	17	0.0	17	0.0	17	0.0	17	0.0	17	0.0	20	17.6	22	10.0	1.64			
3段前かん	14	27.3	15	7.1	15	0.0	15	0.0	15	0.0	16	6.7	16	0.0	17	6.3	20	17.6	22	10.0	1.64			
ストラップス	スナップ付け	1 cm以上型	10	11.1	11	10.0	11	0.0	12	9.1	12	0.0	12	0.0	12	0.0	13	8.3	15	15.4	16	6.7	1.20	
		1 cm未満型	13	44.4	14	7.7	14	0.0	15	7.1	15	0.0	15	0.0	15	0.0	17	13.3	18	5.9	1.34			
	かぎホック付け	12	9.1	13	8.3	14	7.7	14	0.0	14	0.0	14	0.0	15	7.1	15	0.0	20	33.3	22	10.0	1.64		
	ボタン付け	18mm以下・ 2つ穴	8	0.0	8	0.0	8	0.0	8	0.0	8	0.0	9	12.5	9	0.0	10	11.1	10	0.0	11	10.0	8.9 %	0.82
		20mm以上・ 4つ穴	9	0.0	9	0.0	10	11.1	10	0.0	10	0.0	10	0.0	11	10.0	12	9.1	12	0.0	13	8.3	0.97	
	糸くず取り	17	6.3	17	0.0	17	0.0	17	0.0	17	0.0	17	0.0	17	0.0	18	5.9	20	11.1	22	10.0	1.64		
	3段前かん	14	27.3	15	7.1	15	0.0	15	0.0	15	0.0	16	6.7	16	0.0	16	0.0	18	12.5	20	11.1	1.49		

婦人服計		金額	引上額	引上率	金額	引上額	引上率	金額	引上額	引上率	金額	引上額	引上率	金額	引上額	引上率	金額	引上額	引上率	金額	引上額	引上率	金額	引上額	引上率	金額	引上額	引上率			
		663 円	89 円	15.5 %	682 円	19 円	2.9 %	698 円	16 円	2.3 %	710 円	12 円	1.7 %	710 円	0 円	0.0 %	717 円	7 円	1.0 %	731 円	14 円	2.0 %	753 円	22 円	3.0 %	791 円	38 円	5.0 %	856 円	65 円	8.2 %

H 2 ~ H 7 年までは省略

宮城県電気機械器具製造業最低工賃の推移

資料6 - (2)

品目	工程	規格	単位	S63.11.12 新設	H4.3.16 改正	H6.5.15 改正	H9.4.4 改正	H11.4.24 改正	H13.4.20 改正	H15.4.20 改正	H19.5.9 改正	H21.5.27 改正	H23.6.9 改正	H27.4.30 改正	H30.5.2 改正	R4.4.15 改正
シールド線	端末加工（表面の絶縁被覆部分がはぎ取り済みとなっているシールド線の一端について、アース線をより分けてよじり、しん線の絶縁被覆をはぎ取った後、当該アース線及びしん線の末端をはんだ付けすることをいう。）	1しんのものについて行うもの	金額（1か所につき）	1円20銭	1円30銭	1円35銭	1円40銭	1円44銭	1円45銭	1円46銭	1円48銭	1円50銭	1円52銭	1円55銭	1円64銭	1円78銭
			引上率	—	8.33	3.85	3.70	2.86	0.69	0.69	1.37	1.35	1.33	1.97	5.81	8.54
			県最賃÷金額	366.7	386.2	400.0	415.0	418.1	422.8	422.6	424.3	435.3	443.4	458.1	470.7	479.2
			特定最賃÷金額	—	434.6	448.1	463.6	470.8	475.9	476.7	478.4	488.7	488.8	496.1	499.4	500.0
	チューブ挿入（端末加工の途中又は終了したシールド線の一端について、よじり済みのアース線にビニールチューブを通した後、固定用チューブを通し、加熱して密着させることをいう。）	シールド線について行うもの	金額（1か所につき）	1円35銭	1円40銭	1円45銭	1円50銭	1円54銭	1円55銭	1円55銭	1円57銭	1円59銭	1円61銭	1円65銭	1円75銭	1円90銭
			引上率	—	3.70	3.57	3.45	2.67	0.65	0.00	1.29	1.27	1.26	2.48	6.06	8.57
			県最賃÷金額	325.9	358.6	372.4	387.3	390.9	395.5	398.1	400.0	410.7	418.6	430.3	441.1	448.9
			特定最賃÷金額	—	403.6	417.2	432.7	440.3	445.2	449.0	451.0	461.0	461.5	466.1	468.0	468.4
コネクタ	差し（コネクタの指定の位置に、シールド線又はリード線の末端に取り付けられた端子を差し込むことをいう。）	シールド線について行うもの	金額（1ピンにつき）	30銭	35銭	36銭	38銭	40銭	41銭	41銭	42銭	43銭	44銭	45銭	48銭	53銭
			引上率	—	16.67	2.86	5.56	5.26	2.50	0.00	2.43	2.38	2.33	2.27	6.67	10.4
			県最賃÷金額	1,466.7	1,434.3	1,500.0	1,528.9	1,505.0	1,495.1	1,504.9	1,495.2	1,518.6	1,531.8	1,577.8	1,608.3	1,609.4
			特定最賃÷金額	—	1,614.3	1,680.6	1,707.9	1,695.0	1,682.9	1,697.6	1,685.7	1,704.7	1,688.6	1,708.9	1,706.3	1,679.2
	リード線について行うもの	金額（1ピンにつき）	20銭	25銭	26銭	28銭	29銭	30銭	30銭	31銭	32銭	33銭	34銭	37銭	41銭	
		引上率	—	25.00	4.00	7.69	3.57	3.45	0.00	3.33	3.23	3.13	3.03	8.82	10.81	
		県最賃÷金額	2,200.0	2,008.0	2,076.9	2,075.0	2,075.9	2,043.3	2,056.7	2,025.8	2,040.6	2,042.4	2,088.2	2,086.5	2,080.5	
		特定最賃÷金額	—	2,260.0	2,326.9	2,317.9	2,337.9	2,300.0	2,320.0	2,283.9	2,290.6	2,251.5	2,261.8	2,213.5	2,170.7	
改正（新設）時点での宮城県最低賃金額				440円	502円	540円	581円	602円	613円	617円	628円	653円	674円	710円	772円	853円
宮城県最低賃金のアップ率				—	14.1	7.57	7.59	3.61	1.83	0.65	1.78	3.98	3.22	5.34	8.73	10.49
改正（新設）時点での宮城県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業（宮城県電気機械器具製造業）最低賃金額				—	565円	605円	649円	678円	690円	696円	708円	733円	743円	769円	819円	890円
宮城県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業（宮城県電気機械器具製造業）最低賃金のアップ率				—	—	7.08	7.27	4.47	1.77	0.87	1.72	3.53	1.36	3.50	6.50	8.67
適用委託者数計				32人	19人	11人	8人	10人	11人	10人	12人	10人	10人	8人	9人	10人
適用家内労働者数計				1,529人	697人	469人	374人	177人	255人	144人	196人	131人	177人	103人	97人	84人



# 宮城県男子服・婦人服製造業最低工賃

男子服・婦人服製造業に従事する家内労働者の最低工賃が改正されました。

## 平成29年5月4日から宮城県全域に適用

- 適用する家内労働者.....宮城県の区域内で、男子服製造業に係る背広上衣若しくはズボンのまよめの業務又は婦人服製造業に係るワンピース、ブレザー、コート、スカート若しくはスラックスのまよめの業務に従事する家内労働者
- 適用する委託者.....前号の家内労働者に前号の業務を委託する委託者
- 第1号の家内労働者に係る最低工賃額

### (1) 男子服製造業に係るまよめの業務

次の表の品目欄、工程欄及び規格欄の区分に応じ、金額欄に掲げる金額。

ただし、金額欄の括弧内の長さ以外の場合は、1センチメートル単位で換算した金額とし、1センチメートル未満の長さは切り上げるものとする。

品目	工程	規格	金額	
背広上衣	下襟からげまつり(すみまつり)	針目が3センチメートル間隔に6針以上	1枚(10センチメートル)につき 30円	
	肩裏まつり	針目が3センチメートル間隔に9針以上	1枚(17センチメートル×2)につき 37円	
	そで付け裏まつり		1枚(60センチメートル×2)につき 126円	
	前裏すそまつり	針目が3センチメートル間隔に5針以上	1枚(30センチメートル×2)につき 42円	
	見返し奥星入れ	針目が3センチメートル間隔に4針以上	1枚(70センチメートル×2)につき 85円	
	見返し7ミリメートル星入れ		1枚(45センチメートル×2)につき 58円	
	そで口裏まつり	針目が3センチメートル間隔に9針以上	1枚(32センチメートル×2)につき 66円	
	背裏鎖止め(鎖止め)	鎖糸ループ長さ1センチメートル	1枚につき 15円	
	ベントまつり	針目が3センチメートル間隔に6針以上	1枚(10センチメートル)につき 16円	
	背すそまつり		1枚(20センチメートル×2)につき 53円	
	糸くず取り		1枚につき 36円	
	ズボン	腰裏かんぬき止め	8か所	1本につき 46円
		腰裏後端まつり	針目が3センチメートル間隔に10針以上	1本につき 11円
前立てまつり		針目が3センチメートル間隔に6針以上	1本につき 11円	
天く裏まつり			1本につき 11円	
シックまつり			1本につき 32円	
小またちどり			1本につき 18円	
内またちどり		1本につき 25円		
ボタン付け		小ボタン、糸足つき根巻4回以上	1個につき 12円	
糸くず取り			1本につき 29円	

### (2) 婦人服製造業に係るまよめの業務

次の表の品目欄、工程欄及び規格欄の区分に応じ、金額欄に掲げる金額。

ただし、金額欄の長さ以外の場合は、1センチメートル単位で換算した金額とし、1センチメートル未満の長さは切り上げるものとする。

品目	工程	規格	金額
ワンピース	見返し端まつり(千鳥)	針目が3センチメートル間隔に5針以上	1か所につき 13円
	すそまつり	針目が3センチメートル間隔に4針以上	10センチメートルにつき 12円
	スナップ付け	1センチメートル以上型	1組につき 16円
		1センチメートル未満型	1組につき 17円
	かぎホック付け	ウエスト用以外、小、2つ穴	1組につき 22円
	ボタン付け	18ミリメートル以下、2つ穴、糸足つき根巻4回以上	1個につき 10円
	鎖糸ループ付け		1か所につき 14円
	ブリーツしつけ	×印しつけ止め	1か所につき 9円
	見返し裏まつり	針目が3センチメートル間隔に4針以上	10センチメートルにつき 29円
	肩パット付け		1組につき 36円
	糸くず取り		1枚につき 30円

品目	工程	規格	金額
ブレザー	見返し端まつり(千鳥)	針目が3センチメートル間隔に5針以上	1か所につき 16円
	見返し星入れ	針目が3センチメートル間隔に3針以上	10センチメートルにつき 34円
	ボタン付け	18ミリメートル以下、2つ穴、糸足つき根巻4回以上	1個につき 11円
		20ミリメートル以上、4つ穴、糸足つき根巻4回以上	1個につき 13円
	カボタン付きボタン付け	18ミリメートル以下、2つ穴、糸足つき根巻4回以上	1個につき 13円
		20ミリメートル以上、4つ穴、糸足つき根巻4回以上	1個につき 15円
	ベント止め	×印しつけ止め	1か所につき 10円
	肩パット付け		1組につき 35円
	糸くず取り		1枚につき 27円
	コート	見返し端まつり(千鳥)	針目が3センチメートル間隔に5針以上
スナップ付け		1センチメートル型	1組につき 16円
ボタン付け		18ミリメートル以下、2つ穴、糸足つき根巻4回以上	1個につき 11円
		20ミリメートル以上、4つ穴、糸足つき根巻4回以上	1個につき 12円
カボタン付きボタン付け		18ミリメートル以下、2つ穴、糸足つき根巻4回以上	1個につき 14円
		20ミリメートル以上、4つ穴、糸足つき根巻4回以上	1個につき 15円
ベント止め		×印しつけ止め	1か所につき 9円
ブリーツしつけ			1か所につき 9円
肩パット付け			1組につき 33円
糸くず取り			1枚につき 26円
スカート	見返し端まつり(千鳥)	針目が3センチメートル間隔に5針以上	1か所につき 11円
	スナップ付け	1センチメートル以上型	1組につき 16円
		1センチメートル未満型	1組につき 17円
	かぎホック付け	ウエスト用、前かん	1組につき 22円
	ボタン付け	18ミリメートル以下、2つ穴、糸足つき根巻4回以上	1個につき 10円
		20ミリメートル以上、4つ穴、糸足つき根巻4回以上	1個につき 11円
	鎖糸ループ付け		1か所につき 14円
	ベント止め	×印しつけ止め	1か所につき 9円
	ブリーツしつけ		1か所につき 8円
	ウエスト裏まつり	針目が3センチメートル間隔に7針以上	20センチメートルにつき 32円
糸くず取り		1枚につき 22円	
スラックス	3段前かん		1組につき 22円
	スナップ付け	1センチメートル以上型	1組につき 16円
		1センチメートル未満型	1組につき 18円
	かぎホック付け	ウエスト用、前かん	1組につき 22円
	ボタン付け	18ミリメートル以下、2つ穴、糸足つき根巻4回以上	1個につき 11円
		20ミリメートル以上、4つ穴、糸足つき根巻4回以上	1個につき 13円
	糸くず取り		1枚につき 22円
	3段前かん		1組につき 20円

最低工賃が適用される委託者、家内労働者の皆さんは、次のことにご注意願います。

- 委託者は、この最低工賃額以上の工賃を支払わなくてはなりません。最低工賃額に達しない工賃の支払いを定める契約は、その部分については無効となり、その無効となった部分は、最低工賃額の支払いの定めをしたものとみなされます。
- 委託者は、家内労働者に家内労働手帳を交付し、工賃単価、受領した物品の数量、支払った工賃額などをその都度、記入しなければなりません。

最低工賃についてのご照会、ご相談は、宮城労働局労働基準部賃金室(仙台市宮城野区鉄砲町1番地 仙台第4合同庁舎 022-299-8841) または、最寄りの労働基準監督署へご連絡下さい。

仙台労働基準監督署 022-299-9075  
石巻労働基準監督署 0225-22-3365  
古川労働基準監督署 0229-22-2112

大河原労働基準監督署 0224-53-2154  
瀬峰労働基準監督署 0228-38-3131

宮 城 労 働 局

# 宮城県電気機械器具製造業最低工賃

令和4年4月15日改正

- 1 適用する家内労働者.....宮城県の区域内で、電気機械器具製造業に係る業務に従事する家内労働者
- 2 適用する委託者.....前号の家内労働者に、前号の業務を委託する委託者
- 3 家内労働者に係る最低工賃額は次のとおり

品目	工程	規格	金額
シールド線	<b>端末加工</b> (表面の絶縁被覆部分がはぎ取り済みとなっているシールド線の一端について、アース線をより分けてよじり、しん線の絶縁被覆をはぎ取った後、当該アース線及びしん線の末端をはんだ付けすることをいう。)	1しんのものについて行うもの	1ヶ所につき <b>1円78銭</b>
	<b>チューブ挿入</b> (端末加工の途中又は終了したシールド線の一端について、よじり済みのアース線にビニールチューブを通した後、固定用チューブを通し、加熱して密着させることをいう。)		1ヶ所につき <b>1円90銭</b>
コネクター	<b>差し</b> (コネクターの指定の位置に、シールド線又はリード線の末端に取り付けられた端子を差し込むことをいう。)	シールド線について行うもの	1ピンにつき <b>53銭</b>
		リード線について行うもの	1ピンにつき <b>41銭</b>

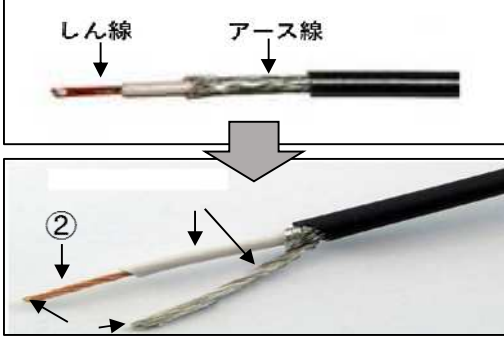
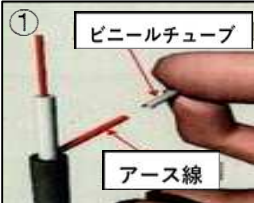
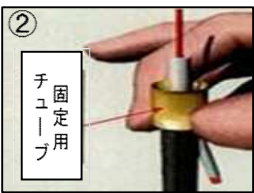

最低工賃が適用される委託者、家内労働者の皆さんは、次のことにご注意願います。

- 1 委託者は、この最低工賃額以上の工賃を支払わなくてはなりません。また最低工賃額に達していない工賃の支払いを定める契約は、その部分については無効となり、その無効となった部分は、最低工賃額の支払いの定めをしたものとみなされます。
- 2 委託者は、家内労働者に家内労働手帳を交付し、工賃単価、受領した物品の数量、支払った工賃額などをその都度、記入しなければなりません。
- 3 委託状況届の提出(家内労働法第26条)  
委託者は、毎年4月1日現在における委託している仕事の内容や家内労働者数などについて、4月30日までに労働基準監督署に届け出なければなりません。

最低工賃についてのご照会、ご相談は、宮城労働局労働基準部賃金室(022-299-8841)又は、最寄りの労働基準監督署へお問い合わせください。

仙台労働基準監督署	022-299-9075	大河原労働基準監督署	0224-53-2154
石巻労働基準監督署	0225-22-3365	瀬峰労働基準監督署	0228-38-3131
古川労働基準監督署	0229-22-2112		

宮 城 労 働 局

品目	工程	作業の形態説明	規格	金額
シールド線	<p><b>端末加工</b>            (表面の絶縁被覆部分がはぎ取り済みとなっているシールド線の一端について、アース線をより分けよじり、しん線の絶縁被覆をはぎ取った後、当該アース線及びしん線の末端をはんだ付けすることをいう。)</p>	<p>【シールド線】            絶縁線の外側に細かい鉄線を編んだ外皮をほどこした電線で時期に対しシールド作用(しゃへい作用)を持っている</p> <p>【端末加工工程】</p>  <p>アース線としん線を分け、アース線によって束にする。            しん線の絶縁被覆をはぎ取る。            アース線としん線をはんだ付けする。</p>	1しんのものについて行うもの	1ヶ所につき 1円78銭
	<p><b>チューブ挿入</b>            (端末加工の途中又は終了したシールド線の一端について、よじり済みのアース線にビニールチューブを通した後、固定用チューブを通し、加熱させて密着させることをいう。)</p>	<p>①  よじったアース線にチューブを挿入</p> <p>②  固定用チューブを挿入</p> <p>③  ドライヤー等で加熱固定</p>		1ヶ所につき 1円90銭
コネクタ	<p><b>差し</b>            (コネクタの指定の位置に、シールド線又はリード線の末端に取り付けられた端子を差し込むことをいう。)</p>	<p>端子をコネクタの指定の位置に差し込む</p>  	シールド線について行うもの	1ピンにつき 53銭
			リード線について行うもの	1ピンにつき 41銭

これまでの最低工賃新設・改正計画に対する実施状況

資料7 - (1)

第10次	平成22年度	平成23年度	平成24年度
最低工賃部会	電気機械器具 22.12.3諮問、23.4.4答申 23.6.9発効	男子服・婦人服 H23.12.5諮問見送り	電気機械器具 H25.2.7諮問見送り
家内労働部会	H23.1.26 最低工賃改定状況ほか		H25.2.7.10次実績・11次計画案審議、23・24年の諮問見送り経過説明

家内労働者数300人未満で改正予定が決定していないもの  
横編ニットH19.1.8廃止決定の諮問を受けて、H19.2.6家内労働部会にて審議し、全会一致で廃止の報告  
答申 H19.3.31廃止

第11次	平成25年度	平成26年度	平成27年度
最低工賃部会	男子服・婦人服 26.1.8諮問、26.2.26答申 26.5.14発効	電気機械器具 27.1.21諮問、27.3.3答申 27.4.30発効	
家内労働部会		(第12次計画審議のためH27年度に変更)	○H28.2.19第12次計画等審議

第12次	平成28年度	平成29年度	平成30年度
最低工賃部会	男子服・婦人服 H28.12.1諮問、H29.2.27答申 H29.5.4発効	電気機械器具 H29.12.19諮問、H30.2.23答申 H30.5.2発効	
家内労働部会			○H31.2.21第13次計画等審議

第13次	令和元年度	令和2年度	令和3年度
最低工賃部会	統計問題により計画を1年延期 計画では男子服・婦人服(1年延期)	計画では電気機械器具(1年延期) 男子服・婦人服の諮問翌年に見送り	電気機械器具 R3.12.1諮問、R4.2.9答申 R4.4.15発効
家内労働部会			○R4.2.2第14次計画等審議

第14次	令和4年度	令和5年度	令和6年度
最低工賃部会		男子服・婦人服の諮問 改正審議予定	電気機械器具 改正審議予定
家内労働部会			第15次計画(案)等審議予定

宮城県男子服・婦人服 製造業最低工賃が適用となる委託者・家内労働者数

(男子服・婦人服製造業家内労働実態調査結果表より)

	委託者	家内労働者
平成19年10月1日	31	359
平成21年10月1日	27	328
平成23年10月1日	13	147
平成25年10月1日	18	175
平成28年10月1日	16	160
令和2年11月1日	8	56
令和5年9月30日	8	58

宮城県電気機械器具製造業最低工賃が適用となる委託者・家内労働者数

(電気機械器具製造業家内労働実態調査より)

	委託者	家内労働者(補助者を含む)
平成18年度調査	12	196
平成20年度調査	10	131
平成22年度調査	10	177
平成26年度調査	8	103
平成29年度調査	9(+1)	97(+19)
令和3年度調査	10	84

29年度の( )内の数値は、調査締切後に報告があったもの

直前の宮城県最低工賃改正状況

宮城県男子服・婦人服製造業最低工賃	平成28年度改正(平成29年5月4日発効)
宮城県電気機械器具製造業最低工賃	令和3年度改正(令和4年4月15日発効)

第14次最低工賃新設・改正計画

令和4年度	設定なし
令和5年度	宮城県男子服・婦人服製造業最低工賃の改正
令和6年度	宮城県電気機械器具製造業最低工賃の改正

計画では本年度は、宮城県男子服・婦人服最低工賃改正審議予定。令和2年度に主要委託者1社を含む3社が倒産や事業縮小し、最低工賃が適用となる家内労働者数が100人を大きく割込み、業況も厳しく、改正の諮問を見送ってきた経緯がある。本年度も調査を行ったが、家内労働者数、業況に大きな変化はなく、本年度の家内労働部会に報告して了解をいただき、正式に改正諮問を見送ることとしたい。

来年度は宮城県電気機械器具製造業最低工賃改正の予定。こちらも適用となる家内労働者数が減少し100人を割込む状況であり、次年度の統計調査結果や電気業界の業況を確認の上、諮問について検討する予定である。

## 第14次最低工賃新設・改正計画進捗状況

第7回労働政策審議会  
雇用環境・均等分科会  
家内労働部会 資料

(令和5年3月10日開催)

第14次最低工賃新設・改正計画(令和4年4月～7年3月)

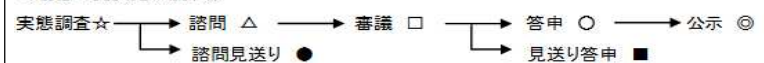
(令和5年3月3日現在)

局名	令和3年度(参考)※第13次計画より		令和4年度		令和5年度		令和6年度		最低工賃件数 <small>(2022.4.1見込み件数)</small>
	件名		件名	件数	件名	件数	件名	件数	
01 北海道	男子既製服(廃止)→[R3.12 ●]		和服裁縫(改正)→☆(来年度諮問予定)	1	男子既製服(廃止)	1			2
02 青森	男子・婦人既製服(改正)→[R4.2.22 改正◎]		電気機械器具(改正)→[R5.3.1 改正◎]	1	和服裁縫(改正)	1	男子・婦人既製服(改正)	1	3
03 岩手	婦人・男子既製洋服(改正)→[R4.4.14廃止・(名称変更のため)既製洋服を新設◎]				電気機械器具(改正)	1	婦人・男子既製洋服(改正)	1	2
04 宮城	電気機械器具(改正)→[R4.3.16 改正◎]				男子服・婦人服(改正)	1	電気機械器具(改正)	1	2
05 秋田			通信機器用部分品(改正)→[R5.3.3 ●]	1	男子服・婦人服・子供服(改正)	1			2
06 山形					男子・婦人既製服(改正)	1			1
07 福島	横編ニット(改正)→[R4.3.10 改正◎]		電気機械器具、情報通信機械器具、電子部品・デバイス(改正)→[R5.2.8 改正◎]	1	外衣・シャツ(改正)	1	横編ニット(改正)	1	3
08 茨城	電気機械器具(改正)→[R4.9.12 改正◎]		男子既製洋服(廃止)→[R5.3.7(予定) ●]	1	婦人・子供既製服(廃止)	1	電気機械器具(改正)	1	3
09 栃木	衣服製造業(改正)→[R4.3.22 改正◎]				電気機械器具(改正)	1	衣服(改正)	1	2
10 群馬	電気機械器具(改正)→[R3.11.5 ●]		横編ニット(改正)→[R4.11.16 ●]	1	婦人服(廃止)	1	電気機械器具(改正)	1	3
11 埼玉	足袋製造業(改正)→[R5.1.24 改正◎]		革靴(改正)→☆(来年度諮問予定)、足袋(改正)→[R5.3.1 改正◎]、縫製(改正)→[R5.2.21 改正◎]	3	紙加工品(改正)	1	電機機械器具(改正)	1	5
12 千葉	婦人既製洋服(廃止)→[R5.3.3 ●]						婦人既製洋服(廃止)	1	1
13 東京	電気機械器具(改正)→[R4.11.24 改正◎]		革靴(改正)→☆(今年度諮問予定)	1	婦人既製洋服(改正)	1	電気機械器具(改正)	1	3
14 神奈川	紙加工品(廃止)→[R4.2.21 ●]		スカーフ・ハンカチーフ(廃止)→[R5.2.20 ●]	1	電気機械器具(改正)	1	紙加工品(廃止)	1	3
15 新潟	男子・婦人既製洋服(改正)、横編ニット(改正)→[2件についてR4.3.11 ●]		洋食器・器物(改正)→[R5.3.3 ●]	1	作業工具(改正)	1	男子・婦人既製洋服(改正)、横編ニット(改正)	2	4
16 富山	ニット(廃止)→[R4.3.4 廃止◎]		電気機械器具(改正)→[R5.2.14 改正◎]	1	ファスナー加工(改正)	1			2
17 石川									0
18 福井	眼鏡(改正)→[R3.12.13 ●]		眼鏡(改正)→[R5.2.9 改正◎]	1			衣服(改正)	1	2
19 山梨	貴金属製品(改正)→[R4.2.21 改正◎]		電気機械器具(改正)→[R5.2.9 改正◎]	1	婦人服(改正)	1	貴金属製品(改正)	1	3
20 長野	外衣・シャツ(改正)→[R4.3.8 ●]				電気機械器具(改正)	1	外衣・シャツ(改正)	1	2
21 岐阜	陶磁器上絵付(改正)→[R4.3.9 ●]				婦人服(改正)、男子既製洋服(改正)	2	陶磁器上絵付(改正)	1	3
22 静岡			車両電気配線装置(改正)→[R5.2.21 改正◎]	1					1
23 愛知							車両電気配線装置(改正)	1	1
24 三重	車両電気配線装置(改正)→[R4.1.31 ●]						車両電気配線装置(改正)	1	1
25 滋賀					下着・補整着(廃止)	1			1
26 京都	紙加工品(改正)→[R4.2.1 ●]				丹後地区絹織物業(改正)	1	紙加工品(改正)	1	2
27 大阪	男子既製洋服(改正)→[R4.1.25 ●]						男子既製洋服(改正)	1	1
28 兵庫	電気機械器具(改正)→[R4.2.2 ●]、靴下(改正)→[R4.2.2 ●]		但馬地区絹・人絹・毛織物(廃止)→[R5.2.1 ●]、綿・スフ織物(改正)→[R5.2.1 ●]	2	釣針(改正)	1	電気機械器具(改正)、靴下(改正)	2	5
29 奈良					靴下(改正)	1			1
30 和歌山									0
31 鳥取	男子服・婦人服(改正)→[R4.1.24 ●]				和服裁縫(改正)	1	男子服・婦人服(改正)	1	2
32 島根	和服裁縫(改正)→[R5.3.13 ●]、外衣・シャツ(改正)→[R4.3.15 ●]		和服裁縫(改正)→[R5.3.13 ●]	1	電気機械器具(改正)	1	外衣・シャツ(改正)	1	3
33 岡山							車両電気配線装置(改正)	1	1
34 広島	和服裁縫(改正)→[R4.3.17 ●]、毛筆・画筆(改正)→[R4.3.17 ●]		既製服(改正)→[R5.2.28 □]	1	電気機械器具(改正)	1	和服裁縫(改正)、毛筆・画筆(改正)	2	4
35 山口	和服裁縫(改正)→[R4.3.14 ●]		男子既製洋服・校服・作業服(改正)→[R5.3.7(予定) ●]	1	和服裁縫(改正)	1	男子既製洋服・校服・作業服(改正)	1	2
36 徳島			縫製(下着・ハンカチーフ)→[R4.11.7 ●]	1					1
37 香川	手袋・ソックスカバー(改正)→[R4.2.8 ●]						手袋・ソックスカバー(改正)	1	1
38 愛媛					タオル(改正)	1			1
39 高知	繊維産業(改正)→[R4.8.25 改正◎]		衛生用紙(改正)→[R4.6.23 ●]	1			繊維産業(改正)	1	2
40 福岡					婦人服(改正)	1	男子服(改正)	1	2
41 佐賀	婦人既製服(改正)→[R4.3.25 改正◎]						婦人既製服(改正)	1	1
42 長崎	男子既製洋服(改正)→[R4.2 ●]、婦人既製洋服(廃止)→[R4.2 ●]				和服裁縫(廃止)	1	男子既製洋服(廃止)、婦人既製洋服(廃止)	2	3
43 熊本	縫製(廃止)→[R4.3.23 ●]、電気機械器具(改正)→[R5.2.8 改正◎]		和服裁縫(改正)→☆(今年度中に諮問予定)	1	縫製(廃止)	1	電気機械器具(改正)	1	3
44 大分					衣服(改正)、電気機械器具(改正)	2			2
45 宮崎	内燃機関電装品(改正)→[R4.3.14 ●]		婦人既製洋服(廃止)→[R4.4.18 廃止◎]、男子既製洋服(改正)→[R4.12.7 □]	2			内燃機関電装品(改正)	1	3
46 鹿児島	電気機械器具、情報通信機械器具、電子部品・デバイス(改正)→[R4.11.22 改正◎]						電気機械器具(改正)	1	1
47 沖縄	縫製(改正)→[R5.2.10 改正◎]						縫製(改正)	1	1
合計				26		33		39	97

(注)各年度の最低工賃の件数は令和4年3月18日現在のものである。なお、件名の後の( )は、計画策定時点における予定を記載したもの。改正、統合、廃止等の決定は、各都道府県労働局において、実態調査等を実施の上、地方労働審議会等の意見を聴取して行うものであることに留意されたい。

公示済=◎ 答申済=○ 審議中=□ 諮問済=△ 実態調査中=☆ 諮問見送り=● 見送り答申=■ 未着手=▲

<最低工賃決定の流れ>



# 令和4年度最低工賃新設・改正状況

(令和5年3月3日現在)

令和4年度実施状況		内訳	数
公示済	新設		0
	改正	青森電気機械器具、埼玉足袋製造業、	2
	廃止	宮崎婦人既製洋服	1
答申済	改正	福島電気機械器具、情報通信器具、電子部品・デバイス製造業、埼玉縫製業、富山電気機械器具、福井眼鏡製造業、山梨電気機械器具、静岡車両電気配線装置製造業	6
	廃止		0
見送り答申			0
審議中		広島既製服、宮崎男子既製洋服(R5. 3. 9改正答申予定)	2
諮問中	新設		0
	改正		0
	廃止		0
諮問見送り		秋田通信機器用部分品、茨城男子既製洋服、群馬横編ニット、神奈川スカーフ・ハンカチーフ、新潟洋食器・器物、兵庫但馬地区絹・人絹・毛織物、兵庫綿・スフ織物、島根和服縫製、山口男子既製洋服・校服・作業服、徳島縫製(下着・ハンカチーフ)、高知衛生用紙	11
実態調査中		北海道和服裁縫、埼玉革靴、東京革靴、熊本和服裁縫	4
未着手			0
合計			26



## 令和 5 年度における男子服・婦人服製造業最低工賃の改正諮問について ( 案 )

## 1 男子服・婦人服製造業最低工賃を巡る状況

## ( 1 ) 衣料品販売額の状況

宮城県の百貨店・スーパーにおける衣料品販売額 ( 紳士服・洋品、 婦人・子供・洋品 ) については、表 1 のとおり、1998 年 ( 平成 10 年 ) には 合計で約 1,016 億円であったが、年々、減少する傾向が続き、2018 年 ( 平成 30 年 ) には約 386 億円と 20 年の間に約 62%もの減少となっている ( 経産省商業動態統計 )。

さらに、新型コロナウイルス感染拡大の影響による外出控え(いわゆる巣ごもり)などにより、令和 2 年から急激に衣料品販売額は減少し、令和 2 年は対前年比-22.5%の大幅減(紳士服・洋品 19.3%減、婦人・子供服・洋品 23.9%減)となり、その後も令和 4 年まで減少が続いており、衣料品製造事業者、販売事業者の経営環境は非常に厳しい状況となっている。

表 1 宮城県 百貨店・スーパーの衣料品販売額 ( 紳士服・洋品、婦人・子供服・洋品 )

単位：百万円、カッコ内は対前年比

年間の販売額	紳士服・洋品	婦人・子供服・洋品	+
1998 年 ( 平成 10 年 )	27,644 ( -2.2% )	73,967 ( -2.2% )	101,611 (-2.2% )
2008 年 ( 平成 20 年 )	15,701 ( -7.0% )	40,327 ( -8.0% )	56,028 ( -7.7% )
2018 年 ( 平成 30 年 )	11,830 ( -4.4% )	26,747 ( -3.5% )	38,577 ( -3.8% )
2019 年 ( 令和元年 )	11,053 ( -6.6% )	25,710 ( -3.9% )	36,763 ( -4.7% )
2020 年 ( 令和 2 年 )	8,919 ( -19.3% )	19,566 ( -23.9% )	28,485 ( -22.5% )
2021 年 ( 令和 3 年 )	7,694 ( -13.7% )	17,728 ( -9.4% )	25,422 (-10.6% )
2022 年 ( 令和 4 年 )	7,372 ( -4.2% )	16,254 ( -8.3% )	23,626 ( -7.1% )

本年 ( 令和 5 年 ) に入り、宮城県の百貨店・スーパーにおける衣料品販売額 ( 紳士服・洋品、 婦人・子供・洋品 ) については、表 2 のとおり増額に転じてはいるが、コロナ禍前の水準には戻っておらず、物価高騰等の影響を勘案するといまだ先行き不透明な状況である。

表2 宮城県 百貨店・スーパーの衣料品販売額 1月～8月の集計  
(紳士服・洋品、婦人・子供服・洋品)

単位：百万円、カッコ内は対前年比

1月～8月の販売額	紳士服・洋品	婦人・子供服・洋品	+
2019年(令和元年)	7,155	17,299	24,454
2020年(令和2年)	5,566(-22.2%)	12,611(-27.1%)	18,177(-25.7%)
2021年(令和3年)	4,911(-11.8%)	12,046(-4.5%)	16,957(-6.7%)
2022年(令和4年)	4,507(-8.2%)	10,519(-12.7%)	15,026(-11.4%)
2023年(令和5年)	4,809(6.7%)	11,052(5.1%)	15,861(5.6%)

(2) 県内家内労働委託者及び家内労働者数の大幅な減少

最低工賃の適用となる家内労働委託者に対し、平成28年、令和2年、令和3年及び令和5年のそれぞれ10月に男子服・婦人服製造業に係る家内労働者等実態調査を実施。その結果は、表3のとおりである。

平成28年の調査と比較して令和2年は委託者及び家内労働者ともに大きく減少(委託者1/2〔16社 8社〕、家内労働者1/3〔166名 56名〕に減少。特に男子服の委託者は1社のみ。)している。

その要因としては、上記1のとおり業界全体の業況低迷の中でのコロナ禍による需要の大幅減に伴う受注減少が大きく影響し、家内労働者への委託の打ち切りが行われたことや、多くの業務を委託していた県内大手の1社を含む大手3社が倒産や事業縮小したことなどが考えられる。

令和3年の調査においては前年調査と比べ委託者1名減、家内労働者1名減となっており改善には至っていない。

令和5年の調査においては、男子服は、委託者数は変わらないが家内労働者9名減と前回調査と比べ半数以下となっている。

婦人服は、委託者1名増、家内労働者12名増となっているが、委託者については前回調査で最低工賃が適用されなかった委託者が今回適用されるに至ったものである(委託内容の変更によるもの)。

全体として委託者1名増、家内労働者3名増であるが、前回の令和3年とほぼ同様の状況である

表 3 宮城県男子服・婦人服製造業最低工賃の適用される委託者・家内労働者数

調査年度	男子服製造業		婦人服製造業		計	
	委託者数	家内労働者数	委託者数	家内労働者数	委託者数	家内労働者数
平成28年	6	89	10	77	16	166
令和2年	1	13	7	43	8	56
令和3年	1	15	6	40	7	55
令和5年	1	6	7	52	8	58

## 2 令和元年度、2年度における工賃改正諮問について

男子服・婦人服製造業最低工賃については、令和元年度は、審議のうえで必要な統計調査に全国的な問題が発生し、本省の指示を踏まえ翌年度に順延し、令和2年度には、新型コロナウイルス感染拡大により繊維産業が大きな打撃を受け最低工賃改正の諮問を行うことは困難であったことから、宮城地方労働審議会の主要な委員に了解をとり、改正諮問を令和3年度に先送りした。

## 3 令和3年度における工賃改正諮問について

令和3年度も実態調査を実施したが、結果は前述のとおり、委託者数、家内労働者数とも減少したまま戻っておらず、宮城の男子服・婦人服の販売額も前年を下回る状況が続いており、業況は厳しく、第13次最低工賃新設・改正計画の最終年度となる令和3年度においても、改正諮問を行える状況にないと判断した。

よって、令和3年度に予定していた家内労働部会においてその状況を報告し、改正諮問見送りについて了解をとり、第14次最低工賃新設・改正計画を定め、令和5年度に実態調査等を行い、改正の判断をすることとした。

## 4 令和5年度における工賃改正諮問について

平成28年と比較して、委託者がほぼ半減したまま回復していないこと、家内労働者も3分の1となり100人を大きく下回っていること、新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和2年からレナウン、オンワード樺山などの大手企業の倒産や事業縮小が相次ぎ、宮城県の百貨店・スーパーの衣料品販売額がコロナ禍前の水準まで回復していないこと、ゼロゼロ融資の返済期限が到来していることや繊維業

界において価格転嫁が進んでいないこと等の状況を勘案すると、本年度は諮問を見送るべきと思料される。

また、現状では14次最低工賃新設・改正計画（令和4年度～6年度）の期間中における急激な経営環境の改善も見込めないことから、今後、状況を十分確認したうえで、令和7年度からの次期計画において取り組むべきものと思料される。

男子服・婦人服製造業

家内労働実態調査結果表

令和 5 年 12 月

宮 城 労 働 局

# 目 次

1. 調査の目的	3
2. 調査対象及び調査方法	3
3. 調査対象時期及び調査実施時期	3
4. 家内労働概況調査	
第 1 表    宮城県における繊維工業の委託者数及び家内労働者数	3
第 2 表    男子服・婦人服製造業における監督署別委託者数・家内労働者数の推移	4
第 3 表    男子服・婦人服製造業の地域別委託者数及び家内労働者	5
5. 委託者実態調査結果	
第 4 表    事業所規模（雇用労働者数）別委託者数・家内労働者数	6
第 5 表    年齢別家内労働者数	6
第 6 表    経験年数別家内労働者数	6
第 7 表    1 ヶ月の工賃額別家内労働者数	6
第 8 表    類型別家内労働者数	7
第 9 表    過去 2 年間ににおける家内労働業務量の増減別委託者数	7
第 10 表    家内労働業務量の減少理由別委託者数	7
第 11 表    委託業務内容別委託者数	7
第 12 表    委託業務のうち「まとめ」の内容別委託者数	8
第 13 表    委託理由別委託者数	8
第 14 表    委託契約の方法別委託者数	8
第 15 表    不良品の取扱い別委託者数	9
第 16 表    納期が遅れた場合の取扱い別委託者数	9
第 17 表    家内労働者に支給している備品別委託者数	9
第 18 表    家内労働者に貸与している機械別委託者数	9
第 19 表    原材料・製品の運搬者別委託者数	9
第 20 表    工賃の支払場所別委託者数	10
第 21 表    工賃の支払方法別委託者数	10
第 22 表    工賃の決定要素別委託者数	10
第 23 表    工賃の改定状況別委託者数	10
第 24 表    工賃を改定しなかったと回答した委託者の今後の工賃改定見通し	10
第 25 表    工賃決定の際に光熱費等の考慮の有無別委託者数	10
第 26 表    工賃分布表（男子服背広上衣）	11
第 27 表    工賃分布表（男子服ズボン）	12
第 28 表    工賃分布表（婦人服ワンピース）	13
第 29 表    工賃分布表（婦人服ブレザー）	14
第 30 表    工賃分布表（婦人服コート）	15
第 31 表    工賃分布表（婦人服スカート）	16

第32表	工賃分布表(婦人服スラックス)	17
------	-----------------	----

## 6. 家内労働者実態調査結果

第33表	男女別家内労働者数及び平均年齢	18
第34表	家内労働者の世帯主との関係	18
第35表	類型別家内労働者数	18
第36表	家内労働を行っている理由別家内労働者数	18
第37表	家内労働者の平均年数・平均工賃等(28年9月分・過去1年分)	18
第38表	機械を使用する家内労働者数及び当該機械の所有者	18
第39表	工賃の決定方法別家内労働者数	19
第40表	過去4年間における工賃改定の有無	19
第41表	工賃支払い遅れの有無	19
第42表	著しく低い工賃の仕事依頼の有無	19
第43表	最低工賃周知状況	19
第44表	最低工賃の必要性	19

## 7. 工賃額の対前回調査(令和2年10月)比

別表1	男子服(背広上衣・ズボン)	20
別表2	婦人服(ワンピース・プレザー)	21
別表3	婦人服(コート・スカート)	22
別表4	婦人服(スラックス)	23

## 1. 調査の目的

宮城県内における男子服・婦人服製造業の家内労働者の実態を把握し、改正決定の審議に資するための基礎資料を得るため、男子服・婦人服製造業にかかる委託事業所及び家内労働者について、実態調査を行なったものである。

## 2. 調査対象及び調査方法

宮城県内の繊維工業のうち、令和4年概況調査により把握した男子服製造業及び、婦人服製造業の家内労働委託者9件と同委託者1件当たり2名の家内労働者を対象に、通信調査を実施した。

その結果、集計数は次のとおりであった。

### 委託者実態調査

男子服製造業	1
婦人服製造業	7

### 家内労働者実態調査

男子服製造業	2
婦人服製造業	10

## 3. 調査対象時期及び調査実施時期

	調査対象時期	調査実施時期
委託者	R5年 9月分	R5年10月分
家内労働者	R5年 9月分	R5年10月分

## 4. 家内労働概況調査

第1表 宮城県における繊維工業の委託者数及び家内労働者数  
(産業分類E11)

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	令和2年	令和3年	令和5年
委託者数	31	34	32	29	31	32	30	31	30
家内労働従事者数	340	383	379	368	342	335	265	245	233
家内労働者数	335	379	372	362	336	334	263	242	233
(男)	25	11	28	21	20	19	6	5	9
(女)	310	368	344	341	316	315	257	237	224
補助者	5	4	7	6	6	1	2	3	0

家内労働概況調査(各年10月1日現在)



第2表 男子服・婦人服製造業における監督署別委託者数・家内労働者数の推移

工賃実態調査(各年10月1日現在)

		平成25年		平成28年		令和2年		令和3年		令和5年	
		委託者	家内労働者	委託者	家内労働者	委託者	家内労働者	委託者	家内労働者	委託者	家内労働者
仙台署	男子服	1	7	2	10						
	婦人服	3	15	2	10	1	4	1	4	1	11
	計	4	22	4	20	1	4	1	4	1	11
石巻署	男子服										
	婦人服	4	39	4	48	3	30	3	28	3	23
	計	4	39	4	48	3	30	3	28	3	23
古川署	男子服										
	婦人服	1	3								
	計	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0
大河原署	男子服	1	47	1	46						
	婦人服	2	5	3	7	2	5	1	2	2	12
	計	3	52	4	53	2	5	1	2	2	12
瀬峰署	男子服	2	23	3	33	1	13	1	15	1	6
	婦人服	4	36	1	6	1	4	1	6	1	6
	計	6	59	4	39	2	17	2	21	2	12
合計	男子服	4	77	6	89	1	13	1	15	1	6
	婦人服	14	98	10	71	7	43	6	40	7	52
	計	18	175	16	160	8	56	7	55	8	58

第3表 男子服・婦人服製造業の地域別委託者数及び家内労働者数

		委託者数			家内労働者数		
		男子服	婦人服	計	男子服	婦人服	計
仙台署	仙台市			0			0
	塩釜市			0			0
	名取市			0			0
	多賀城市			0			0
	岩沼市			0			0
	富谷市			0			0
	亘理町		1	1		11	11
	山元町			0			0
	松島町			0			0
	七ヶ浜町			0			0
	利府町			0			0
	計	0	1	1	0	11	11
石巻署	石巻市		2	2		20	20
	気仙沼市		1	1		3	3
	東松島市			0			0
	女川町			0			0
	南三陸町			0			0
	計	0	3	3	0	23	23
古川署	大崎市			0			0
	大和町			0			0
	大郷町			0			0
	大衡村			0			0
	色麻町			0			0
	加美町			0			0
	涌谷町			0			0
	美里町			0			0
	計	0	0	0	0	0	0
大河原署	白石市			0			0
	角田市			0			0
	蔵王町		1	1		9	9
	七ヶ宿町			0			0
	大河原町		1	1		3	3
	村田町			0			0
	柴田町			0			0
	川崎町			0			0
	丸森町			0			0
	計	0	2	2	0	12	12
瀬峰署	登米市	1	1	2	6	6	12
	栗原市			0			0
	計	1	1	2	6	6	12
合計		1	7	8	6	52	58

5. 委託者実態調査結果（回答のあったデータを集計）

第4表 事業所規模（雇用労働者数）別委託者数・家内労働者数

事業所規模		5人以下	6～10人	11～30人	31～99人	100人以上	計
委託者数	男子服				1		1
	婦人服	1			5	1	7
	計	1	0	0	6	1	8
一委託者平均 家内労働者数	男子服				6.0		6.0
	婦人服	3.0			8.0	9.0	7.4
	計	3.0	0.0	0.0	7.7	9.0	7.3

第5表 年齢別家内労働者数

	20歳未満	20歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上	計
男子服						0	0
婦人服			3	4	2	40	49
計	0	0	3	4	2	40	49

第6表 経験年数別家内労働者数

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	計
男子服						0
婦人服	3	3	6	7	30	49
計	3	3	6	7	30	49

第7表 1ヶ月の工賃額別家内労働者数

	男			女		
	男子服	婦人服	計	男子服	婦人服	計
1万円未満			0		6	6
1万円以上2万円未満			0		6	6
2万円以上3万円未満			0		16	16
3万円以上4万円未満			0		8	8
4万円以上5万円未満			0		6	6
5万円以上6万円未満			0		5	5
6万円以上7万円未満			0		1	1
7万円以上8万円未満			0			0
8万円以上9万円未満			0			0
9万円以上10万円未満			0			0
10万円以上			0		1	1
計	0	0	0	0	49	49

第8表 類型別家内労働者数

	専業			内職			副業			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
男子服			0		6	6			0	0	6	6
婦人服			0		52	52			0	0	52	52
計	0	0	0	0	58	58	0	0	0	0	58	58

第9表 過去2年間における家内労働業務量の増減別委託者数

	増えた	変わらない	減った	無回答
男子服				1
婦人服		5	1	1
計	0	5	1	2

第10表 第9表にて減ったと回答した減少理由別委託者数（複数回答）

	不況	工場内生産	人材不足	その他
男子服				
婦人服		1	1	
計	0	1	1	0

第11表 委託業務内容別委託者数（複数回答）

	生地裁断	縫製	まとめ	仕上げ	検査	包装	その他
男子服							
婦人服		2	6	1			
計	0	2	6	1	0	0	0

第12表 委託業務のうち「まとめ」の内容別委託者数（複数回答）

	そで	そで口	すそ	ちどり	フアスナー	星入れ	飾り釦	根巻釦	力釦	鉤ホック	スナップ	系ループ	その他
男子服													
婦人服			2				5	5	3	5	4	3	3
計	0	0	2	0	0	0	5	5	3	5	4	3	3

第13表 委託理由別委託者数（複数回答）

	仕事量 が変動	手作業 である	少量多 品種 である	コスト が安い	高い技能 が必要	求人難	その他
男子服							
婦人服	1	6		1	2		
計	1	6	0	1	2	0	0

第14表 委託契約の方法別委託者数（複数回答）

	家内労働手帳		ノート類 (メモ等)	口約束	その他
	手帳式	伝票式			
男子服					
婦人服	1	4			1
計	1	4	0	0	1

第15表 不良品の取扱い別委託者数（複数回答）

	やり直し させる	弁償させる	工賃を 減額する	指導する	その他
男子服					
婦人服	2			2	2
計	2	0	0	2	2

第16表 納期が遅れた場合の取扱い別委託者数（複数回答）

	工場 引き取る	工賃を 減額する	指導する	その他
男子服				
婦人服	4		2	
計	4	0	2	0

第17表 家内労働者に支給している備品別委託者数（複数回答）

	有							無
	糸	針	チャ コ	目 打ち	物 差し	アイ ロン 台	そ の 他	
男子服								
婦人服	6	5		1	3		2	
計	6	5	0	1	3	0	2	0

第18表 家内労働者に貸与している機械別委託者数（複数回答）

	有					無
	ミシン			アイロン	その他	
	直線	ジグザグ	ロック			
男子服						
婦人服						6
計	0	0	0	0	0	6

第19表 原材料費・製品の運搬者別委託者数（複数回答）

	委託者	家内労働者	その他
男子服			
婦人服	6	1	
計	6	1	0

第20表 工賃の支払場所別委託者数

	事業所	家内労働者宅	グループ リーダー宅	振込	その他
男子服					
婦人服		5		1	
計	0	5	0	1	0

第21表 工賃の支払方法別委託者数

	現金	小切手	口座振込	その他
男子服				
婦人服	5		1	
計	5	0	1	0

第22表 工賃の決定要素別委託者数（複数回答）

	世間相場	最低工賃	パートの賃金	類似労働者	売値の利益	物価	納入価格	その他
男子服								
婦人服	4	2						
計	4	2	0	0	0	0	0	0

第23表 工賃の改定状況別委託者数

	上げた					改定しな かった	下げた				
	年度無	R2年	R3年	R4年	R5年		年度無	R2年	R3年	R4年	R5年
男子服											
婦人服			1		2	3					
計	0	0	1	0	2	3	0	0	0	0	0

第24表 工賃を改定しなかったと回答した委託者の今後の工賃改定見通し

	考えている	考えていない	無回答
男子服			
婦人服		3	
計	0	3	0

第25表 工賃決定の際に光熱費等の考慮の有無別委託者数

	考慮している	考慮していない	無回答
男子服			1
婦人服	4	2	1
計	4	2	2

第26表 工賃分布表(男子服背広上衣)

	最低工賃額		認定許業者数		認定工種別平均工賃額												(円)					
	円	人	円	人	円	人																
下襟からげまつり (すみまつり)	30																					
肩裏まつり	37																					
そで付け裏まつり	126																					
前裏すそまつり	42																					
見返し奥星入れ	85																					
見返し7mm星入れ	58																					
そで口裏まつり	66																					
背裏鎖止め (鎖止め)	15																					
ベントまつり	16																					
背すそまつり	53																					
糸くず取り	36																					

斜体数字部分は、現行最低工賃額未滿



第27表 工賃分布表(男子服ズボン)

	最低工賃額		監査委託金額		監勤工(円)		(円)																											
	円	人	円	人	円	人																												
腰裏かんぬき止め	46																																	
腰裏後端まつり	11																																	
前立てまつり	11																																	
天ぐ裏まつり	11																																	
シックまつり	32																																	
小またちどり	18																																	
内またちどり	25																																	
ボタン付け	12																																	
糸くずとり	29																																	

斜体数字部分は、現行最低工賃額未満

第28表 工賃分布表(婦人服ワンピース)

	円	最低工賃額		縫製工賃表										円					
		人	円	10	11	12	13	14	15	20	22	25	35		45	60			
見返し端まつり (千鳥)	13	2	11.4	13	11														
すそまつり	12	1	15.0			2													
スナップ付け (1cm以上型)	16	2	23.2						11					3					
スナップ付け (1cm未満型)	17	2	21.1						11					3					
かぎホック付け	22	4	21.1						20	11	3								
ボタン付け	10	4	10.7	24	2				3										
鎖系ルーフ付け	14	2	10.5	13				2											
プリーツしつけ	9																		
見返し裏まつり	29																		
肩パット付け	36	1	35.0											11					
糸くず取り	30	2	50.3												13		7		

斜体数字部分は、現行最低工賃額未満

第29表 工賃分布表(婦人服ブレザー)

最低工賃額  
 労働者派遣  
 株式会社  
 駿鳥工務店

	円	人	円	10	12	13	15	17	30	32	35	(円)
見返し端まつり (千鳥)	16	1	13.0			11						
見返し星入れ	34											
ボタン付け (18mm、2つ穴)	11	3	11.2	11	2		3					
ボタン付け (20mm、4つ穴)	13	2	11.5	11				3				
カボタン付きボタン 付け(18mm)	13	2	18.2				11		3			
カボタン付きボタン 付け(20mm)	15	3	18.2				13			3		
ベント止め	10											
肩パット付け	35	1	35.0								11	
糸くず取り	27											

斜体数字部分は、現行最低工賃額未満

第30表 工賃分布表(婦人服コート)

最低工賃額  
監査委託者  
株式会社  
監査工賃表

	円	人	円	10	12	13	15	17	20	25	30	32	35							(円)
見返し端まつり (千鳥)	13	1	13.0			11														
スナップ付け (1cm型)	16	2	21.1					11		3										
ボタン付け (18mm、2つ穴)	11	3	11.2	11	2		3													
ボタン付け (20mm、4つ穴)	12	3	11.6	11	2			3												
カボタン付きボタン 付け(18mm)	14	2	18.2				11				3									
カボタン付きボタン 付け(20mm)	15	2	18.6				11					3								
ベント止め	9																			
プリーツしつけ	9																			
肩パット付け	33	1	35.0										11							
糸くず取り	26																			

斜体数字部分は、現行最低工賃額未満

第31表 工賃分布表(婦人服スカート)

最低工賃  
 縫製工賃  
 検定委託者  
 縫製工(株)

	円	人	円	10	12	13	14	15	17	20	22	25	30	40					(円)
見返し端まつり (千鳥)	11	1	13.0			11													
スナップ付け (1cm以上型)	16	1	20.0							11									
スナップ付け (1cm未満型)	17	4	28.1							18	3	13							
かぎホック付け	22	3	21.4							13	11	3							
ボタン付け (18mm、2つ穴)	10	4	10.7	24	2			3											
ボタン付け (20mm、4つ穴)	11	2	11.5	11					3										
鎖系ルーフ付け	14	3	10.4	20			2												
ベント止め	9																		
プリーツしつけ	8																		
ウエスト裏まつり	32																		
糸くず取り	22	2	30.0										20						
3段前かん	22																		

斜体数字部分は、現行最低工賃額未満

第32表 工賃分布表(婦人服スラックス)

	最低工賃額		総労務担当者数		標準工賃表										(円)						
	円	人	円	人	13	15	17	22	25												
スナップ付け (1cm以上型)	16																				
スナップ付け (1cm未満型)	18	2	25.0						9												
かぎホック付け	22	2	25.0						9												
ボタン付け (18mm、2つ穴)	11	1	15.0			3															
ボタン付け (20mm、4つ穴)	13	2	14.3		6		3														
糸くず取り	22	1						6													
3段前かん	20																				

斜体数字部分は、現行最低工賃額未満

## 6. 家内労働者実態調査結果

第33表 男女別家内労働者数及び平均年齢

	男	平均年齢	女	平均年齢
男子服			2	68.5
婦人服			10	67.8
計	0	0	12	67.9

第34表 家内労働者の世帯主との関係

	世帯主	配偶者	父母	子供	その他
男子服	1	1	0	0	0
婦人服	2	4	2	2	0
計	3	5	2	2	0

第35表 類型別家内労働者数

	専業	副業	内職	その他
男子服		1		1
婦人服			10	
計	0	1	10	1

第36表 家内労働を行っている理由別家内労働者数（複数回答）

	生計維持	家計補助	時間的余裕	家を離れられない	小遣い稼ぎ	その他
男子服		2				
婦人服	1	4		1	5	
計	1	6	0	1	5	0

第37表 家内労働者の平均年数・平均工賃等（令和5年9月分・過去1年分）

	労働年数	工賃月額 (9月)	労働日数 (9月)	1日平均 労働時間	工賃月額 (年平均)	労働日数 (年平均)
男子服	17年0ヶ月	28,778	18.0	6.5	26,500	19.0
婦人服	15年5ヶ月	22,522	17.1	5.5	24,929	17.3
計	15年8ヶ月	23,565	17.3	5.7	25,278	17.7

第38表 機械を使用する家内労働者数及び当該機械の所有者

	ミシン	委託者	労働者	アイロン	委託者	労働者
男子服						
婦人服	1		1			
計	1	0	1	0	0	0

第39表 工賃の決定方法別家内労働者数

	委託者が決める	話し合いで決める	その他
男子服	2		
婦人服	9	1	
計	11	1	0

第40表 過去4年間における工賃改定の有無

	上がった	下がった	改定されなかった
男子服	1		
婦人服	3		4
計	4	0	4

第41表 工賃支払い遅れの有無

	遅れたことがある。	遅れたことがない。
男子服		2
婦人服	1	9
計	1	11

第42表 著しく低い工賃の仕事依頼の有無

	頼まれたことがある	頼まれたことがない	未回答
男子服	1	1	
婦人服	2	7	1
計	3	8	1

第43表 最低工賃周知状況

	知っている	知らない
男子服		2
婦人服	2	7
計	2	9

第44表 最低工賃の必要性

	必要である	必要ない	未回答
男子服	2		
婦人服	8		2
計	10	0	2



品目	工程	規格	現行最低工賃		前回調査分				今回調査分				対前対比 / %
			最低工賃	最高最低額	平均額	対象委託者数	家内労働者数	最高最低額	平均額	対象委託者数	家内労働者数		
												最低	
男子服背広上衣	下襟からげまつり(すみまつり)	針目が3cm間隔に6針以上	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	肩裏まつり	針目が3cm間隔に9針以上	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	そで付け裏まつり	針目が3cm間隔に5針以上	126	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	前裏すそまつり	針目が3cm間隔に5針以上	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	見返し奥星入れ	針目が3cm間隔に4針以上	85	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	見返し7mm星入れ	針目が3cm間隔に9針以上	58	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	そで口裏まつり	鎖系ループ長さ1cm	66	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	背裏鎖止め(鎖止め)	針目が3cm間隔に6針以上	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	ベントまつり	針目が3cm間隔に6針以上	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	背すそまつり	針目が3cm間隔に6針以上	53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
男子服ズボン	系くず取り		36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	腰裏かんぬき止め	8ヶ所	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	腰裏後端まつり	針目が3cm間隔に10針以上	11	11	11.0	1	13	0	0	0	0	0	0.0
	前立てまつり	針目が3cm間隔に6針以上	11	11	11.0	1	13	0	0	0	0	0	0.0
	天ぐ裏まつり	針目が3cm間隔に6針以上	11	11	11.0	1	13	0	0	0	0	0	0.0
	シックまつり		32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	小またちどり		18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	内またちどり		25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	ボタン付け	小釦、糸足つき根巻4回以上	12	12	12.0	1	13	0	0	0	0	0	0.0
	系くず取り		29	29	29.0	1	13	0	0	0	0	0	0.0

品目	工程	規格	現行 最低工賃	前回調査分						今回調査分						現行最低 工賃比 / %	対前対比 / %
				最高最低額		対象委 託者数	家内労 働者数	最高最低額		平均 額	対象委 託者数	家内労 働者数	最高最低額				
				最低	最高			最低	最高				最低	最高			
婦人服ワンピース	見返し端まつり (千鳥)	針目が3cm間隔に5針以上	13	0	0	0.0	0	0	0	0	13	11.4	2	24	87.7	0.0	
	すそまつり	針目が3cm間隔に4針以上 1cm以上型	12	15	30	19.7	3	19	15	15	15	15.0	1	2	125.0	76.1	
	スナップ付け	1cm未満型	16	35	35	35.0	1	9	20	35	23.2	2	14	145.0	66.3		
	かぎホック付け	ウエスト用以外、小、2つ穴	17	25	25	25.0	1	9	20	25	21.1	2	14	124.1	84.4		
	ボタン付け	18mm以下、2つ穴、糸足つき 根巻き4回以上	22	20	25	22.7	2	13	20	25	21.1	4	34	95.9	93.0		
	鎖系ルーフ付け	針目が3cm間隔に5針以上	10	10	15	11.7	3	26	10	15	10.7	4	29	107.0	91.5		
	プリーツしつけ	× 印しつけ止め	14	14	14	14.0	1	9	10	14	10.5	2	15	75.0	75.0		
	見返し裏まつり	針目が3cm間隔に4針以上	9	8	8	8.0	1	15	0	0	0.0	0	0	0.0	0.0		
	肩パット付け		29	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0	0.0		
	糸くず取り		36	50	50	50.0	1	6	35	35	35.0	1	11	97.2	70.0		
婦人服ブレザー	見返し端まつり (千鳥)	針目が3cm間隔に5針以上	30	40	50	42.3	3	25	45	60	50.3	2	20	167.7	118.9		
	見返し星入れ	針目が3cm間隔に3針以上	16	0	0	0.0	0	0	13	13	13.0	1	11	81.3	0.0		
	ボタン付け	18mm以下、2つ穴、糸足つき 根巻き4回以上	34	34	34	34.0	1	8	0	0	0.0	0	0	0.0	0.0		
	カボタン付き ボタン付け	20mm以上、4つ穴、糸足つき 根巻き4回以上	11	12	50	23.2	3	16	10	15	11.2	3	16	101.8	48.3		
	カボタン付き ボタン付け	18mm以下、2つ穴、糸足つき 根巻き4回以上	13	15	17	16.6	2	11	10	17	11.5	2	14	88.5	69.3		
	ペント止め	針目が3cm間隔に5針以上	13	0	0	0.0	0	0	15	30	18.2	2	14	140.0	0.0		
	肩パット付け	20mm以上、4つ穴、糸足つき 根巻き4回以上	15	0	0	0.0	0	0	15	32	18.2	3	16	121.3	0.0		
	糸くず取り	× 印しつけ止め	10	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0	0.0		
			35	0	0	0.0	0	0	35	35	35.0	1	11	100.0	0.0		
			27	50	50	50.0	1	4	0	0	0.0	0	0	0.0	0.0		

品目	工程	規格	現行最低工賃		前回調査分						今回調査分						現行最低工賃比		対前対比 / %
			最低	最高	平均	対象委託者数	家内労働者数	最低	最高	平均	対象委託者数	家内労働者数	最低	最高	平均	対象委託者数	家内労働者数	/ %	
婦人服 コート	見返し端まつり (千鳥)	針目が3cm間隔に5針以上	13	15	15	1	8	13	13.0	1	11	100.0						86.7	
	スナップ付け	1cm型	16	25	30	2	13	20	21.1	2	14	131.9						79.6	
	ボタン付け	18mm以下、2つ穴、系足 つき根巻き4回以上	11	15	15	1	9	10	11.2	3	16	101.8						74.7	
		20mm以上、4つ穴、系足 つき根巻き4回以上	12	17	17	1	9	10	11.6	3	16	96.7						68.2	
	カボタン付き ボタン付け	18mm以下、2つ穴、系足 つき根巻き4回以上	14	15	15	1	2	15	18.2	2	14	130.0						121.3	
		20mm以上、4つ穴、系足 つき根巻き4回以上	15	0	0	0	0	15	32	18.6	2	14	124.0					0.0	
	ベント止め	× 印しつけ止め	9	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0						0.0	
	プリーツしつけ		9	5	5	1	2	0	0.0	0	0	0.0						0.0	
	肩パット付け		33	0	0	0	0	35	35.0	1	11	106.1						0.0	
	糸くず取り		26	50	50	1	4	0	0.0	0	0	0.0						0.0	
婦人服 スカート	見返し端まつり (千鳥)	針目が3cm間隔に5針以上	11	8	8	1	15	13	13.0	1	11	118.2						162.5	
	スナップ付け	1cm以上型	16	19	35	2	13	20	20.0	1	11	125.0						60.6	
		1cm未満型	17	25	25	1	9	20	28.1	4	34	165.3						112.4	
	かぎホック付け	ウエスト用、前かん	22	25	40	3	28	20	21.4	3	27	97.3						56.2	
	ボタン付け	18mm以下、2つ穴、系足 つき根巻き4回以上	10	10	15	3	15	10	10.7	4	29	107.0						80.5	
		20mm以上、4つ穴、系足 つき根巻き4回以上	11	11	17	2	9	10	11.5	2	14	104.5						75.7	
	鎖系ルーフ付け		14	0	0	0	0	10	10.4	3	22	74.3						0.0	
	ベント止め	× 印しつけ止め	9	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0						0.0	
	プリーツしつけ		8	5	5	1	2	0	0.0	0	0	0.0						0.0	
	ウエスト裏まつり	針目が3cm間隔に7針以上	32	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0						0.0	
糸くず取り		22	11	30	2	19	30	30.0	2	20	136.4						115.4		
3段前かん		22	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0						0.0		

品目	工程	規格	現行 最低工賃	前回調査分				今回調査分				現行最低 工賃比 / %	対前回比 / %		
				最高最低額		平均 額	対象委 託者数	家内労 働者数	最高最低額		平均 額			対象委 託者数	家内労 働者数
				最低	最高				最低	最高					
婦人服	スナップ付け	1cm以上型	16	35	35	35.0	1	9	0	0.0	0	0.0	0.0		
		1cm未満型	18	20	25	23.5	2	130	25	25.0	2	9	138.9	106.4	
スラックス	かぎホック付け	ウエスト用、前かん	22	25	25	25.0	2	13	25	25.0	2	9	113.6	100.0	
		18mm以下、2つ穴、糸 足つき根巻き4回以上	11	11	15	13.8	2	13	15	15.0	1	3	136.4	108.7	
ス	ボタン付け	2.0mm以上、4つ穴、糸 足つき根巻き4回以上	13	13	17	15.8	2	13	13	17	14.3	9	110.0	90.5	
		糸くず取り	22	22	50	36.0	2	8	22	22.0	1	6	100.0	61.1	
	3段階かん		20	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0.0		

雇均発 0318 第 2 号  
令和 4 年 3 月 18 日

都道府県労働局長 殿

厚生労働省雇用環境・均等局長  
( 公 印 省 略 )

### 第 14 次最低工賃新設・改正計画の実施について

最低工賃の新設及び改正については、平成 31 年 3 月 28 日付け雇均発 0328 第 2 号「第 13 次最低工賃新設・改正計画の実施について」に基づき、計画的な推進を図っているところであるが、同計画が令和 3 年度末で終了することから、引き続き最低工賃の新設及び改正を促進するため、令和 4 年度から 6 年度までの 3 年間の計画期間とする標記計画を別添のとおり策定し実施することとしたので、下記事項に留意の上、最低工賃の新設及び改正の計画的な推進を図らきたい。

### 記

#### 1 最低工賃の改正について

##### (1) 計画的な改正

最低工賃については、実効性の確保を図るため、必ず本計画に従い、原則として 3 年をめどに実態を把握し、見直しを行うこと。見直しに当たっては、原則として、改正の実現を目標とすること。

なお、工程・規格等が業務実態と乖離している最低工賃については、工賃額のみならず工程・規格等についても見直しを行い、必要な改正を行うこと。最低工賃を改正した場合には、委託者はもとより、工賃に影響を及ぼしている親事業者、関係団体等に対しても、最低工賃が遵守されるよう、その内容を適切に周知徹底すること。その際、管内の委託者や家内労働者への効果的・効率的な周知の観点から、地方公共団体の広報誌やホームページへの掲載等の協力依頼も検討すること。

##### (2) 実態調査

実態調査については、適用家内労働者数の把握、工程変更の有無、工賃額等の確認を行うこと。また、最低賃金との均衡の考慮に当たっては、実態に即して最低工賃額の8時間換算額を算出した上、最低賃金額やその上昇率との比較を行い、最低工賃の見直しに必要な実態把握ができるものとする。

### (3) 改正諮問の見送り

本計画に従った改正について、実態調査の実施をはじめとする産業界の動向把握を行った結果、委託者の業種における景況、受注量の減少のため最低工賃の改定が困難等により、なお改正を行う状況にないと判断する場合は、地方労働審議会又は同審議会家内労働部会（以下「地方労働審議会等」という。）において、必ず、諮問見送りと判断した理由の説明を行い、公労使三者の了解を得た上で、当該最低工賃について改正諮問の見送りを行うこと。

## 2 最低工賃の新設について

最低工賃の新設については、設定の必要性が高い業種のうち、次のいずれかに合致するものから優先的に実施すること。

- (1) 関係団体から、新設の要請がなされているもの
- (2) 継続性のある業種で、家内労働者数が相当数存在するもの
- (3) 他地域との関連性が強いもの

## 3 最低工賃の統合又は廃止の検討について

最低工賃が設定されている適用家内労働者が100人未満に減少し、将来も増加する見通しがないなど、実効性を失ったと思われる最低工賃については、今後のあり方を検討した上で、2つ以上の最低工賃を統合することがありうる場合などは、統合を含めて対応を検討することとし、また、統合が難しい場合は、廃止することも検討すること。

なお、当該最低工賃の廃止については、地方労働審議会等の意見を十分に聞いて尊重すること。

別添

## 第14次最低工賃新設・改正計画(令和4年4月～7年3月)

局名	最低工賃件数 <small>(2022.4.1見込み件数)</small>	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		件名	件数	件名	件数	件名	件数
01 北海道	2	和服裁縫(改正)	1	男子既製服(廃止)	1		
02 青森	3	電気機械器具(改正)	1	和服裁縫(改正)	1	男子・婦人既製服(改正)	1
03 岩手	2			電気機械器具(改正)	1	婦人・男子既製洋服(改正)	1
04 宮城	2			男子服・婦人服(改正)	1	電気機械器具(改正)	1
05 秋田	2	通信機器用部分品(改正)	1	男子服・婦人服・子供服(改正)	1		
06 山形	1			男子・婦人既製服(改正)	1		
07 福島	3	電気機械器具、情報通信機械器具、電子部品・デバイス(改正)	1	外衣・シャツ(改正)	1	横編ニット(改正)	1
08 茨城	3	男子既製洋服(廃止)	1	婦人・子供既製服(廃止)	1	電気機械器具(改正)	1
09 栃木	2			電気機械器具(改正)	1	衣服(改正)	1
10 群馬	3	横編ニット(改正)	1	婦人服(廃止)	1	電気機械器具(改正)	1
11 埼玉	5	革靴(改正)、足袋(改正)、縫製(改正)	3	紙加工品(改正)	1	電機機械器具(改正)	1
12 千葉	1					婦人既製洋服(廃止)	1
13 東京	3	革靴(改正)	1	婦人既製洋服(改正)	1	電気機械器具(改正)	1
14 神奈川	3	スカーフ・ハンカチーフ(廃止)	1	電気機械器具(改正)	1	紙加工品(廃止)	1
15 新潟	4	洋食器・器物(廃止)	1	作業工具(廃止)	1	男子・婦人既製洋服(改正)、横編ニット(改正)	2
16 富山	2	電気機械器具(改正)	1	ファスナー加工(改正)	1		
17 石川	0						
18 福井	2	眼鏡(改正)	1			衣服(改正)	1
19 山梨	3	電気機械器具(改正)	1	婦人服(改正)	1	貴金属製品(改正)	1
20 長野	2			電気機械器具(改正)	1	外衣・シャツ(改正)	1
21 岐阜	3			婦人服(改正)、男子既製洋服(改正)	2	陶磁器上絵付(改正)	1
22 静岡	1	車両電気配線装置(改正)	1				
23 愛知	1					車両電気配線装置(改正)	1
24 三重	1					車両電気配線装置(改正)	1
25 滋賀	1			下着・補整着(廃止)	1		
26 京都	2			丹後地区絹織物業(改正)	1	紙加工品(改正)	1
27 大阪	1					男子既製洋服(改正)	1
28 兵庫	5	但馬地区絹・人絹・毛織物(廃止)、綿・スフ織物(改正)	2	釣針(改正)	1	電気機械器具(改正)、靴下(改正)	2
29 奈良	1			靴下(改正)	1		
30 和歌山	0						
31 鳥取	2			和服裁縫(改正)	1	男子服・婦人服(改正)	1
32 島根	3	和服裁縫(改正)	1	電気機械器具(改正)	1	外衣・シャツ(改正)	1
33 岡山	1					車両電気配線装置(改正)	1
34 広島	4	既製服(改正)	1	電気機械器具(改正)	1	和服裁縫(改正)、毛筆・画筆(改正)	2
35 山口	2	男子既製洋服・校服・作業服(改正)	1	和服裁縫(改正)	1	男子既製洋服・校服・作業服(改正)	1
36 徳島	1	縫製(下着・ハンカチーフ)(改正)	1				
37 香川	1					手袋・ソックスカバー(改正)	1
38 愛媛	1			タオル(改正)	1		
39 高知	2	衛生用紙(改正)	1			繊維産業(改正)	1
40 福岡	2			婦人服(改正)	1	男子服(改正)	1
41 佐賀	1					婦人既製服(改正)	1
42 長崎	3			和服裁縫(廃止)	1	男子既製洋服(廃止)、婦人既製洋服(廃止)	2
43 熊本	3	和服裁縫(改正)	1	縫製(廃止)	1	電気機械器具(改正)	1
44 大分	2			衣服(改正)、電気機械器具(改正)	2		
45 宮崎	3	婦人既製洋服(廃止)、男子既製洋服(改正)	2			内燃機関電装品(改正)	1
46 鹿児島	1					電気機械器具、情報通信機械器具、電子部品・デバイス(改正)	1
47 沖縄	1	縫製(改正)	1				
合計	97		27		33		38

(注)各年度の最低工賃の件数は令和4年3月18日現在のものである。なお、件名の後の( )は、計画策定時点における予定を記載したもの。改正、統合、廃止等の決定は、各都道府県労働局において、実態調査等を実施の上、地方労働審議会等の意見を聴取して行うものであることに留意されたい。

# 家内労働のしおり

～家内労働法の概要について～



 厚生労働省

令和5年度版



# はじめに

我が国において、メーカーや問屋などから部品や原材料の提供を受けて、個人で、または同居の家族と物品の製造や加工を行う「家内労働」は、減少傾向にあるものの、いまなお製造業を下支えする重要な役割を担っています。

このような家内労働者の労働条件の向上と生活の安定を図ることを目的とする法律が「家内労働法」です。

厚生労働省では、家内労働法に基づいて、家内労働手帳の交付の徹底、工賃支払いの確保、最低工賃の決定およびその周知、安全および衛生の確保などのさまざまな施策を推進しています。

このしおりは、家内労働法の概要や家内労働に関する施策などを分かりやすく説明するものです。ぜひご一読いただき、家内労働についての認識を深め、家内労働法に定める事項が守られているかを点検していただくための一助となれば幸いです。

令和5年

厚生労働省雇用環境・均等局

## 目 次

I	家内労働法のあらまし	4
II	家内労働に関する施策の概要	21
III	家内労働の現状	30
IV	家内労働者の労働条件の現状	37

# I 家内労働法のあらまし

## 家内労働法の目的（法第1条）

家内労働法は、家内労働者の労働条件の向上と生活の安定を図ることを目的として、家内労働手帳の交付の徹底、工賃支払いの確保、最低工賃、安全衛生の措置などについて定めたものです。

この法律は、家内労働者の労働条件の最低基準を定めたもので、委託者および家内労働者は、この基準より労働条件を低下させてはならないことはもちろん、その向上を図るように努めなければなりません。

## 家内労働者の定義（法第2条②）

家内労働者とは、次の要件をすべて備えた者をいいます。

- 1 製造・加工業者や販売業者（問屋など）またはこれらの請負業者（請負的仲介人を含む。）から委託を受けること。
  - \* 近所の一般家庭からセーター編みや洋服の仕立てを頼まれる場合は、家内労働者とはなりません。
- 2 物品の提供を受け、その物品を部品・附属品または原材料とする物品の製造、加工などに従事すること。
  - \* 物品の販売などのセールスマン、運送などの仕事をする者は家内労働者とはなりません。
- 3 委託業者の業務の目的である物品の製造加工などを行うこと。
- 4 主として、労働の対償を得るために働くものであること。
  - \* 大規模な機械設備を設置して、企業的に仕事を行う場合は家内労働者とはなりません。
- 5 本人のみ、または同居の家族とともに仕事をし、常態として他人を使用しないこと。

## 委託者の定義（法第2条③）

委託者とは、次の要件をすべて備えた者をいいます。

- 1 製造・加工業者や販売業者（問屋など）またはこれらの請負業者（請負的仲介人を含む。）であること。
  - \* 運送業者や建築業者は委託者とはなりません。
- 2 その業務の目的物である物品について、仕事を委託すること。
  - \* 電機メーカーがテレビやラジオのコイルの組立てを委託するときは委託者となりますが、創立記念日に社員に配るメダルの加工を委託するときは委託者とはなりません。
- 3 仕事を委託するときに、原則として、原材料などの物品を提供して、その物品を部品、附属品または原材料とする物品の製造、加工などを頼むこと。
- 4 家内労働者に直接仕事を委託すること。
  - \* 直接家内労働者に委託しないで、委託者に委託する場合や、下請け企業に委託する場合には、委託者とはなりません。

## 補助者の定義（法第2条④）

補助者とは、家内労働者と同居している親族で、家内労働者の仕事を手伝っている者をいいます。

## 家内労働手帳（法第3条）

委託者・家内労働者間の無用の紛争を防止するため、委託者は、家内労働者に家内労働手帳を交付し、委託をするつど、必要事項を記入しなければならないと定められています。記入すべき内容は以下のとおりです。

家内労働者は、委託者が家内労働手帳に記入した事項を確認しなければなりません。

家内労働手帳は、法令で定める事項が記載されていれば、別の様式でも差し支えありません。厚生労働省では、下記のモデル様式の普及を図っています。

### 委託の原材料の引渡しのとしまでに（基本委託条件の通知）

- ・家内労働者の氏名
- ・委託者の氏名
- ・営業所の名称・所在地
- ・工賃の支払方法、  
その他の委託条件 など

伝票式家内労働手帳  
様式第1

### 基本委託条件の通知

年 月 日

家内労働者	氏名				委託者	氏名			
	性別	生年月日				名称			
	住所					営業所所在地	TEL		
補助者	氏名				代理人	氏名			
	性別	生年月日				住所	TEL		

基本的な委託条件等は、次のとおりですので御承諾下さい。  
なお、御承諾の場合は御連絡願います。

工賃の支払方法	支払場所	イ 家内労働者宅	ロ グループリーダー宅	
		ハ 委託者の営業所	ニ その他( )	
	支払期日	イ 毎月 日締め、(同月) 日払い	ロ 納品の都度払い	ハ その他( )
通貨以外のもの で支払う場合の方法				
物品の受渡し場所	イ 家内労働者宅	ロ グループリーダー宅	ハ 委託者の営業所	ニ その他( )
不良品の取扱いに 関する定め (検査日に関する 定め)				
備考				

注) 家内労働をやめた日から2年間保存してください。

## 原材料の受渡しのつど (注文伝票)

- ・ 委託業務の内容
- ・ 納入させる物品の数量
- ・ 工賃単価
- ・ 工賃の支払期日
- ・ 納品の時期
- など

伝票式家内労働手帳  
様式第2

No. \_\_\_\_\_

注 文 伝 票

年 月 日

\_\_\_\_ 殿

委託者

品 名	数 量	単 価	納 期	備 考

工賃支払期日	年 月 日	付「基本委託条件の通知」による。
--------	-------	------------------

(注) 記入した日から2年間保存して下さい。

(使用上の注意)

1. 業務を委託するつど使用するものとし、品名欄には製品名と委託する業務内容を併せて記入すること。  
なお、製品に複雑な規格又は仕様がある場合には、仕様書を添付すること。
2. 備考欄には、委託に関し、機械、器具その他の設備又は原材料その他の物品を自己から購入させる場合、そのつど、その品名、数量及び引き渡しの期日並びにその代金の額並びに決済の期日及び方法を記入すること。

## 物品の受渡し、工賃の支払のつど (受入伝票)

- ・ 受領年月日
- ・ 工賃支払額
- など

伝票式家内労働手帳  
様式第3

No. \_\_\_\_\_

受 入 伝 票

年 月 日

\_\_\_\_ 殿

委託者

品 名	数 量	単 価	金 額	製品の受領印	備 考
合 計					

月 日締切分	累 計 金 額	備 考

(注) 記入した日から2年間保存して下さい。

(使用上の注意)

製品の受領及び工賃を支払うつど、使用するものとし、

- (1) 納品のつど工賃を支払う定めがある場合には、上欄のみ記入すること。
- (2) 工賃締切日を定め、一定期日に工賃を支払う定めがある場合で、工賃の支払通知をするときは、下欄に記入すること。

## 就業時間（法第4条）

家内労働者が過剰に長時間働くことにより、健康を害したり、同業者との過当競争により工賃単価が低下するなどの弊害をまねいたりします。

このようなことがないように、委託者は、家内労働者や補助者が長時間の労働をしなければならないような委託をしないように努めなければなりません。

また、家内労働者は、そのような委託を受けないように努めなければなりません。

## 委託の打ち切りの予告（法第5条）

委託者は、同じ家内労働者に6か月以上継続して委託している場合に、その委託を打ち切ろうとするときは、ただちにその旨を家内労働者に予告するよう努めなければなりません。

## 工賃の支払（法第6条）

工賃は、原則として、通貨でその全額を支払わなければなりません。

ただし、家内労働者の同意がある場合は、郵便為替の交付、銀行その他の金融機関に対する預金口座または貯金口座への振込みにより支払うことができます。

工賃は、原則として、家内労働者から物品を受領した日から1か月以内に支払わなければなりません。

また、毎月一定の日を工賃締切日としている場合には、その工賃締切日までに受け取った物品全ての工賃を、その締切日から1か月以内に支払わなければなりません。

## 工賃の支払場所など（法第7条）

委託者は、工賃の支払や原材料、製品などの受渡しを、家内労働者から申出のあったときや、特別の事情のあるとき以外は、家内労働者が実際に作業に従事する場所で行うように努めなければなりません。

## 最低工賃（法第8条～第16条）

最低工賃とは、ある物品について、その一定の単位ごとに工賃の最低額を決めるものです。

厚生労働大臣または都道府県労働局長は、一定の地域内で一定の業務に従事する工賃の低い家内労働者の労働条件を改善するために必要があると認めるときは、審議会の意見を聴いて、家内労働者と委託者に適用される最低工賃を決定することができます。

また、家内労働者または委託者を代表する者は、厚生労働大臣または都道府県労働局長に対し、その家内労働者や委託者に適用される最低工賃の決定や、現に適用されている最低工賃の改正または廃止の決定をするよう申し出ることができます。

最低工賃が決まれば、委託者は、決められた最低工賃額以上の工賃を支払わなければなりません。また、委託者が最低工賃額に満たない工賃額を家内労働者と取り決めたとしても、その取り決めは無効であり、やはり最低工賃額以上の工賃を支払わなければなりません。

## 安全および衛生に関する措置（法第17条）

### 1 委託者が講ずべき危害防止措置

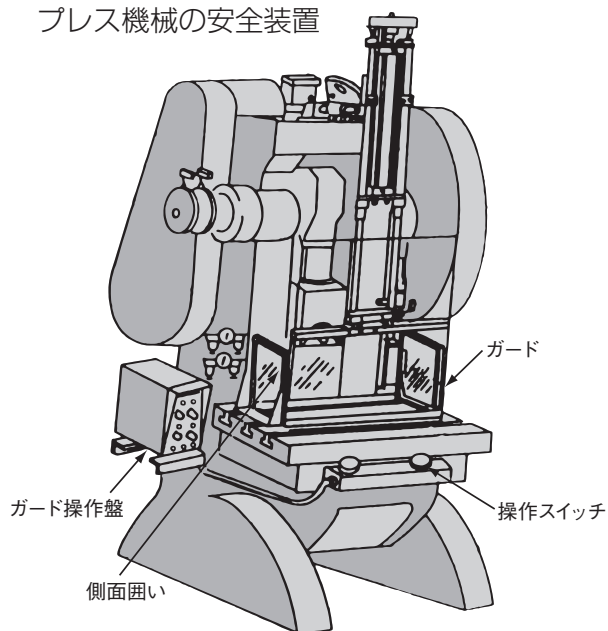
家内労働は、一般に家内労働者の自宅を作業場として行われ、その作業環境は、家内労働者自らが管理しているため、そこから発生する危害については、すべて委託者の責任ということではできませんが、委託者が、委託業務に関して一定の機械器具または原材料などを家内労働者に譲渡、貸与または提供する場合には、これらによる危害を防止するため、委託者において、「家内労働法施行規則」で定める次のような措置を講じなければなりません。

#### (1) プレス機械などへの安全装置の取付け（施行規則第10条）

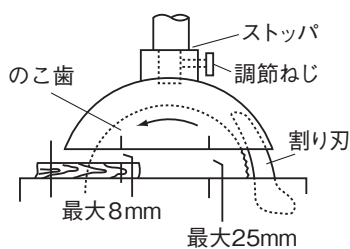
プレス加工や木材加工に使用する機械については、手や指を切断するような大きな災害が起きることがあります。

そのため、プレス機械や木材加工用機械のうち、作業者に危険を及ぼすおそれがあるものには、安全装置を取り付けなければなりません。

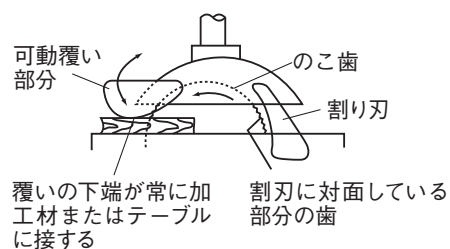
プレス機械の安全装置



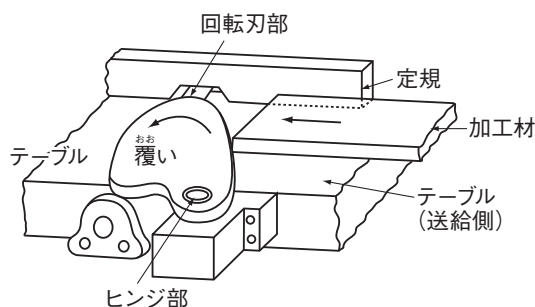
木材加工用機械の安全装置（例）



[丸のこ盤の固定式安全装置]



[丸のこ盤の可動式安全装置]



[手押しかな盤の可動式安全装置]



## (2) 安全装置などの規格具備の確認（施行規則第11、12条）

危険な機械に取り付ける安全装置については国の規格が定められているものがあり、構造規格として告示されています。委託者は下記①～④の安全装置や機械を家内労働者に譲渡、貸与または提供するときは、その安全装置や機械などが厚生労働大臣の定める構造規格を具備していることを確認しなければなりません。また、手押しかんな盤については、刃物取り付け部は丸胴であることを確認しなければなりません。

### ①木材加工用丸のこ盤の反ばつ予防装置または歯の接触予防装置

(昭和47年労働省告示第86号)

### ②手押しかんな盤の刃の接触予防装置

(昭和47年労働省告示第87号)

### ③研削盤、研削といし、または研削といしの覆い

(昭和46年労働省告示第8号)

### ④動力により駆動されるプレス機械

(昭和52年労働省告示第116号)

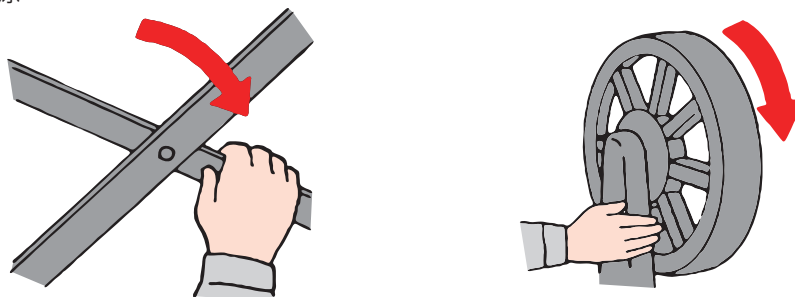
## (3) 機械・器具への防護措置（施行規則第13条）

機械・器具を用いる作業では「挟まれ・巻き込まれ」や「切れ・こすれ」「感電」などによる災害が起こることがあります。これらの災害を防ぐには、機械・器具の危険源を覆ったり、囲ったりすることにより、家内労働者や補助者がそれらの危険源にさらされないようにすることが重要です。

委託者は、表1に示す機械・器具を家内労働者に譲渡、貸与または提供するときには、危険源に、覆い・囲いを取り付けるなど必要な防護措置を講じなければなりません。

機械の危険源の例

### ①せん断の危険源



### ②巻き込みの危険源

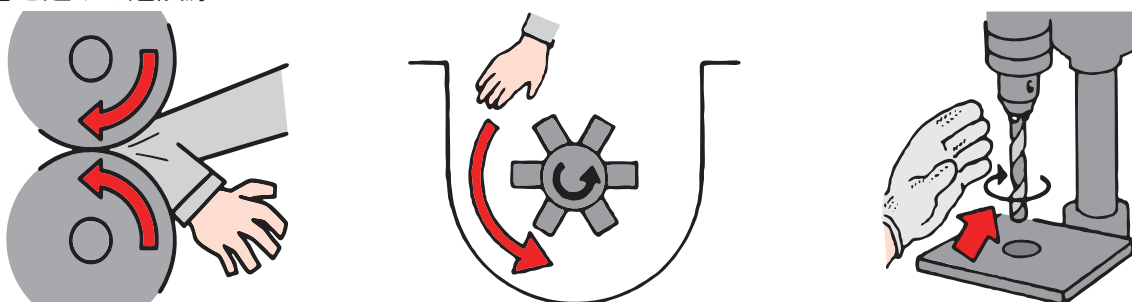




表1 防護措置を講じなければならない機械または器具と講ずべき措置

機械または器具	措置
原動機または機械の回転軸、歯車、プーリ、ベルト	危害を受けるおそれのある部分に覆い、囲いなどを取り付けること。
機械の回転軸、歯車、プーリ、フライホイールの止め具（埋頭型は除く。）	止め具に覆いを取り付けること。
バフ盤（布バフ、コルクバフなどを使用するものを除く。）	研まに必要な部分以外に覆いを取り付けること。
面取り盤	刃の接触予防装置を取り付けること。（困難なときは工具を譲渡などすること。）
紙、布、金属箔を通すロール機	囲いまたはガイドロールを取り付けること。
電気機械器具	感電の危害を生じるおそれのある充電部分に囲いまたは絶縁覆いを取り付けること。

**(4) 危害防止のための書面の交付など（施行規則第14条）**

家内労働者や補助者が、作業に伴う危険性・有害性を十分に知らないために、けがや健康障害を起こすことがあります。このため、作業にはあらかじめ作業に伴う危険性・有害性や安全な作業方法を周知することが重要です。

委託者は、表2に示すとおり家内労働者や補助者に危害を及ぼすおそれのある機械、器具、原材料などを家内労働者に譲渡、貸与または提供する場合には、その業務の危険性・有害性や安全な作業方法などの注意事項を「作業心得」などの書面に記載し、家内労働者に交付しなければなりません。

**SDS（安全データシート）の入手と注意事項の周知**

SDSは化学物質の有害性等の情報（成分、含有量、人体に及ぼす作用、取扱い上の注意など）を集約した文書のことです。労働安全衛生法においては、発がん性などの危険有害性が明らかとなっている化学物質（670物質）にはSDSの交付が義務付けられています。このほかの危険有害性のある化学物質にもSDSを交付するよう努めなければならないとされています。

家内労働者に有機溶剤などの化学物質を使用させる場合は、委託者はまずSDSを入手して、作業における危険性・有害性、さらには必要な対策について検討を行い、家内労働者に周知することが望ましいです。

表2 書面交付の対象機械と記載すべき注意事項（施行規則別表第1）

機械、器具または原材料その他の物品	事項
機 械	<p>1 刃部を除く機械のそうじ、給油、検査、修理または調整の作業を行う場合であって、作業者が危害をうけるおそれのあるときは、機械の運転を停止すること。ただし、機械の運転中に作業を行わなければならない場合であって危険な箇所に覆いを設けるなどの措置を講じたときは、この限りでないこと。</p> <p>2 機械の刃部のそうじ、検査、修理、取替えまたは調整の作業を行う場合には、機械の運転を停止すること。ただし、機械の構造上作業者が危害をうけるおそれのない場合は、この限りでないこと。</p> <p>3 機械の運転を停止した場合には、他人が当該機械を運転することを防止するため、当該機械の起動装置に錠をかけること。</p>
研削といし	<p>1 その日の作業を開始する前には1分間以上、研削といしを取り替えた場合には3分間以上試運転をすること。</p> <p>2 最高使用周速度をこえて使用しないこと。</p> <p>3 側面を使用することを目的とする研削といし以外の研削といしの側面を使用しないこと。</p>
プレス機械またはシャー	<p>1 安全装置を常に有効な状態に保持すること。</p> <p>2 クラッチ、ブレーキその他制御のために必要な部分の機能を常に有効な状態に保持すること。</p> <p>3 1年を超えない一定の期間ごとに、次の事項について点検を行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イ クラッチ及びブレーキの異常の有無</li> <li>ロ クランクシャフト、フライホイール、スライド、コネクティングロッド及びコネクティングスクリュの異常の有無</li> <li>ハ ノンリピート装置及び急停止装置の異常の有無</li> <li>ニ 電磁弁、減圧弁及び圧力計の異常の有無</li> <li>ホ 配線及び開閉器の異常の有無</li> </ul> <p>4 その日の作業を開始する前に次の事項について点検を行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イ クラッチ及びブレーキの機能</li> <li>ロ クランクシャフト、フライホイール、スライド、コネクティングロッド及びコネクティングスクリュのボルトのゆるみの有無</li> <li>ハ ノンリピート装置及び急停止装置の機能</li> </ul> <p>5 プレス機械を用いて作業を行う場合には、作業点の照度を100ルクス以上に保持すること。</p>
ボール盤、フライス盤など手袋を巻き込むことにより作業者に危害を与えるおそれのある機械	手袋をしないこと。

危険物	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 危険物を取り扱う設備のふた板、フランジ、バルブ、コックなどの接合部における危険物の漏えいの有無を点検し、及び異常を認めた場合には、補修すること。</li> <li>2 危険物のある場所を整理し、及び当該場所にみだりに可燃性の物品を置かないこと。</li> <li>3 危険物のある場所に消火設備を置くこと。</li> <li>4 危険物が爆発し、または危険物によって火災が生ずるおそれのある場所において、火気または点火源となるおそれのある設備を使用しないこと。</li> </ol>
有機溶剤など	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 有機溶剤の人体に及ぼす作用</li> <li>2 使用していない有機溶剤などを入れた容器には、ふたをすること。</li> <li>3 風上で作業を行うこと。</li> <li>4 有機溶剤などが皮膚にふれないようにすること。</li> <li>5 有機溶剤による中毒が発生した場合の応急処置については、次に定めるところによること。 <ol style="list-style-type: none"> <li>イ 中毒にかかった者を直ちに通風の良い場所に移し、すみやかに医師に連絡すること。</li> <li>ロ 中毒にかかった者を横向きに寝かせ、できるだけ気道を確保した状態で身体の保温を図ること。</li> <li>ハ 中毒にかかった者が意識を失っている場合には、消防機関への通報を行うこと。</li> <li>ニ 中毒にかかった者の呼吸が止まった場合や正常でない場合には、速やかに仰向きにして心肺蘇生を行うこと。</li> </ol> </li> <li>6 必要な健康診断を受けること。</li> </ol>
土石、岩石、鉱物、金属または炭素の粉じんを発生する原因となる物品	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 土石、岩石、鉱物、金属または炭素の粉じんの人体に及ぼす作用</li> <li>2 風上で作業を行うこと。</li> <li>3 注水により作業の湿式化ができる場合には、湿式化を行うこと。</li> <li>4 定期的に作業場をそうじすること。</li> <li>5 粉じんが飛散する場合には、ビニールカーテンなど適当な間仕切りをすること。</li> <li>6 必要な健康診断を受けること。</li> </ol>
鉛など	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 鉛などの人体に及ぼす作用</li> <li>2 屋内作業場で喫煙し、または飲食しないこと。</li> <li>3 毎日1回以上、屋内作業場を真空そうじ機を用いて、または水洗によってそうじすること。</li> <li>4 作業終了後硝酸水溶液その他の手洗い用溶液及びつめブラシを用いて手を洗い、並びにうがいをすること。</li> </ol>

	<p>5 粉状の鉛などがこぼれた場合には、すみやかに、真空そうじ機を用いて、または水洗によってそうじすること。</p> <p>6 必要な健康診断を受けること。</p>
--	---

## 参考

「家内労働における洗浄又は払拭の業務等における化学物質のばく露防止対策について」は、以下のように定められました。(平成25年3月14日付通達)

### 家内労働における洗浄又は払拭の業務等における化学物質のばく露防止対策の概要 (平成25年3月14日付け通達)

## 1 1,2-ジクロロプロパンの取扱い

### <委託者>

胆管がんとの関連が指摘された1,2-ジクロロプロパンについては、可能な限り家内労働者に譲渡・提供しない。やむを得ず譲渡・提供する場合は、家内労働者に交付する危害防止のための書面に胆管がん発症のおそれを記載する。安全データシート(SDS)の交付も必要。

### <家内労働者>

危害防止のための書面を作業場内に掲示し、注意事項を守る。  
密閉設備や局所排気装置を設け、不浸透性の作業衣・不浸透性の手袋を使用する。

※1,2-ジクロロプロパンは、主に印刷事業場で印刷機の洗浄剤として使われてきた物質。本通達では、1,2-ジクロロプロパンの含有量が重量の1%を超える物を対象としている。

## 2 洗浄・拭き取り業務でのばく露防止

高濃度ばく露のおそれが高いため、屋内作業場での洗浄・拭き取りの業務では、家内労働法施行規則の「有機溶剤等」に該当しない場合も含め、以下の対策を講ずる。

### ① 危害防止のための書面の交付等

- ・委託者は、危害防止のための書面に、人体に及ぼす作用や作業方法など所定の事項を記載し、家内労働者に交付する。安全データシート SDS の交付も必要。
- ・家内労働者や補助者は、危害防止のための書面を作業場に掲示し、注意事項を守る。

### ② 設備等の設置

- ・家内労働者は、密閉設備、局所排気装置、全体換気装置などの設備を設けるよう努める。
- ・委託者は、設備の設置について援助を行うよう努める。

### ③ 保護具等の使用

家内労働者や補助者は、局所排気装置や全体換気装置がない場所で洗浄・拭き取りの業務を行うときは、防毒マスクを使用する。皮膚に障害を与える物品などを取扱う業務を行うときは、不浸透性の作業衣・不浸透性の手袋を使用する。

### ④ 引火等の防止

家内労働者や補助者は、引火性の物品を火気などに近づけない。

## (5) 有害物についての容器の使用など（施行規則第15条）

接着剤などに含有されている有機溶剤は、多量に吸引すると急性中毒を起こしたり、低濃度であっても長期間にわたってさらされていると体内吸収によるさまざまな健康障害を起こしたりすることがあります。

委託者は、有機溶剤、有機溶剤を含んだ絵具・接着剤、鉛化合物を含んだ絵具・塗薬を家内労働者に譲渡、貸与、提供するときは、それらが漏れたり、発散するおそれのない容器を使用しなければなりません。

また、容器の見やすいところに、有害物の名称や取り扱い上の注意事項を表示しなければなりません。

### 容器などの表示事項の参考例

(労働安全衛生法第57条、労働安全衛生規則第32、33条)

- |                       |            |
|-----------------------|------------|
| 1 名称                  | 5 注意喚起語    |
| 2 人体に及ぼす作用            | 6 安定性及び反応性 |
| 3 貯蔵または取り扱い上の注意       | 7 標章（絵表示）  |
| 4 表示をする者の氏名、住所および電話番号 |            |

### 標章(絵表示)の例





## 2 家内労働者が講ずべき危害防止措置

家内労働者は、委託者から譲渡、貸与、提供を受けたもの以外の機械・器具を使用するときには、安全装置の取り付け、構造規格適合の確認、防護措置などについて、委託者が講ずべき措置に準ずる措置を講じるように努めなければなりません。（施行規則第17条）（8～10ページ1（1）～（3）参照）

加えて、家内労働者または補助者は、次のような措置を講じなければなりません。

### （1）設備などの設置（施行規則第18条）

有機溶剤や粉じんによる健康障害を防ぐには、原因となる危険源をなくしたり、危険源にさらされないようにすることが重要です。

そのため、家内労働者は表3の業務に従事する場合には、密閉設備、局所排気装置、湿潤化装置などを設けるように努めなければなりません。

表3 設備などを設置しなければならない業務

業務	設備または装置
有機溶剤 <sup>(※)</sup> を取り扱う業務	蒸気発散源の密閉設備、局所排気装置、全体換気装置または排気筒
有機溶剤 <sup>(※)</sup> を吹き付ける業務	局所排気装置
鉛などを取り扱う業務	局所排気装置、全体換気装置または排気筒
研ま材を用いて動力により、岩石、鉱物、金属を研ま、ばり取り、または金属を裁断する場所における業務	局所排気装置または粉じん発散源の湿潤化装置

※有機溶剤等には以下のものがあります

第1種有機溶剤：1,2-ジクロロエチレン（別名二塩化アセチレン）・二硫化炭素
第2種有機溶剤：アセトン・イソブチルアルコール・イソプロピルアルコール・イソペンチルアルコール（別名イソアミルアルコール）・エチルエーテル・エチレングリコールモノエチルエーテル（別名セロソルブ）・エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート（別名セロソルブアセテート）・エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル（別名ブチルセロソルブ）・エチレングリコールモノメチルエーテル（別名メチルセロソルブ）・オルト-ジクロロベンゼン・キシレン・クレゾール・クロルベンゼン・酢酸イソブチル・酢酸イソプロピル・酢酸イソペンチル（別名酢酸イソアミル）・酢酸エチル・酢酸ノルマル-ブチル・酢酸ノルマル-プロピル・酢酸ノルマル-ペンチル（別名酢酸ノルマル-アミル）・酢酸メチル・シクロヘキサノール・シクロヘキサノン・N,N-ジメチルホルムアミド・テトラヒドロフラン・1,1,1-トリクロロエタン・トルエン・ノルマルヘキサノール・1-ブタノール・2-ブタノール・メタノール・メチルエチルケトン・メチルシクロヘキサノール・メチルシクロヘキサノン・メチル-ノルマル-ブチルケトン
第3種有機溶剤：ガソリン・コールタールナフサ（ソルベントナフサを含む）・石油エーテル・石油ナフサ・石油ベンジン・テレピン油・ミネラルスピリット（ミネラルシンナー、ペトロリウムスピリット、ホワイトスピリット及びミネラルターペンを含む）
特別有機溶剤等：エチルベンゼン・クロロホルム・四塩化炭素・1,4-ジオキサン・1,2-ジクロロエタン（別名二塩化エチレン）・1,2-ジクロロプロパン・ジクロロメタン（別名二塩化メチレン）・スチレン・1,1,2,2-テトラクロロエタン（別名四塩化アセチレン）・テトラクロロエチレン（別名パークロルエチレン）・トリクロロエチレン・メチルイソブチルケトン

## (2) 保護具などの使用（施行規則第19条）

作業に伴うけがや健康障害を防止するためには、家内労働者または補助者が適切な保護具などを使用することにより、災害を防止したりけがの程度を軽減することが期待できます。

このため、家内労働者または補助者は、表4の業務に従事する場合には、保護具などを使用しなければなりません。

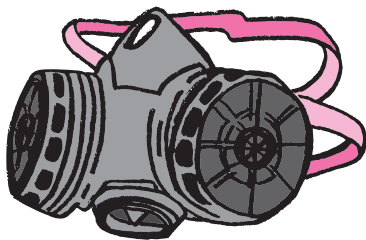
表4 保護具などを使用しなければならない業務

業務	保護具など
運転中の機械の刃部における切粉払いまたは切削剤を使用する業務	ブラシ、保護眼鏡
運転中の機械に頭髮または被服が巻き込まれるおそれのある業務	適当な帽子または作業服
ガス、蒸気または粉じんを発散する場所における業務	ガスまたは蒸気にあつては防毒マスクまたは防毒機能を有する電動ファン付き呼吸用保護具、粉じんにあつては防じんマスク、防じん機能を有する電動ファン付き呼吸用保護具または防毒機能を有する電動ファン付き呼吸用保護具であつて防じん機能を有するもの
皮膚に障害を与える物品や皮膚から吸収されて中毒を起こすおそれのある物品を取り扱う業務	塗布剤、不浸透性作業衣または手袋
強烈な騒音を発する業務	耳せん

### 保護具の例

#### 呼吸用保護具

※作業にあわせて防毒マスク、防じんマスクを間違わないように選ばなければなりません。



#### 化学防護手袋



#### 保護具を使用しての作業の例（接着剤の塗布作業）

※有機溶剤業務には防毒マスクを使用します。  
使用時間に応じて吸収缶の交換が必要です。



### (3) 危険物の取り扱い（施行規則第20条）

危険物を取り扱うとき、その取扱方法を誤ると災害につながる場合があります。

そのため、家内労働者または補助者は、表5の危険物を取り扱う場合には、必要事項を守らなければなりません。

表5 危険物の種類と守らなければならない事項

物品	守らなければならない事項
発火性の物品	みだりに、火気その他点火源となるおそれのあるものに接近させ、酸化をうながす物もしくは水に接触させ、加熱し、または衝撃を与えないこと。
酸化性の物品	みだりに、分解がうながされるおそれのあるものに接触させ、加熱し、摩擦し、または衝撃を与えないこと。
引火性の物品	みだりに、火気その他点火源となるおそれのあるものに接近させ、もしくは注ぎ、蒸発させ、または加熱しないこと。
可燃性のガス	みだりに発散させないこと。

※表5に掲げる危険物の具体的内容については、表6を参照して下さい。

表6 危険物一覧

種別	名称
発火性の物品	赤りん、セルロイド類、炭化カルシウム（カーバイド）、りん化石灰、マグネシウム粉、アルミニウム粉
酸化性の物品	塩素酸カリウム、塩素酸ナトリウム、塩素酸アンモニウムその他の塩素酸塩類、過塩素酸カリウム、過塩素酸ナトリウム、過塩素酸アンモニウムその他の過塩素酸塩類、過酸化カリウム、過酸化ナトリウム、過酸化バリウムその他の無機過酸化物、硝酸カリウム、硝酸ナトリウム、硝酸アンモニウムその他の硝酸塩類
引火性の物品	エーテル、ガソリン、アセトアルデヒド、酸化プロピレン、二硫化炭素、ノルマルヘキサン、酸化エチレン、アセトン、ベンゼン、メチルエチルケトン、メチルアルコール、エチルアルコール、キシレン、酢酸アミル、灯油、軽油、テレピン油、イソアミルアルコール、酢酸その他の引火点が摂氏65度未満の物品
可燃性のガス	水素、アセチレン、エチレン、メタン、エタン、プロパン、ブタンその他の摂氏15度、1気圧において気体である可燃性の物品
備考	引火点の数値は、「タグ密閉式」、「ペンスキーマルテンス式」または「クリーブランド開放式」の引火点測定器により、1気圧のもとで測定した値とする。



#### (4) 危害防止のための書面の交付など（施行規則第14条）

委託者は、家内労働者や補助者に危害を生じるおそれのある機械、器具、原材料などを家内労働者に譲渡、貸与、提供する場合には、その業務の危険性・有害性や安全な作業方法などの注意事項を書面に記載し、家内労働者に交付しなければなりません（10ページ1（4）参照）。

家内労働者は、委託者から交付された書面を作業場の見やすい場所に掲示しておかなければなりません。これは、家内労働者や補助者が書面を参照しながら作業するためだけでなく、家族にも、緊急の際の応急措置などについて十分知ってもらう必要があるからです。

また、家内労働者または補助者は、上記の書面の注意事項を守るように努めなければなりません。

委託者や家内労働者が上記の措置をとらない場合には、都道府県労働局長や労働基準監督署長は、危害を防止するために、委託者または家内労働者に対して、委託や受託を禁止したり、機械、原材料などの使用の停止などを命じたりすることができます。（法第18条）

### 届出（法第26条）

委託者は、次の届けを労働基準監督署に提出しなければなりません。（施行規則第23条）

※各種申請・届出などの手続きをe-GoVから申請することもできます。（<https://www.e-gov.go.jp/>）

自宅や職場から24時間申請することが可能です。

### 委託状況届

委託者は、家内労働法にいう委託者になった場合には遅滞なく、それ以後は毎年4月1日現在の状況について4月30日までに、委託業務の内容、家内労働者数などを記入した委託状況届を労働基準監督署に提出しなければなりません。

様式第2号

委 託 状 況 届

事業の種類	委託地域	家内労働者数					補助者数					代理人数
		うち18歳未満		計	うち18歳未満		計	うち18歳未満		計		
		男	女		男	女		男	女			
	都道府県（ ）											
	都道府県（ ）											
	都道府県（ ）											
	都道府県（ ）											
	都道府県（ ）											
備考												

年 月 日

委託者氏名 \_\_\_\_\_

労働局長 殿

注 意

1 「事業の種類」欄には、委託者の事業の種類を記入すること。

2 「家内労働者数」、「補助者数」及び「代理人数」は、都道府県別に記入し、「委託地域」欄（ ）の内には、当該都道府県内における主たる委託地域の市町村名を記入すること。

## 家内労働死傷病届

委託者は、委託した業務のため、家内労働者または補助者がけがや病気で4日以上仕事を休んだ場合や死亡した場合には、家内労働死傷病届を労働基準監督署に遅滞なく提出しなければなりません。

様式第3号

家内労働死傷病届 (日本工業規格 A列4)

死傷病者 (家内労働者 補助者)	氏名				性別	年齢	住所		委託業務 の内容
委託者	営業所	名称			所在地		事業の種類		
					(電話番号)				
死傷病	発生日時		傷病名又は死因		傷害の部位	症状及び程度		休業日数又は死亡の日時	
	年	月	日						
死傷病の原因及び発生状況									
年 月 日									
								委託者 氏名	
								労働局長 殿	

注 意

- 1 「死傷病者」欄の( )内は、該当しない事項を消すこと。
- 2 「死傷病の原因及び発生状況」欄には、死傷病の原因となった機械、器具その他の設備、原材料その他の物品の名称及び発生状況を具体的に記入すること。

## 帳簿の備付け (法第27条)

委託者は、家内労働者ごとに、氏名や工賃支払額など、必要な事項を記入した帳簿を作って、営業所に備え付けておかなければなりません。

様式第4号

帳 簿

家内労働者	氏名				代理人	氏名				
	性別		生年月日			住所		代理業務の範囲		
	住 所									
補助者	作業上の所在地				特別な 委託条件					
	氏名		性別			生年月日				
備 考										
委 託					受 額		工 賃 支 払			備 考
委託年月日	委託業務の内容	納入させる物品の数量	工賃の単価	納品の時期	工賃の支払期日	受領年月日	受領した物品の数量	支払年月日	支払工賃総額	

注 意

- 1 「作業場の所在地」欄には、家内労働者の作業場の所在地が住所と異なる場合に記入すること。
- 2 「補助者」及び「代理人」欄には、該当する場合に記入すること。
- 3 「特別な委託条件」欄には、当該家内労働者に関し、特別な委託条件を定めた場合に記入すること。
- 4 「委託」欄には委託をするつど、「受領」欄には製造又は加工等に係る物品を受領するつど、又は「工賃支払」欄には工賃を支払うつど記入すること。
- 5 「通貨以外の工賃支払とその額」欄には、該当する場合に記入し、「支払工賃総額」の内数とすること。

令和2年4月1日より、帳簿の保存期間が3年間から5年間に延長されました(令和2年4月1日以後に締結される委託に関する契約に係る帳簿の保存期間について適用されます。)

## 申告（法第32条）

家内労働者や補助者は、家内労働法または同法に基づく命令に違反する事実が委託者にある場合には、都道府県労働局または労働基準監督署に申告することができます。

## 罰則（法第33条～第36条）

これまで説明した事項のうち、努力義務になっているもの以外は、それに違反すればすべて罰則の適用があります。

【注1】 法第33条～第36条において罰則額が定められていますが、罰金等臨時措置法（昭和23年12月18日法律第251号）第2条により、各条とも、2万円以下の罰金とされています。

【注2】 委託状況届及び家内労働死傷病届について、令和2年12月25日より、署名又は押印が無くても、記名のみで届出が可能となりましたが、他人が委託者になりすまして届出をした場合は、私文書偽造として法令違反になる可能性があります。

また、委託者の代理人、使用人その他の従業員が違反行為をしたときは、本人が罰せられるだけでなく、委託者にも罰金刑が科せられます。

各種様式については、厚生労働省ホームページからダウンロードすることができます。  
(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000099622.html>)

調停申請書は、こちらからダウンロードできます。  
(<https://www.mhlw.go.jp/content/11900000/000835724.doc>)

また、電子政府の総合窓口から電子申請を行うこともできます。  
(<https://www.e-gov.go.jp/>)

## II 家内労働に関する施策の概要

家内労働者の労働条件の向上と生活の安定を図るために、国や都道府県労働局、労働基準監督署では、次のような施策を行っています。

- 1 委託条件を明確にするための家内労働手帳の交付の徹底
- 2 工賃の通貨払、全額払、1か月以内払などの工賃支払の確保
- 3 工賃の改善を図るための最低工賃の決定および周知
- 4 危険または有害な業務に従事する家内労働者の安全および衛生の確保
- 5 特定の危険または有害な業務に従事する家内労働者の労災保険特別加入の促進
- 6 「インチキ内職」の被害防止
- 7 所得税の計算における必要経費の特例

### 1 家内労働手帳の交付の徹底について

家内労働手帳は、委託条件を文書で明確にし、委託者・家内労働者間の無用の紛争を防止するなど、家内労働者の権利を保護するための基本となるものです。

このため、適正な家内労働手帳が確実に家内労働者に交付され、しかも継続的に使用されるよう監督指導などを行うとともに、取り扱いやすく工夫された「伝票式家内労働手帳のモデル様式」（5～6ページ参照）を示して、家内労働手帳の交付の徹底に努めています。

### 2 工賃支払の確保などについて

家内労働者は、工賃で生計を立てたり、工賃を生活の補助とするために仕事をしているので、工賃が不払になったり、遅払になったり、また、突然仕事を打ち切られたりすると、生活に困ることになります。

このため、工賃の支払いの確保を図るために監督指導を実施するとともに、委託の打ち切りについては、早期にその予告を行うよう指導を行っています。

### 3 最低工賃の決定について

最低工賃は、工賃の低廉な家内労働者の労働条件の改善を図るため、厚生労働大臣または都道府県労働局長が審議会の意見を尊重して決定することになっており、その額は、最低工賃を決定しようとする地域内において、その家内労働者と同一または類似の業務に従事する労働者に適用される最低賃金との均衡を考慮して、物品の一定単位ごとに決定することとなっています。

令和5年3月31日現在、96件の最低工賃が決定されています。

業種別最低工賃決定状況（令和5年3月31日現在96件）

業 種		決定件数（件）
繊維工業	織物	3
衣服、その他の繊維製品製造業	ニット製造	3
	既製洋服など	36
	和服・その他	15
紙・紙加工品製造業		4
金属製品製造業		3
電気機械器具等製造業	電気機械器具、情報通信機械器具、 電子部品・デバイス、機械器具など	25
その他		7
合 計		96

都道府県別最低工賃決定状況一覧（令和5年3月31日現在96件）

件 名
北海道男子既製服製造業
北海道和服裁縫業
青森県和服裁縫業
青森県男子・婦人既製服製造業
青森県電気機械器具製造業
岩手県既製洋服製造業
岩手県電気機械器具製造業
宮城県男子服・婦人服製造業
宮城県電気機械器具製造業
秋田県通信機器用部分品製造業
秋田県男子服・婦人服・子供服製造業
山形県男子・婦人既製服製造業
福島県横編ニット製造業
福島県電気機械器具、情報通信機械器具、 電子部品・デバイス製造業
福島県外衣・シャツ製造業
茨城県男子既製洋服製造業
茨城県電気機械器具製造業
茨城県婦人・子供既製服製造業
栃木県電気機械器具製造業
栃木県衣服製造業
群馬県横編ニット製造業
群馬県婦人服製造業
群馬県電気機械器具製造業
埼玉県紙加工品製造業

件 名
埼玉県足袋製造業
埼玉県縫製業
埼玉県電気機械器具製造業
埼玉県革靴製造業
千葉県婦人既製洋服製造業
東京都電気機械器具製造業
東京都革靴製造業
東京都婦人既製洋服製造業
神奈川県紙加工品製造業
神奈川県スカーフ・ハンカチーフ製造業
神奈川県電気機械器具製造業
新潟県男子・婦人既製洋服製造業
新潟県横編ニット製造業
新潟県作業工具製造業
新潟県洋食器・器物製造業
富山県電気機械器具製造業
富山県ファスナー加工業
福井県衣服製造業
福井県眼鏡製造業
山梨県貴金属製品製造業
山梨県電気機械器具製造業
山梨県婦人服製造業
長野県外衣・シャツ製造業
長野県電気機械器具製造業
岐阜県男子既製洋服製造業

件	名
岐阜県婦人服製造業	
岐阜県陶磁器上絵付業	
静岡県車両電気配線装置製造業	
愛知県車両電気配線装置製造業	
三重県車両電気配線装置製造業	
滋賀県下着・補整着製造業	
京都府紙加工品製造業	
京都府丹後地区絹織物業	
大阪府男子既製洋服製造業	
兵庫県綿・スフ織物業	
兵庫県靴下製造業	
兵庫県但馬地区絹・人絹・毛織物業	
兵庫県釣針製造業	
兵庫県電気機械器具製造業	
奈良県靴下製造業	
鳥取県男子服・婦人服製造業	
鳥取県和服裁縫業	
島根県外衣・シャツ製造業	
島根県電気機械器具製造業	
島根県和服裁縫業	
岡山県車両電気配線装置製造業	
広島県既製服縫製業	
広島県和服裁縫業	
広島県毛筆・画筆製造業	

件	名
広島県電気機械器具製造業	
山口県和服裁縫業	
山口県男子既製洋服・校服・作業服製造業	
徳島県縫製業（下着・ハンカチーフ製造業）	
香川県手袋・ソックスカバー製造業	
愛媛県タオル製造業	
高知県繊維産業	
高知県衛生用紙製造業	
福岡県男子服製造業	
福岡県婦人服製造業	
佐賀県婦人既製服製造業	
長崎県男子既製洋服製造業	
長崎県婦人既製洋服製造業	
長崎県和服裁縫業	
熊本県和服裁縫業	
熊本県縫製業	
熊本県電気機械器具製造業	
大分県電気機械器具製造業	
大分県衣服製造業	
宮崎県男子既製洋服製造業	
宮崎県内燃機関電装品製造業	
鹿児島県電気機械器具製造業	
沖縄県縫製業	



## 4 安全及び衛生の確保について

家内労働者が使用する機械器具や原材料の中には、危険または有害なものがあり、しかも多くの場合、作業は家内労働者の自宅で行われています。そのため、いったん仕事による災害が発生すると被害は家族にまで及び、きわめて悲惨な結果を招くことになります。

このような災害を防止するため、プレス機械、有機溶剤などを使用する危険または有害な業務に従事する家内労働者が多い地域を中心に、委託者、家内労働者および補助者に対して、必要な遵守事項などについて周知徹底を図るとともに、監督指導を行っています。

また、委託者、家内労働者それぞれが業務の危険性や有害性について認識を持ち、自ら災害防止に努めることが重要ですので、広報活動などを通じて災害の防止意識の高揚を図っています。

## 5 労災保険特別加入制度について

業務上の負傷や疾病の発生するおそれの多い特定の作業に従事する家内労働者や補助者（以下「家内労働者等」という。）については、その作業の実態からみて一般の労働者に準じて保護することが適当と認められることから、労災保険に特別加入できるようになっています。

### 労災保険特別加入対象

特別加入できるのは、年間を通じ常態として次の危険有害作業に従事する家内労働者等です。

- プレス機械、型付け機、型打ち機、シャー、旋盤、ボール盤またはフライス盤を使用して行う金属、合成樹脂、皮、ゴム、布または紙の加工の作業
- 金属製洋食器、刃物、バルブまたはコックの製造または加工に関する次のいずれかの作業
  - ① 研削盤やバフ盤を使用して行う研削または研まの作業
  - ② 溶融した鉛を用いて行う金属の焼入れ、焼きもどしの作業
- 有機溶剤、有機溶剤含有物または特別有機溶剤等を使用して行う作業のうち、以下のいずれかの製品の製造または加工に関するもの
  - ① 履物、鞆、袋物、服装用ベルト、グラブ、ミット（化学物質製、皮製、布製のものに限る）
  - ② 木製または合成樹脂製の漆器
- 陶磁器の製造に関する作業のうち、以下のいずれかに当たるもの
  - ① 粉じん作業
  - ② 鉛化合物を含有する釉薬を使用して行う施釉の作業
  - ③ 鉛化合物を含有する絵具を使用して行う絵付けの作業
  - ④ 施釉、絵付けを行ったものの焼成の作業
- 動力により駆動する合糸機、撚糸機または織機を使用して行う作業
- 木工機械を使用して行う作業のうち、以下のいずれかの製品の製造または加工に関するもの
  - ① 仏壇
  - ② 木製または竹製の食器

## 特別加入時健康診断

家内労働者等で特別加入を希望し、下表に掲げる業務を行う予定者であって、かつ、当該業務にそれぞれ定められた期間従事したことがある場合には、特別加入を行う際に特別加入健康診断を受ける必要があります。

この診断の結果、有害物による中毒などのため療養に専念しなければならないと認められる場合には、従事する業務にかかわらず特別加入はできません。

また、その業務からの転換が必要と認められる場合には、その業務に係る特別加入はできません。

	特別加入予定者の業務の種類	特別加入前に左記の業務に従事した期間 (通算期間)
1	粉じん作業を行う業務	3 年 以 上
2	振動工具使用の業務	1 年 以 上
3	鉛業務	6 か 月 以 上
4	有機溶剤業務	6 か 月 以 上

## 加入手続

特別加入をしようとする家内労働者等の団体（団体がいない場合には、団体を作る必要があります。）は、「特別加入申請書」を所轄の労働基準監督署長を経由して都道府県労働局長に提出し、その承認を受けることになります。

なお、保険期間は承認日の属する保険年度の末日までですが、毎年更新していくことができます。

## 給付基礎日額

労災保険の給付額を算定する基礎となる給付基礎日額は、特別加入者の希望に基づき、都道府県労働局長が承認した額となります。

その額は、2,000円、2,500円、3,000円、3,500円、4,000円、5,000円、6,000円、7,000円、8,000円、9,000円、10,000円、12,000円、14,000円、16,000円、18,000円、20,000円、22,000円、24,000円、25,000円となっています（※2,000円、2,500円、3,000円は家内労働者のみに認められています。）。

給付基礎日額として希望する額は、特別加入者の実際の工賃収入額などの所得水準に見合った額としてください。

## 保険料

保険料は家内労働者等の団体が納付します。その保険料は特別加入者各人の給付基礎日額に応じて定められている「保険料算定基礎額」に、特別加入者各人の従事するそれぞれの作業に該当する保険料率を乗じた額の合計額となります（次ページ参照）。



## 保険料率表（令和5年3月31日時点）

作業内容	特別加入保険料率
プレス機械、型付け機、型打ち機、シャー、旋盤、ボール盤またはフライス盤を使用して行う金属、合成樹脂、皮、ゴム、布または紙の加工の作業	15 / 1000
金属製洋食器、刃物、バルブまたはコックの製造または加工に関する次のいずれかの作業 ・ 研削盤やバフ盤を使用して行う研削または研まの作業 ・ 溶融した鉛を用いて行う金属の焼入れ、焼きもどしの作業	15 / 1000
有機溶剤、有機溶剤含有物または特別有機溶剤等を使用して行う作業のうち、以下のいずれかの製品の製造または加工に関するもの ・ 履物、鞆、袋物、服装用ベルト、グラブ、ミット（化学物質製、皮製、布製のものに限る） ・ 木製または合成樹脂製の漆器	6 / 1000
陶磁器の製造に関する作業のうち、以下のいずれかに当たるもの ・ 粉じん作業 ・ 鉛化合物を含有する釉薬を使用して行う施釉の作業 ・ 鉛化合物を含有する絵具を使用して行う絵付けの作業 ・ 施釉、絵付けを行ったものの焼成の作業	17 / 1000
動力により駆動する合糸機、撚糸機または織機を使用して行う作業	3 / 1000
木工機械を使用して行う作業のうち、以下のいずれかの製品の製造または加工に関するもの ・ 仏壇 ・ 木製または竹製の食器	18 / 1000

## 保険給付および特別支給金

家内労働者等が、その作業場において、特別加入申請書の「業務又は作業の内容」欄に記載した作業中に、または作業場に隣接した場所において、家内労働に関する材料、加工品などの積み込み、積み下ろしおよび運搬作業中に被った災害について、保険給付を行います。したがって、自宅と作業場との間、または自宅や作業場と委託者の事務所との間の往復行為中に被った災害には保険給付を行いません。

なお、令和2年9月1日以降について、複数の作業場で就業している場合もしくは複数の特別加入をしている場合は、複数の作業を要因とする負傷や病気等についても、保険給付が行われるようになりました。

### (1) 保険給付

#### ① 療養補償給付（複数事業労働者療養給付）

家内労働者等が業務上の負傷や病気により療養を必要とする場合には、労災病院または労災指定病院などで無料で療養を受けられます。そのほかの医療機関で療養を受けた場合には、療養に要した費用が支給されます。

複数の作業場で就業している場合もしくは複数の特別加入をしている場合は、複数の作業を要因とする負傷や病気により療養を必要とする場合にも、同様に無料の療養または療養に要した費用が支給されます。

#### ② 休業補償給付（複数事業労働者休業給付）

家内労働者等が業務上の負傷または病気による療養のため仕事をするできずに休業した場合、休業してから4日以降、休業1日につき給付基礎日額の60%に相当する額が支給されます。

複数の作業場で就業している場合もしくは複数の特別加入をしている場合は、複数の作業を要因とする負傷または病気による療養のため仕事をするできずに休業した場合にも、休業してから4日以降、休業1日につき給付基礎日額の60%に相当する額が支給されます。

### ③ 障害補償給付（複数事業労働者障害給付）

家内労働者等の業務上の負傷や病気が治った後に、身体に一定の障害（後遺症）が残った場合には、その障害の程度に応じて、年金（給付基礎日額の131～313日分）または一時金（給付基礎日額の56～503日分）が支給されます。

複数の作業場で就業している場合もしくは複数の特別加入をしている場合は、複数の作業を要因とする負傷や病気が治った後に、身体に一定の障害（後遺症）が残った場合にも、その障害の程度に応じて、年金（給付基礎日額の131～313日分）または一時金（給付基礎日額の56～503日分）が支給されます。

### ④ 傷病補償年金（複数事業労働者傷病年金）

業務上の負傷や病気が療養開始後1年6か月を経過しても治らず、その傷病による障害の状態が傷病等級に該当する場合には、障害の程度に応じ年金（給付基礎日額の245～313日分）が支給されます。

複数の作業場で就業している場合もしくは複数の特別加入をしている場合は、複数の作業を要因とする負傷や病気が療養開始後1年6か月を経過しても治らず、その傷病による障害の状態が傷病等級に該当する場合にも、障害の程度に応じ年金（給付基礎日額の245～313日分）が支給されます。

### ⑤ 遺族補償給付（複数事業労働者遺族給付）

家内労働者等が業務上の理由により死亡した場合には、その遺族に対して年金（遺族の人数に応じて給付基礎日額の153～245日分）が支給され、年金を受けることのできる遺族のいないときは、一時金（給付基礎日額の1,000日分）が支給されます。

複数の作業場で就業している場合もしくは複数の特別加入をしている場合は、複数の作業を要因とする理由により死亡した場合にも、その遺族に対して年金（遺族の人数に応じて給付基礎日額の153～245日分）が支給され、年金を受けることのできる遺族のいないときは、一時金（給付基礎日額の1,000日分）が支給されます。

### ⑥ 葬祭料（複数事業労働者葬祭給付）

業務上死亡した家内労働者等の葬祭を行う者に対して315,000円に給付基礎日額の30日分を加えた額または給付基礎日額の60日分の額のいずれか高い方が支給されます。

複数の作業場で就業している場合もしくは複数の特別加入をしており、複数の作業を要因とする理由により死亡した家内労働者等の葬祭を行う者に対して315,000円に給付基礎日額の30日分を加えた額または給付基礎日額の60日分の額のいずれか高い方が支給されます。

### ⑦ 介護補償給付（複数事業労働者介護給付）

家内労働者等が業務上の事由により負傷し、または病気になり、一定の障害が残ったために介護を受けている場合には、その介護の状態に応じて支給されます。

複数の作業場で就業している場合もしくは複数の特別加入をしている場合は、複数の作業を要因とする理由により負傷し、または病気になり、一定の障害が残ったために介護を受けている場合には、その介護の状態に応じて支給されます。

## (2) 特別支給金

### ① 休業特別支給金

家内労働者等が業務上の負傷または病気による療養のため仕事をすることができずに休業した場合、休業してから4日目以降、休業1日につき給付基礎日額の20%に相当する額が休業補償給付に併せて支給されます。

### ② 障害特別支給金

家内労働者等の業務上の負傷や病気が治った後に、身体に一定の障害（後遺症）が残った場合には、その障害の程度に応じ一時金（8～342万円）が障害補償給付に併せて支給されます。

### ③ 遺族特別支給金

家内労働者等の業務上の事由による死亡の当時、遺族補償給付を受ける権利を有する遺族に対し遺族特別支給金（一時金）として300万円（遺族補償給付を受けることができる者が2人以上ある場合はそれぞれ300万円をその人数で除して得た額）が支給されます。

### ④ 傷病特別支給金

家内労働者等が、業務上の負傷や病気が療養開始後1年6か月を経過しても治らず、その傷病による障害の程度が傷病等級に該当する場合には、その障害の程度に応じ一時金（100～114万円）が傷病補償年金に併せて支給されます。

## 6 いわゆる「インチキ内職」の被害防止について

内職希望者の中には、高収入の仕事があるという広告に誘われて、さまざまな名目で高い金額を支払わされる一方、仕事の内容や収入については約束と違うという被害にあう例があります。

いわゆる「インチキ内職」には、次のようなものがあります。

- (1) 内職講習会と称して多額の受講料などを取り、委託した仕事についてはさまざまな条件をつけて買ったいたり、仕上り具合を問題にして買い上げを拒否する。
- (2) 相当の工賃収入が得られると宣伝し、高額な機械を市価の倍額くらいで売りつける。工賃の取り決めはあいまい。
- (3) 登録料を払って会員になれば仕事を紹介すると宣伝しているが、仕事は全く紹介せず、登録料の返還を要求しても応じない。
- (4) 仕事の発注が安定的にあるような宣伝をしているが、実際は、仕事先の開拓や、それに必要な費用も負担させ、報酬も歩合制で支払う。

また、最近では、パソコンなどを使って、自宅で簡単にできる内職という宣伝をしながら、実際は高額な教材を売りつけられた上、仕事ももらえないといった、情報通信機器を使った内職に絡むトラブルも多発しています。

これらのいわゆる「インチキ内職」については、その実態からみて家内労働法の適用がある場合には、委託状況届の提出、家内労働手帳の交付、工賃の支払いなど委託者としての義務が課せられることになるので、家内労働法に定められた事項の遵守について厳重な監督指導を行うこととしています。

また、これまで問題となった例では、主として誇大広告に問題があることが多いので、内職希望者が誇大広告に惑わされないよう関係機関との連携により注意喚起に努めています。

しかし、このような「インチキ内職」の被害を防ぐためには、内職希望者自身の注意が何よりも肝心です。誰にでもできる簡単な仕事で高収入が得られるというような「うまい話」は、普通あり得ません。

仕事を始めるときは、少なくとも次のことに注意して慎重に対処することが必要です。

- (1) 高額な収入が得られるなど「うまい話」に惑わされないこと。  
簡単な仕事で、高収入が得られるとは考えにくい。また、業者のいうように仕事を紹介してくれる保証はないので、納得ができるまで十分に説明を求めて確認し、本当に自分でできる仕事かどうか冷静に判断した上で、結論を出すこと。
- (2) 収入などの委託条件を十分に確認し、内容は契約書などの書面でもらうこと。
- (3) 信用できる業者かどうか十分検討すること。  
例えば、高額な商品を購入させるなど事前にお金を支払わせる業者、安易に高収入を約束する業者、強引な勧誘をする業者、契約や支払いを急がせる業者、納得できる説明をしない業者などには特に注意すること。

## 7 所得税の計算における必要経費の特例について

所得税額の計算において、事業所得または雑所得の金額は、総収入金額から実際にかかった必要経費を差し引いて計算することになっていますが、家内労働者については、必要経費として55万円まで認める特例があります。

### (1) 家内労働者の所得が事業所得または雑所得のどちらかの場合の控除額

実際にかかった経費の額が55万円未満のときでも、所得金額の計算上必要経費が55万円まで認められます。

### (2) 家内労働者に事業所得および雑所得の両方の所得がある場合の控除額

事業所得および雑所得の実際にかかった経費の合計額が55万円未満のときは、上記(1)と同様必要経費が合計で55万円まで認められます。この場合には、55万円と実際にかかった経費の合計額との差額を、まず雑所得の実際にかかった経費に加えることになります。

### (3) 家内労働による所得のほか、給与の収入金額がある場合

- ・給与の収入金額が55万円以上あるときは、この特例は受けられません。
- ・給与の収入金額が55万円未満のときは、55万円からその給与の収入金額を差し引いた残額と、事業所得や雑所得の実際にかかった経費の合計額とを比べて高い方がその事業所得や雑所得の必要経費になります。

詳しくは国税庁ホームページ

(<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/taxanswer/shotoku/1810.htm>) をご覧ください。



### Ⅲ 家内労働の現状（出典：令和4年度家内労働概況調査）

令和4年10月1日現在の家内労働の現状をみると次のようになります。

#### 1 家内労働従事者（第1表）

令和4年10月1日現在、家内労働に従事する者の総数は98,339人で、その内訳をみると、製造業者や販売業者から委託を受け、主として自宅で物品の製造、加工等に従事している家内労働者は95,108人、また、家内労働者の同居の親族であって、家内労働者とともに仕事に従事している補助者は3,231人となっています。

#### 2 家内労働者

##### (1) 推移（第1表）

家内労働法が制定された昭和45年度以降の家内労働者数の推移をみると、昭和48年度の1,844,400人がピークでしたが、令和4年度は95,108人となっています。

##### (2) 男女別（第1表）

家内労働者数を男女別にみると、男性が11,141人であるのに対し、女性は83,967人と全体の88.3%を占めています。

##### (3) 類型別（第1表）

家内労働者数を類型別にみると、家庭の主婦などが従事する内職的家内労働者が89,278人で全体の93.9%と大部分を占め、世帯主が本業として従事する専門的家内労働者は4,308人（4.5%）、農業や漁業の従事者等が本業の合間に従事する副業的家内労働者は1,522人（1.6%）となっています。

##### (4) 業種別（第2表）

家内労働者数を業種別でみると、貴金属製造、がん具花火製造などの「その他（雑貨等）」を除くと、衣服の縫製、ニットの編立てなどの「繊維工業」が21,554人（22.7%）と最も多く、次いでコネクター差しなどの「電気機械器具製造業」が12,564人（13.2%）となっています。

##### (5) 都道府県別（第3表）

家内労働者数を都道府県別にみると、東京都が8,596人と最も多く、次いで愛知県が7,141人、大阪府が6,433人となっています。

## (6) 危険有害業務に従事する家内労働従事者数 (第4表)

危険有害業務に従事する家内労働従事者数は、8,285人で、家内労働従事者数に占める割合は8.7%となっています。

業務の種類別にみると、動力ミシンやニット編み機など「動力により駆動される機械を使用する作業」が、6,308人と最も多く、危険有害業務に従事する家内労働従事者全体の76.1%を占めています。

## 3 委託者

### (1) 委託者数 (第5表)

令和4年10月1日現在の委託者数は、7,017で、その内訳をみると、製造又は販売業者が6,593、製造又は販売業者から製造、加工等を請負い、これを家内労働者に委託する請負業者が424となっています。

### (2) 業種別 (第5表)

委託者数を業種別でみると、「その他(雑貨等)」を除くと、「繊維工業」が2,404(34.3%)と最も多く、次いで「電気機械器具製造業」が783(11.2%)となっています。

### (3) 1委託者当たりの平均家内労働者数 (第5表)

1委託者当たりの平均家内労働者数は13.6人で、業種別にみると、「ゴム製品製造業」が23.4人と最も多く、「その他(雑貨等)」を除くと、次いで「紙・紙加工品製造業」が16.2人となっているのに対し、「繊維工業」は9.0人と最も少なくなっています。

## 4 代理人

### (1) 代理人数 (第5表)

委託者は、多数の遠隔地の家内労働者に仕事を委託する場合に、自らが直接家内労働者に原材料や製品の運搬、工賃の支払い等を行うことが距離的、時間的に難しいことから、これらの業務を行わせるため、家内労働者との間に代理人を置いていることがあります。その数は令和4年10月1日現在351人となっています。

### (2) 業種別 (第5表)

代理人数を業種別にみると、「その他(雑貨等)」を除くと、「繊維工業」が68人(19.4%)と最も多く、次いで「電気機械器具製造業」が46人(13.1%)、「紙・紙加工品製造業」が25人(7.1%)となっています。

第1表 家内労働従事者数、家内労働者数

区 分			昭和45年度	48年度	50年度	55年度	60年度	平成2年度
家内労働従事者数 (対前年度比率)			2,017,100 人	2,041,200 人 (0.2%)	1,725,700 人 (△5.9%)	1,415,500 人 (△1.9%)	1,223,200 人 (△3.2%)	951,800 人 (△6.0%)
家内労働者数 (対前年度比率)			1,811,200	1,844,400 (0.2%)	1,563,700 (△5.5%)	1,313,900 (△2.1%)	1,149,000 (△3.2%)	903,400 (△5.7%)
内 訳	性別	男性	139,500 [7.7%]	136,600 [7.4%]	125,200 [8.0%]	101,900 [7.8%]	78,100 [6.8%]	58,500 [6.5%]
		女性	1,671,700 [92.3%]	1,707,800 [92.6%]	1,438,500 [92.0%]	1,212,000 [92.2%]	1,070,900 [93.2%]	844,800 [93.5%]
	類型別	専業	171,000 [9.4%]	171,000 [9.3%]	134,800 [8.6%]	101,400 [7.7%]	76,200 [6.6%]	50,400 [5.6%]
		内職	1,597,200 [88.2%]	1,633,600 [88.6%]	1,393,800 [89.1%]	1,189,500 [90.5%]	1,058,500 [92.1%]	843,500 [93.4%]
		副業	43,000 [2.4%]	39,800 [2.2%]	35,100 [2.2%]	23,000 [1.8%]	14,300 [1.2%]	9,400 [1.0%]
補助者数			205,900	196,800	162,000	101,600	74,200	48,400
委託者数			113,100	110,900	106,100	90,100	80,600	59,800

注1：「家内労働従事者数」は、「家内労働者数」と「補助者数」の合計をいう。

注2：[ ]は、性及び類型別の構成比である。

第2表 業種別家内労働者

業 種	令和3年度	令和4年度	対前年度比率
総数	97,122 100%	95,108 100%	% △2.1
食料品製造業	1,934 2.0%	1,743 1.8%	△9.9
繊維工業	22,895 23.6%	21,554 22.7%	△5.9
木材・木製品、家具・装備品製造業	964 1.0%	1,051 1.1%	9.0
紙・紙加工品製造業	6,489 6.7%	6,195 6.5%	△4.5
印刷・同関連及び出版業	2,413 2.5%	2,776 2.9%	15.0
ゴム製品製造業	6,155 6.3%	6,034 6.3%	△2.0
皮革製品製造業	1,910 2.0%	1,788 1.9%	△6.4
窯業・土石製品製造業	634 0.7%	737 0.8%	16.2
金属製品製造業	3,307 3.4%	3,158 3.3%	△4.5
電子部品・デバイス製造業	4,201 4.3%	4,159 4.4%	△1.0
電気機械器具製造業	12,024 12.4%	12,564 13.2%	4.5
情報通信機械器具製造業	639 0.7%	563 0.6%	△11.9
機械器具等製造業	5,374 5.5%	5,311 5.6%	△1.2
その他（雑貨等）	28,183 29.0%	27,475 28.9%	△2.5

## 働者数、補助者数及び委託者数の推移

7年度	12年度	17年度	22年度	27年度	令和2年度	3年度	4年度
人 576,701 (△12.3%)	人 347,084 (△9.2%)	人 216,625 (△4.4%)	人 141,131 (△7.1%)	人 114,655 (△2.1%)	人 108,539 (0.2%)	人 100,462 (△7.4%)	人 98,339 (△2.1%)
549,585 (△12.3%)	331,831 (△9.1%)	207,142 (△4.2%)	136,289 (△6.1%)	111,038 (△1.8%)	105,301 (0.2%)	97,122 (△7.8%)	95,108 (△2.1%)
36,443 [6.6%]	23,888 [7.2%]	18,758 [9.1%]	13,191 [9.7%]	11,840 [10.7%]	11,220 [10.7%]	11,146 [11.5%]	11,141 [11.7%]
513,142 [93.4%]	307,943 [92.8%]	188,384 [90.9%]	123,098 [90.3%]	99,198 [89.3%]	94,081 [89.3%]	85,976 [88.5%]	83,967 [88.3%]
31,848 [5.8%]	16,914 [5.1%]	10,813 [5.2%]	5,900 [4.3%]	5,343 [4.8%]	4,905 [4.7%]	4,512 [4.6%]	4,308 [4.5%]
512,900 [93.3%]	311,835 [94.0%]	193,778 [93.6%]	129,577 [95.1%]	104,929 [94.5%]	99,244 [94.2%]	91,508 [94.2%]	89,278 [93.9%]
4,837 [0.9%]	3,082 [0.9%]	2,551 [1.2%]	812 [0.6%]	766 [0.7%]	1,152 [1.1%]	1,102 [1.1%]	1,522 [1.6%]
27,116	15,253	9,483	4,842	3,617	3,238	3,340	3,231
38,538	24,116	15,010	10,447	7,760	7,500	7,139	7,017

注3：昭和45年度から平成2年度までの数値は下2桁で四捨五入してあるため、内訳の数値を積み上げた数値は、合計の数値と一致しない場合がある。

## 数及び主な家内労働業務

主な家内労働業務
貝の加工、昆布巻き、食品の袋詰め・シール貼り
衣服の縫製、ニット編立て、撚糸製造、絹糸等による織布、ミシン縫製、裁縫、布団の綿入れ、タオルのヘム加工
塗箸加工、仏壇加工、桜皮の張付け・加工、額縁製造、ブラインド組立
紙箱の組立、封筒糊付け、紙袋の張り・ひも付け、ショッピング袋の口芯入れ・ひも付け、ティッシュペーパーの詰合せ
製本、ワープロ入力、文字校正、チラシ袋詰め、加除式追録の編集
ゴム製履物の部品貼合せ、ゴム製品のバリ取り
革靴の製甲・底付け、革手袋の火のし、靴の糊付け加工
陶磁器の生地製造・上絵付け・焼成・転写貼り・鑄込み
洋食器研磨、作業工具研磨、刃物研磨、金属プレス加工、鍵部品加工、鋸の目立て
電子部品の組立・検査
コネクター差し、チューブ通し、キャップ通し、シールド線の端末加工、コンデンサーの検査、コイル巻き、ワイヤーハーネス組立
携帯電話部品の組立・検査・包装、ケーブル端末加工、カーナビ組立
自動車部品組立、航空機部品組立
貴金属製造、がん具花火製造、眼鏡枠加工・研磨・組立、釣針の糸結び・仕掛け、毛筆・画筆の穂首づくり、事務用品製造



第3表 都道府県別家内労働従事者数、家内労働者数、補助者数、委託者数及び代理人数

都道府県	家内労働			委託者数	代理人数
	従事者数	家内労働者数	補助者数		
全国	98,339	95,108	3,231	7,017	351
北海道	816	804	12	85	0
青森県	806	797	9	68	0
岩手県	1,046	1,040	6	98	2
宮城県	989	981	8	105	8
秋田県	1,349	1,307	42	132	0
山形県	1,742	1,717	25	177	5
福島県	1,831	1,809	22	156	0
茨城県	1,966	1,912	54	148	61
栃木県	1,067	1,045	22	108	1
群馬県	3,562	3,305	257	205	7
埼玉県	4,698	4,613	85	357	23
千葉県	1,784	1,763	21	135	1
東京都	8,868	8,596	272	802	0
神奈川県	1,635	1,609	26	101	3
新潟県	2,334	2,247	87	176	5
富山県	1,238	1,162	76	113	27
石川県	1,711	1,629	82	149	0
福井県	1,681	1,631	50	159	18
山梨県	1,549	1,527	22	170	0
長野県	2,950	2,869	81	215	0
岐阜県	1,985	1,756	229	146	1
静岡県	6,473	6,273	200	282	56
愛知県	7,456	7,141	315	336	4
三重県	2,784	2,655	129	133	0
滋賀県	2,887	2,850	37	147	3
京都府	2,830	2,703	127	196	3
大阪府	6,641	6,433	208	394	45
兵庫県	3,131	2,881	250	171	3
奈良県	1,778	1,743	35	151	3
和歌山県	501	484	17	33	0
鳥取県	934	919	15	96	0
島根県	756	712	44	92	3
岡山県	2,780	2,674	106	141	0
広島県	1,998	1,952	46	114	41
山口県	1,335	1,320	15	96	0
徳島県	562	553	9	43	23
香川県	1,191	1,153	38	102	3
愛媛県	2,262	2,236	26	168	0
高知県	593	581	12	40	1
福岡県	1,683	1,624	59	110	0
佐賀県	775	764	11	87	0
長崎県	202	202	0	31	0
熊本県	900	896	4	87	0
大分県	347	343	4	26	1
宮崎県	950	920	30	65	0
鹿児島県	729	723	6	49	0
沖縄県	254	254	0	22	0

第4表 危険有害業務の種類、性別及び類型別危険有害業務に従事する家内労働従事者数

危険有害業務の種類	危険有害業務に従事する家内労働従事者数					
	総数	性別		類型別		
		男	女	専業	内職	副業
	人	人	人	人	人	人
総数	8,285 (523) 100.0%	1,771 (155) 21.4%	6,514 (368) 78.6%	1,214 (98) 14.7%	6,969 (419) 84.1%	102 (6) 1.2%
①プレス機、型付け機、型打ち機、シャー、旋盤、ボール盤又はフライス盤を使用する作業	320 (35) 3.9%	187 (13) 10.6%	133 (22) 2.0%	147 (19) 12.1%	171 (16) 2.5%	2 (0) 2.0%
②有機溶剤または有機溶剤含有物を使用する作業 (例：有機溶剤を取り扱う人形の製造、有機溶剤を使用して金属を脱脂・洗浄する作業)	683 (46) 8.2%	310 (5) 17.5%	373 (41) 5.7%	193 (20) 15.9%	484 (26) 6.9%	6 (0) 5.9%
③鉛又は鉛化合物を使用する作業 (例：鉛を取り扱う電気機械・車両用配線作業)	244 (1) 2.9%	45 (0) 2.5%	199 (1) 3.1%	19 (0) 1.6%	220 (0) 3.2%	5 (1) 4.9%
④土石、岩石、鉱物、金属又は炭素の粉じんを発散する作業 (例：い草加工、ガラス製造、炭素製品製造)	322 (57) 3.9%	239 (16) 13.5%	83 (41) 1.3%	227 (22) 18.7%	90 (35) 1.3%	5 (0) 4.9%
⑤動力により駆動される機械を使用する作業 (例：ニット編み機、レース編み機、動力ミシン等を取り扱う作業)	6,308 (301) 76.1%	929 (66) 52.5%	5,379 (235) 82.6%	669 (37) 55.1%	5,554 (259) 79.7%	85 (5) 83.3%
⑥木工機械を使用する作業 (例：家具製造、人形製造)	10 (1) 0.1%	6 (1) 0.3%	4 (0) 0.1%	7 (1) 0.6%	3 (0) 0.04%	0 (0) 0.0%
⑦火薬類を使用する作業 (例：花火製造)	421 (82) 5.2%	98 (51) 5.5%	329 (31) 5.1%	0 (0) 0.0%	427 (82) 6.1%	0 (0) 0.0%
上記①から⑦までの作業を除く危険有害作業	61 (11) 0.7%	33 (4) 1.9%	28 (7) 0.4%	39 (9) 3.2%	22 (2) 0.3%	0 (0) 0.0%

注1： 2種類以上の危険有害業務に従事する者はそれぞれの作業毎に1人として計上した。

但し、総数は実人数であるため、危険有害業務の内訳を積み上げた数値は、総数と一致しない場合がある。

注2： ( ) は、補助者数(内数)である。

第5表 業種別委託者数、代理人数及び1委託者当たりの平均家内労働者数

業 種	委 託 者 数			代理人数	1委託者当たりの平均家内労働者数
	総 数	製造・販売業者	請負業者		
総数	7,017 100.0%	6,593 100.0%	424 100.0%	人 351 100.0%	人 13.6
食料品製造業	128 1.8%	127 1.9%	1 0.2%	2 0.6%	13.6
繊維工業	2,404 34.3%	2,228 33.8%	176 41.5%	68 19.4%	9.0
木材・木製品、家具・装備品製造業	72 1.0%	68 1.0%	4 0.9%	1 0.3%	14.6
紙・紙加工品製造業	383 5.5%	378 5.7%	5 1.2%	25 7.1%	16.2
印刷・同関連及び出版業	178 2.5%	168 2.5%	10 2.4%	3 0.9%	15.6
ゴム製品製造業	258 3.7%	236 3.6%	22 5.2%	12 3.4%	23.4
皮革製品製造業	190 2.7%	187 2.8%	3 0.7%	15 4.3%	9.4
窯業・土石製品製造業	75 1.1%	73 1.1%	2 0.5%	0 0.0%	9.8
金属製品製造業	308 4.4%	299 4.5%	9 2.1%	0 0.0%	10.3
電子部品・デバイス製造業	381 5.4%	362 5.5%	19 4.5%	2 0.6%	10.9
電気機械器具製造業	783 11.2%	718 10.9%	65 15.3%	46 13.1%	16.0
情報通信機械器具製造業	50 0.7%	44 0.7%	6 1.4%	11 3.1%	11.3
機械器具等製造業	441 6.3%	412 6.2%	29 6.8%	10 2.8%	12.0
その他(雑貨等)	1,366 19.5%	1,293 19.6%	73 17.2%	156 44.4%	20.1

## IV 家内労働者の労働条件の現状 (出典:令和2年度家内労働等実態調査)

令和2年10月1日現在の家内労働者の労働条件の現状をみると次のようになります。

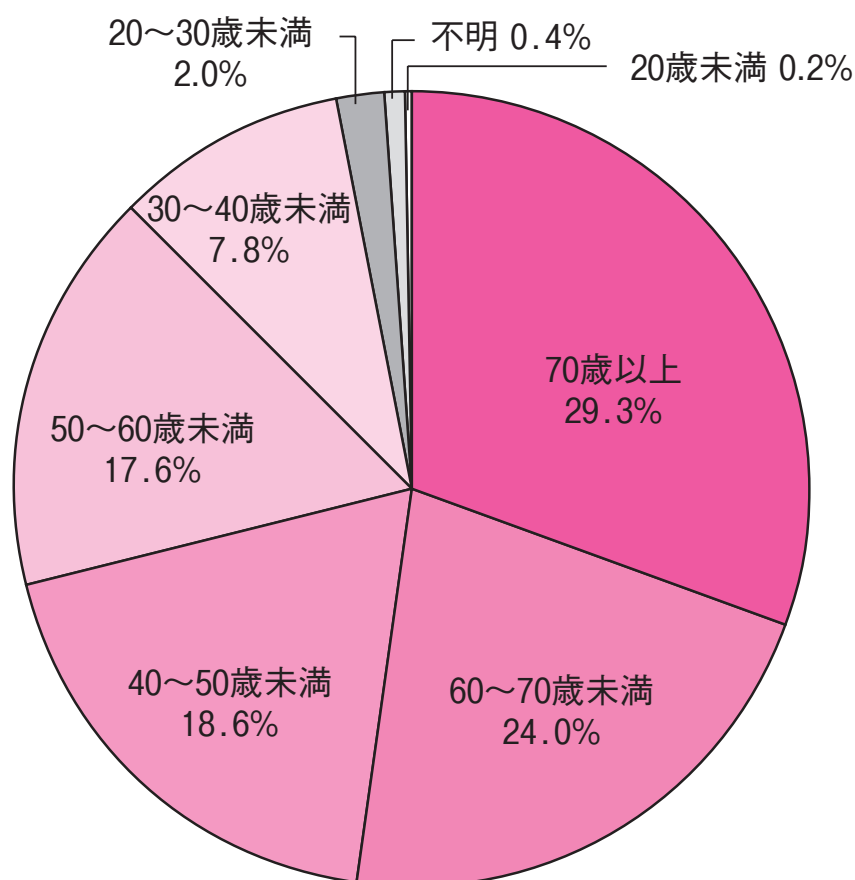
### 1 平均年齢は58.9歳、平均経験年数は11.6年

家内労働者の平均年齢は58.9歳で、これを男女別にみると、男性が65.3歳、女性が58.2歳となっています。

年齢階級別に家内労働者の構成比をみると、第1図のとおり、「70歳以上」が最も多く29.3%、次いで「60～70歳未満」が24.0%、「40～50歳未満」が18.6%と、これら3つの階級で全体の約7割を占めています。

また、家内労働者が現在の業務に従事してきた平均経験年数は11.6年であり、これを男女別にみると、男性は14.3年、女性は11.3年となっています。

第1図 年齢階級別家内労働者構成比



## 2 平均就業時間数は1日4.9時間、平均就業日数は1か月17.6日

家内労働者の平均就業時間数は、1日4.9時間であり、平均就業日数は、1か月17.6日となっています。

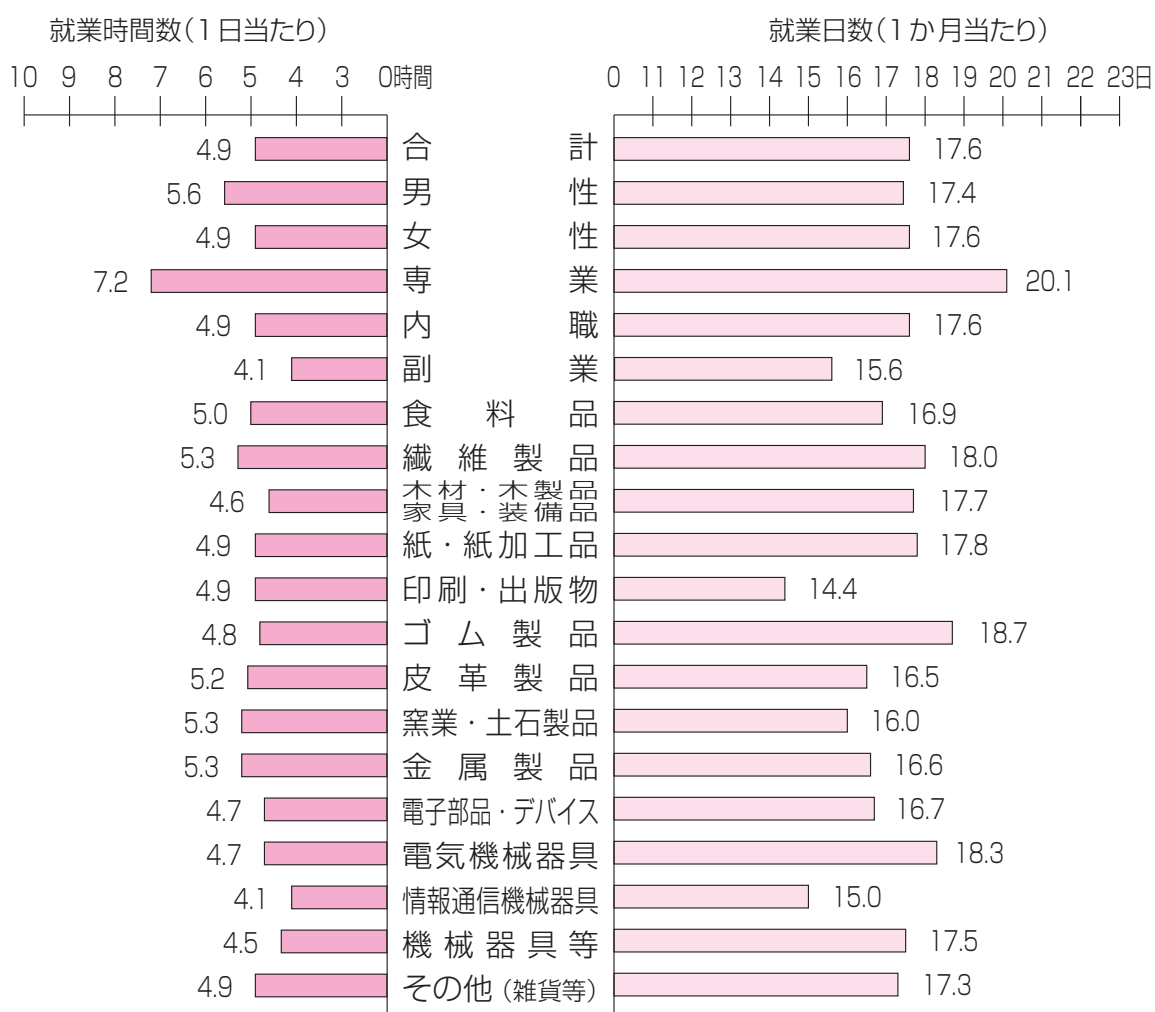
これを男女別にみると、男性の就業時間数は、1日5.6時間、就業日数は1か月17.4日であるのに対し、女性の就業時間数は1日4.9時間、就業日数は1か月17.6日となっています。

また、これを類型別にみると、専業は1日7.2時間、就業日数は1か月20.1日であるのに対し、内職は1日4.9時間、就業日数は1か月17.6日、副業は1日4.1時間、就業日数は1か月15.6日と、いずれも短くなっています。

次に、業種別に平均就業時間数をみると、「繊維製品」「窯業・土石製品」および「金属製品」が5.3時間と長く、「情報通信機械器具」が4.1時間と最も短くなっています。

また、平均就業日数をみると、「ゴム製品」が18.7日、「電気機械器具」が18.3日、「繊維製品」が18.0日と多く、これに対し、「印刷・出版物」が14.4日と最も少なくなっています。

第2図 男女別、類型別、業種別1日当たりの平均就業時間数  
および1か月当たりの平均就業日数



### 3 平均工賃額は1時間520円、1か月3万7,320円

家内労働者の1時間当たりの平均工賃額（必要経費を除く。）は520円で、これを男女別にみると、男性が710円、女性が498円となっています。

これを類型別にみると、専業が729円、内職が495円、副業が748円となっています。

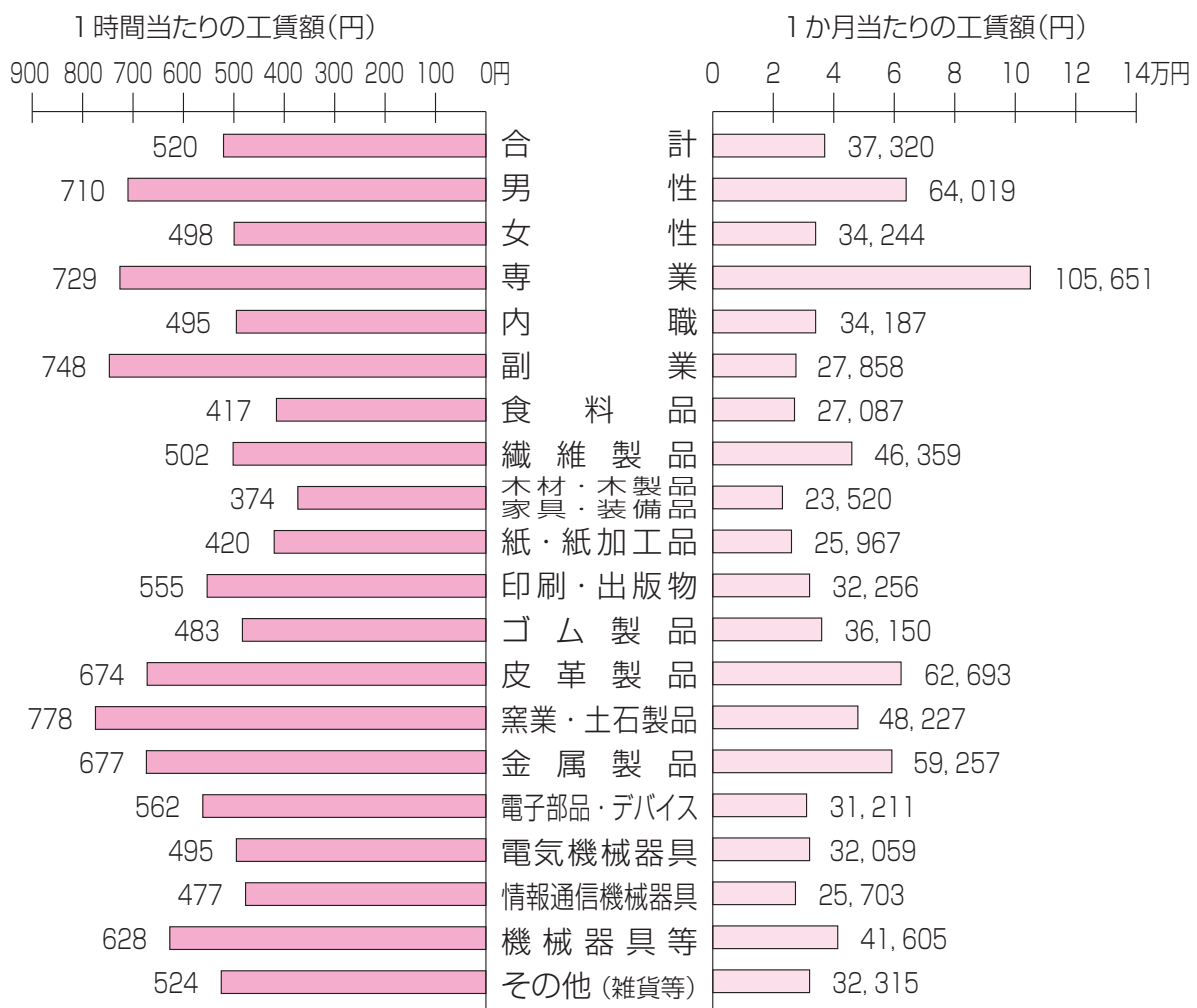
また、これを業種別にみると「窯業・土石製品」が778円と最も高く、次いで「金属製品」が677円、「皮革製品」が674円となっているのに対し、「木材・木製品、家具・装飾品」は374円と最も低く、次いで「食料品」が417円、「紙・紙加工品」が420円となっています。

次に、1か月当たりの平均工賃額（必要経費を除く。）は3万7,320円で、これを男女別にみると、男性が6万4,019円、女性が3万4,244円となっています。

これを類型別にみると、専業が10万5,651円、内職が3万4,187円、副業が2万7,858円となっています。

また、これを業種別にみると、「皮革製品」が6万2,693円と最も高く、次いで、「金属製品」が5万9,257円、「窯業・土石製品」が4万8,227円となっているのに対し、「木材・木製品、家具・装飾品」は2万3,520円と最も低く、次いで「情報通信機械器具」が2万5,703円、「紙・紙加工品」が2万5,967円となっています。

### 第3図 男女別、類型別、業種別1時間および1か月当たりの工賃額





家内労働法に関するお問合せは都道府県労働局労働基準部賃金課(室)または最寄りの労働基準監督署へ

## 都道府県労働局労働基準部賃金課(室)所在地一覧

都道府県	電話番号	郵便番号	所在地
北海道	011-709-2311	060-8566	北海道札幌市北区北8条西2丁目1番1号 札幌第1合同庁舎
青森	017-734-4114	030-8558	青森県青森市新町2-4-25 青森合同庁舎
岩手	019-604-3008	020-8522	岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目9番15号 盛岡第2合同庁舎
宮城	022-299-8841	983-8585	宮城県仙台市宮城野区鉄砲町1番地 仙台第4合同庁舎
秋田	018-883-4266	010-0951	秋田県秋田市山王7丁目1番3号 秋田合同庁舎
山形	023-624-8224	990-8567	山形県山形市香澄町3丁目2番1号 山交ビル3階
福島	024-536-4604	960-8513	福島県福島市花園町5-46 福島第二合同庁舎3階
茨城	029-224-6216	310-8511	茨城県水戸市宮町1丁目8-31 茨城労働総合庁舎
栃木	028-634-9109	320-0845	栃木県宇都宮市明保野町1番4号 宇都宮第2地方合同庁舎
群馬	027-896-4737	371-8567	群馬県前橋市大手町2-3-1 前橋地方合同庁舎
埼玉	048-600-6205	330-6016	埼玉県さいたま市中央区新都心11-2 ランド・アクセス・タワー
千葉	043-221-2328	260-8612	千葉県千葉市中央区中央4丁目11番1号 千葉第2地方合同庁舎
東京	03-3512-1614	102-8306	東京都千代田区九段南1丁目2番1号 九段第3合同庁舎
神奈川	045-211-7354	231-8434	神奈川県横浜市中区北仲通5丁目57番地 横浜第2合同庁舎
新潟	025-288-3504	950-8625	新潟県新潟市中央区美咲町1-2-1 新潟美咲合同庁舎2号館
富山	076-432-2735	930-8509	富山県富山市神通本町1丁目5番5号 富山労働総合庁舎
石川	076-265-4425	920-0024	石川県金沢市西念3丁目4番1号 金沢駅西合同庁舎
福井	0776-22-2691	910-8559	福井県福井市春山1丁目1番54号 福井春山合同庁舎9階
山梨	055-225-2854	400-8577	山梨県甲府市丸の内1丁目1番11号
長野	026-223-0555	380-8572	長野県長野市中御所1丁目22-1
岐阜	058-245-8104	500-8723	岐阜県岐阜市金竜町5丁目13番地 岐阜合同庁舎
静岡	054-254-6315	420-8639	静岡県静岡市葵区追手町9番50号 静岡地方合同庁舎
愛知	052-972-0258	460-8507	愛知県名古屋市中区三の丸2丁目5番1号 名古屋合同庁舎第2号館
三重	059-226-2108	514-8524	三重県津市島崎町327番2 津第2地方合同庁舎4階
滋賀	077-522-6654	520-0806	滋賀県大津市打出浜14番15号 滋賀労働総合庁舎5階
京都	075-241-3215	604-0846	京都府京都市中京区両替町通御池上ル金吹町451
大阪	06-6949-6502	540-8527	大阪府大阪市中央区大手前4丁目1番67号 大阪合同庁舎第2号館
兵庫	078-367-9154	650-0044	兵庫県神戸市中央区東川崎町1丁目1番3号 神戸クリスタルタワー
奈良	0742-32-0206	630-8570	奈良県奈良市法蓮町387 奈良第3地方合同庁舎
和歌山	073-488-1152	640-8581	和歌山県和歌山市黒田2丁目3番3号 和歌山労働総合庁舎2階
鳥取	0857-29-1705	680-8522	鳥取県鳥取市富安2丁目89-9
島根	0852-31-1158	690-0841	島根県松江市向島町134番10 松江地方合同庁舎
岡山	086-225-2014	700-8611	岡山県岡山市北区下石井1丁目4番1号 岡山第2合同庁舎
広島	082-221-9244	730-8538	広島県広島市中区上八丁堀6番30号 広島合同庁舎2号館
山口	083-995-0372	753-8510	山口県山口市中河原町6番16号 山口地方合同庁舎2号館
徳島	088-652-9165	770-0851	徳島県徳島市徳島町城内6番地6 徳島地方合同庁舎
香川	087-811-8919	760-0019	香川県高松市サンポート3番33号 高松サンポート合同庁舎北館3階
愛媛	089-935-5205	790-8538	愛媛県松山市若草町4番地3 松山若草合同庁舎
高知	088-885-6024	781-9548	高知県高知市南金田1番39号
福岡	092-411-4578	812-0013	福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目11番1号 福岡合同庁舎新館
佐賀	0952-32-7179	840-0801	佐賀県佐賀市駅前中央3丁目3番20号 佐賀第2合同庁舎
長崎	095-801-0033	850-0033	長崎県長崎市万才町7-1 TBM長崎ビル
熊本	096-355-3202	860-8514	熊本県熊本市西区春日2-10-1 熊本地方合同庁舎A棟
大分	097-536-3215	870-0037	大分県大分市東春日町17番20号 大分第2ソフィアプラザビル
宮崎	0985-38-8836	880-0805	宮崎県宮崎市橘通東3丁目1番22号 宮崎合同庁舎
鹿児島	099-223-8278	892-8535	鹿児島県鹿児島市山下町13番21号 鹿児島合同庁舎
沖縄	098-868-3421	900-0006	沖縄県那覇市おもろまち2丁目1番1号 那覇第2地方合同庁舎1階



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。